

令和元年度実施 卒業生対象の追跡調査【歯科衛生学科】

【全体概要】

20期卒業生（H30年度卒）とその就職先施設を対象に卒後1年経過したところで、就業状況と歯科衛生学科の基礎教育、社会人として身についた能力に関する追跡調査を実施した。回答は卒業生が31/60名、就職先施設が8/18施設であった。

1) 就業状況について（卒業生からの回答）

回答があった31名の現在の就職先は、一般開業医が16名、専門歯科3名、大学附属病院1名、進学（本学専攻科）7名、その他3名等で、卒業後も同じ職場に勤務している者8名、最初の職場を退職し1ヶ月以内に再就職した者2名、一時的に仕事については1名、卒後就職していない者3名、その他16名であった。その他16名については本学専攻科に進学し、医科歯科総合病院で実習生として勤務している者を含んでいる。転職の理由として、「経済的な理由」、「他の形態の職種に興味があった」などを理由としてあげていた。

2) 短大で充実すべき教育内容について（卒業生並びに就職先施設からの回答）

診療の補助・介助業務34項目、予防処置業務14項目、保健指導関連業務19項目、口腔介護関連業務14項目について調査した。

卒業生、就職先ともに自由回答も含めて共通して多かったのが、口腔内写真関連であった。また、卒業生では超音波・エアスケーラーによるスケーリングであった。

これらについては、現在、口腔内カメラや超音波・エアスケーラー等実習機器を計画的に購入し、充実を図っている。

3) 対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力、処理力、思考力、専門力等の修得状況について

対人基礎力3項目、対自己基礎力3項目、対課題基礎力3項目、処理力2項目、思考力2項目、専門力2項目を調査した。

(1) 卒業生からの回答

対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力に関しては身についたと回答している項目も多いが、統率力、課題発見力については十分でないとの回答が多かった。また、専門知識や技術・技能に関しては多くの卒業生が未だに十分でないと回答している。

(2) 就職先施設からの回答

対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力ともに5～8施設が職場で必要とする能力であると回答していた。また、専門知識と技術・技能についても5～8施設が必要と回答していた。

4) 短大の教育全般(卒業生8項目、就職先施設10項目)について

短大での教育全般については、卒業生、就職先施設ともに、肯定的評価の方が多かつ

た。また、今後の本学の卒業生の採用についてもすべての施設から肯定的評価をうけた。

5) その他自由記載意見等について

就職先施設からは、本学学生に対する高評価の意見も多々あり、採用時のポイントや学生に求める資質・能力等の意見を今後の教育改善に活かして行きたい。

【課題】

1) 例年あげているが、回収率が非常に低いため、少数意見の集計となることから、やはり回収率をあげることが重要である。

2) 全体の評価は低くはないが、いくつかの項目や自由意見の中に今後しっかり対応していく必要のある事項も含まれているので早急に対応することを検討したい。今後も評価を維持するためには全ての教職員が常に同じ目線に対応することが重要で、教職員間での学生対応を統一することが必要となる。

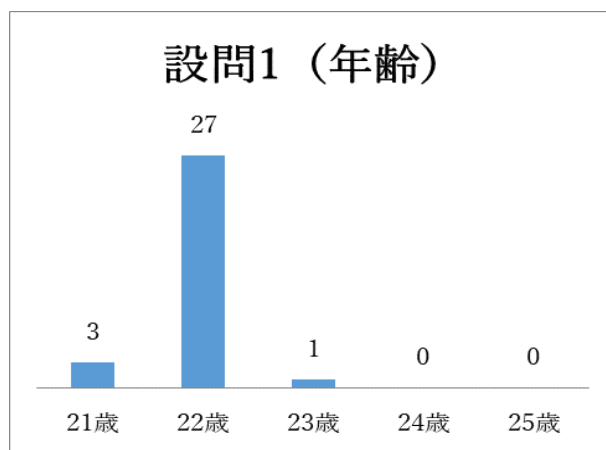
福岡医療短期大学 歯科衛生学科同窓会会員（卒業生）へのアンケート

歯科衛生学科 20 期生 (H30 年度卒) : 回答 31/60 名 (専攻科進学者込み) 2020/2/12 郵送

I) 就業状況について、お聞かせください

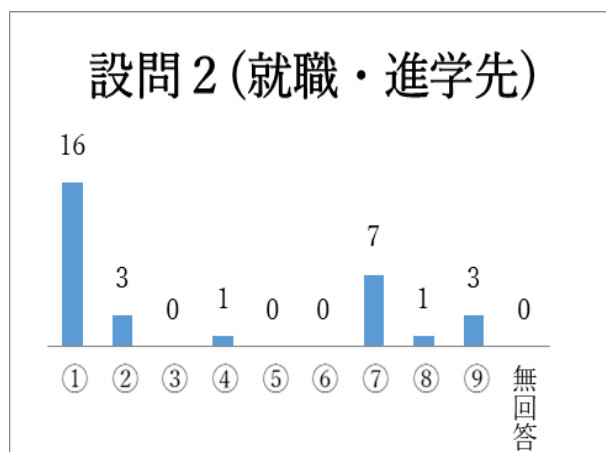
設問1： あなたの**年齢**についてお答えください。

- 女性：31/31 人
- 年齢：グラフ参照



設問2： **現在の就職・進学先** について該当する番号に○をつけてください。

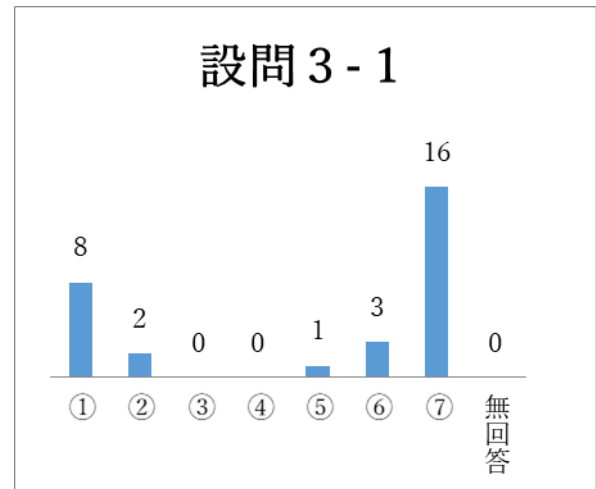
- ①一般歯科
- ②専門歯科（小児歯科・矯正歯科・口腔外科）
- ③病院歯科（リハビリテーション病院含む）
- ④大学附属病院（歯学部附属・医学部附属含む）
- ⑤企業
- ⑥福祉施設
- ⑦進学・学生（大学、短期大学、専門学校 等）
→具体的に
・回答なし
- ⑧現在は就職・進学していない（休職中、家事手伝い、専業主婦 等）
- ⑨その他
→具体的に
・回答なし



設問3-1：卒業後の転職や退職について、該当する番号に○をつけてください。

〔令和2年3月末（予定を含む）でお答えください〕

- ①卒業してから現在まで
同じ勤務先（施設）で働いている
- ②最初の職場を退職し、1ヶ月以内に
歯科衛生士として再就職した
- ③最初の職場を退職し、1ヶ月以上
離職したが再就職した
- ④最初の職場を退職し、
その後再就職していない
- ⑤一時的に仕事に就いた
- ⑥卒業してから就職していない
- ⑦その他
→具体的に
・回答なし



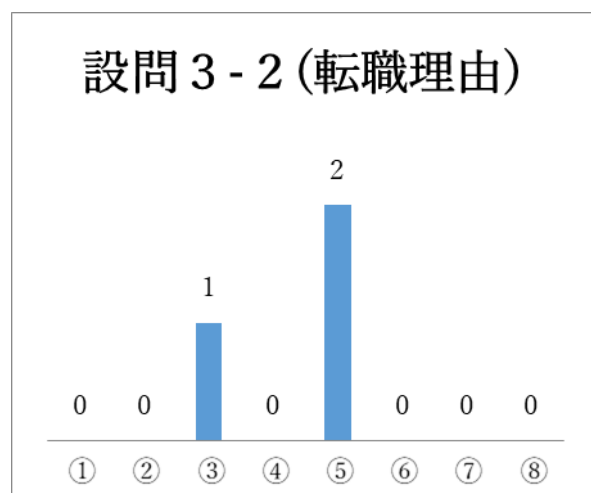
設問3-2：「**転職 経験あり**」の方のみ、お答えください：

→ 転職先の職種を、具体的にお聞かせください。

- ・ 歯科衛生士
- ・ サービス業

→ その理由は、なにでしたか？該当する番号に○をつけてください。（複数回答可）

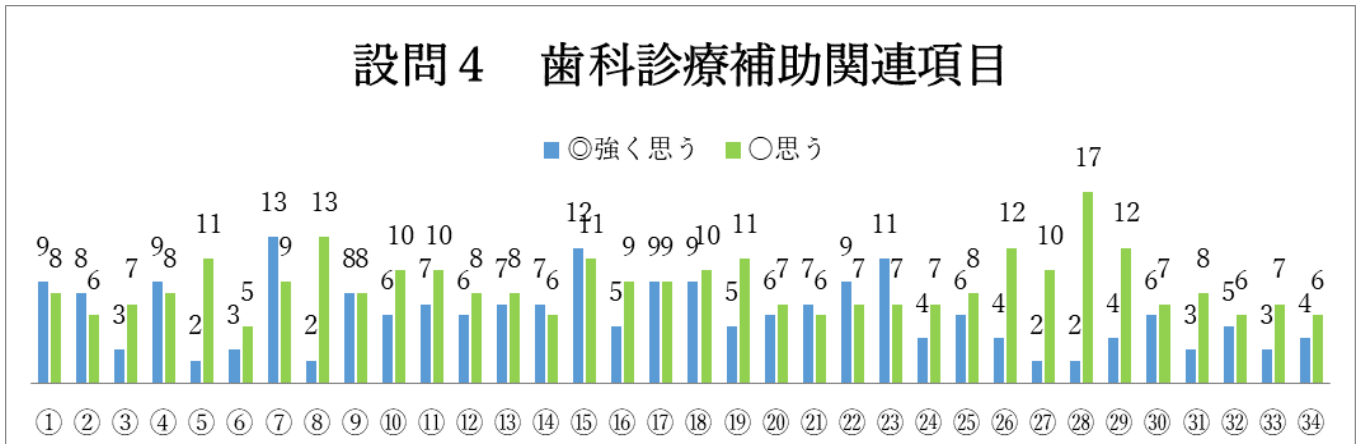
- ①腰痛等の「身体的・体力的」な問題
- ②医療・福祉領域における「精神的」な負担
- ③処遇などの経済的な理由
- ④「待遇・人間関係」などの職場内の問題
- ⑤他の形態の職種に興味を持ったため
- ⑥出産・子育て等のため
- ⑦その他
→具体的に
・回答なし



Ⅱ) 就業のための教育や能力養成について、お聞かせください

設問4：本学で充実すべき教育内容（専門教育）であると思われる項目について、
◎=強く思う、○=思う の記号をつけてください。

<歯科診療補助関連項目>



①切削時のバキュームテクニック

②器材の受け渡し

③ラバーダム防湿

④アルジネート印象材の取り扱い

⑤ゴム質(シリコン)印象材の取り扱い

⑥スナップ印象採得

⑦アルジネート・寒天による連合印象採得

⑧ゴム質(シリコン)印象材による精密印象採得

⑨模型材(石膏)の取り扱い

⑩合着材・接着材の取り扱い

⑪仮着材の取り扱い

⑫仮封材の取り扱い

⑬充填材の取り扱い

⑭充填物の研磨

⑮口腔内写真の撮影

⑯ブローチ綿花の作成

⑰口腔内のエックス線フィルムの固定

⑱エックス線照射口の位置決定

⑲エックス線フィルムのマウント技術

⑳歯周外科手術のアシスト技術

㉑入れ歯の研磨技術

㉒補綴物の研磨・調整技術

㉓暫間被覆冠の作製・調整・仮着技術

㉔口腔外科器具の取り扱い

㉕抜歯処置のアシスト技術

㉖インプラントに関する知識

㉗インプラントに関する技術

㉘ホワイトニングに関する知識

㉙ホワイトニングに関する技術

㉚感染対策

㉛診療室の環境整備

㉜血圧測定

㉝救急蘇生

㉞AEDの取り扱い

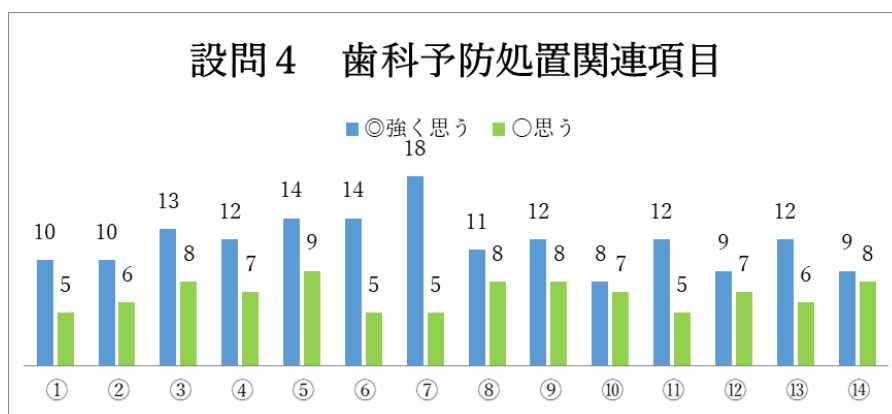
○その他

→具体的に

・P 検の結果からその人に保健指導する。

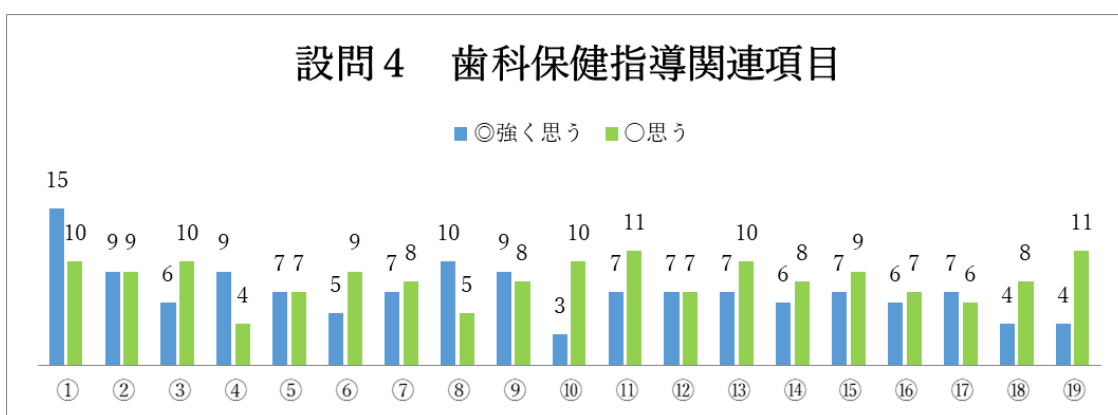
その人にあったブラッシング方法を正確に伝える。

< 歯科予防処置関連項目 >



- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① フッ化物の知識 ② フッ化物歯面塗布法 ③ シーラント ④ スケーリング・ルートプレーニングの基礎知識 ⑤ スケーリング・ルートプレーニングの技術 ⑥ ハンドスケーラーによるスケーリング ⑦ 超音波・エアースケーラーによるスケーリング ⑧ プロービングの知識 | <ul style="list-style-type: none"> ⑨ プロービング技術 ⑩ スケーラーのシャープニング知識 ⑪ スケーラーのシャープニング技術 ⑫ PMTCの知識 ⑬ PMTCの技術 ⑭ 研磨剤・歯磨剤の使い分け ○ その他 <ul style="list-style-type: none"> → 具体的に ・ 歯周病に関する基礎知識 ・ P 検 |
|--|---|

< 歯科保健指導関連項目 >



- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① ブラッシング指導 ② 歯ブラシの選択・処方について ③ 歯磨剤の選択・処方について ④ デンタルフロスの使い方 ⑤ 歯間ブラシの使い方 ⑥ 電動歯ブラシの使い方 ⑦ PCRの記録の採り方 ⑧ カウンセリング技術 ⑨ 子どもとの関わり・接し方 | <ul style="list-style-type: none"> ⑫ 小児への歯科保健指導 ⑬ 保護者への歯科保健指導 ⑭ 成人への歯科保健指導 ⑮ 高齢者への歯科保健指導 ⑯ 要介護者への歯科保健指導 ⑰ 介護者・家族への歯科保健指導 ⑱ 施設スタッフへの歯科保健指導 ⑲ 禁煙支援 ○ その他 |
|--|---|

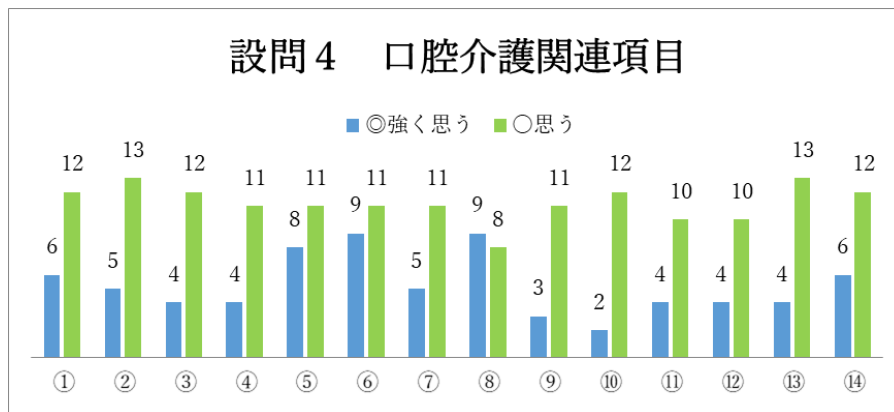
⑩食事・栄養指導

→具体的に

⑪妊産婦への歯科保健指導

・最近電動歯ブラシについて聞かれることが多い

<口腔介護関連項目>



①摂食・嚥下機能の知識

②摂食・嚥下障害の知識

③摂食・嚥下機能の評価

④食形態の知識

⑤内服薬の種類と効能に関する知識

⑥内服薬剤により発現する口腔内の異常

⑦口腔に関連する基礎疾患の知識

⑧要介護者に対する口腔ケア技術

⑨社会福祉に関する知識

⑩生活介護・身体介護に関する技術

⑪身体介護に関する技術

⑫他職種との理解と連携

⑬口腔リハビリの知識

⑭口腔機能向上支援

○その他

→具体的に

・訪問での歯科衛生士の役割

設問5：短期大学の専門教育の中で強化・充実してほしいと思う能力

について、その理由や取組（教育プログラム）のアイデアなどがあれば、記入してください。

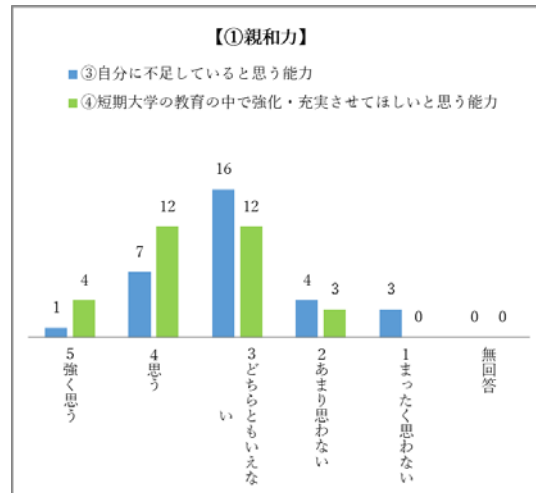
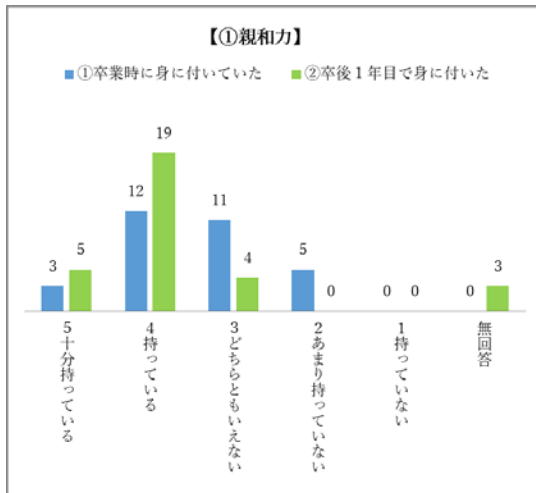
- ・一人ひとりが学びたい科(小児や障害、外科など)について、もっと技術や知識を学べると良い。
- ・口腔内写真やプロービングを強化してもらいたい。
- ・技術面をもっとスキルアップできるカリキュラムにかえてほしい。プロービング、口腔内写真撮影、エックス線補助は特に重要だと思う。
- ・口腔内の異常を見つける能力。
- ・超音波スケーラー(手用はルートプレーニング以外ほぼ使わない)。
- ・TEL 作成 (1度しかしていないが機会多い)。

設問 6-1, 6-2 : 社会人としての能力について、お聞かせください。

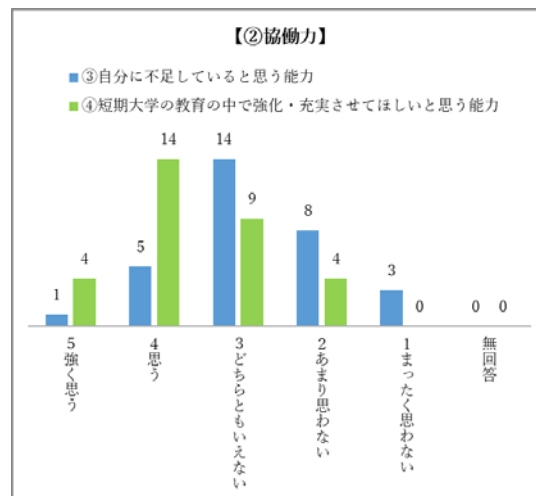
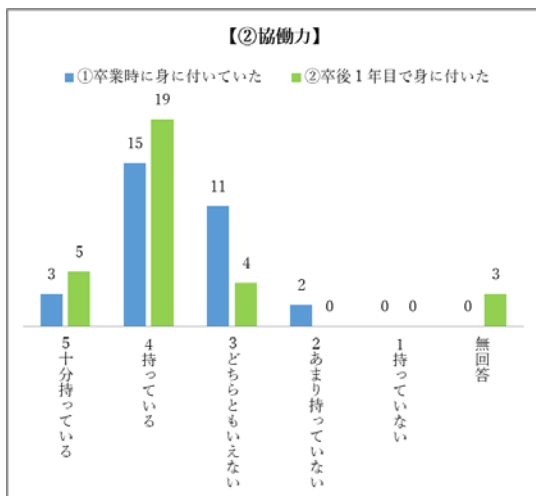
- ①卒業時に身に付いていた程度
- ②卒業1年目で身に付いていた程度
- ③自分に不足していると思う能力
- ④短期大学の教育の中で強化・充実させてほしいと思う能力

について、5段階の選択肢の中から、それぞれ○をつけてください。

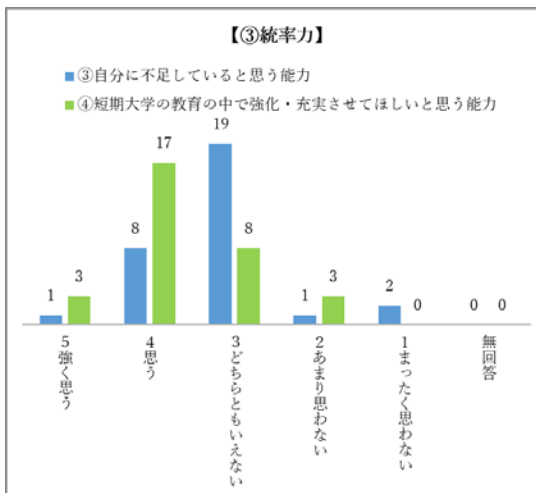
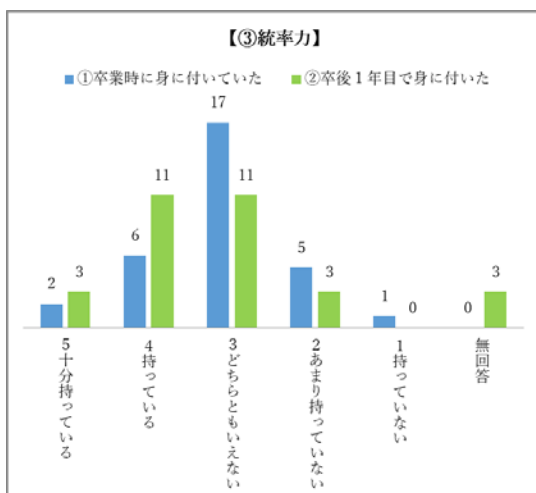
(1) 円満な人間関係を築く力〔親和力：対人基礎力1〕



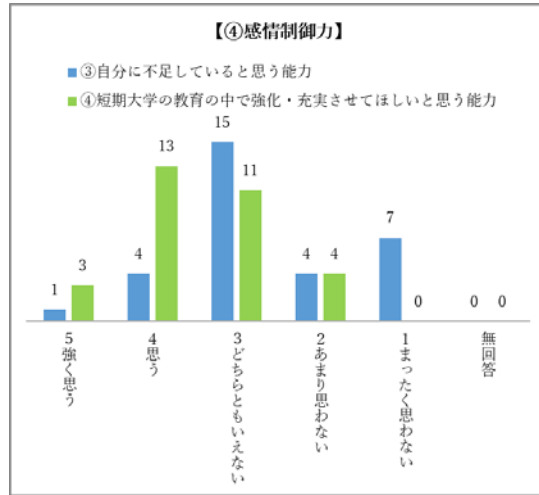
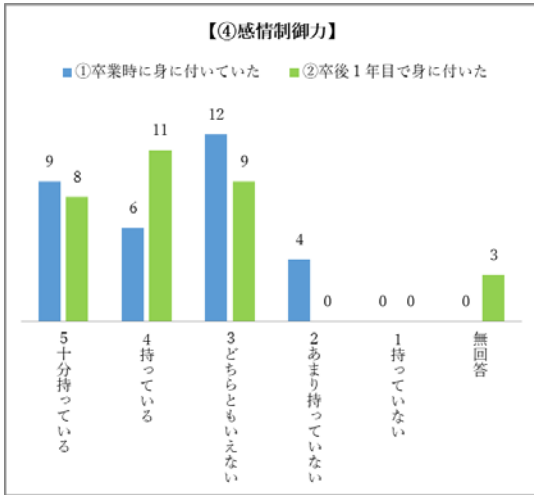
(2) 人と協力しながら物事に取り組む力〔協働力：対人基礎力2〕



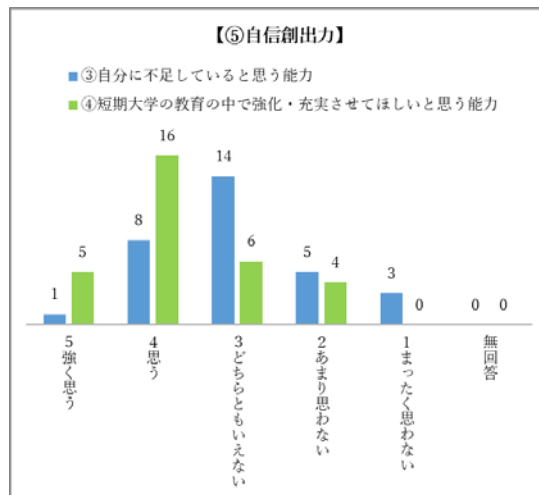
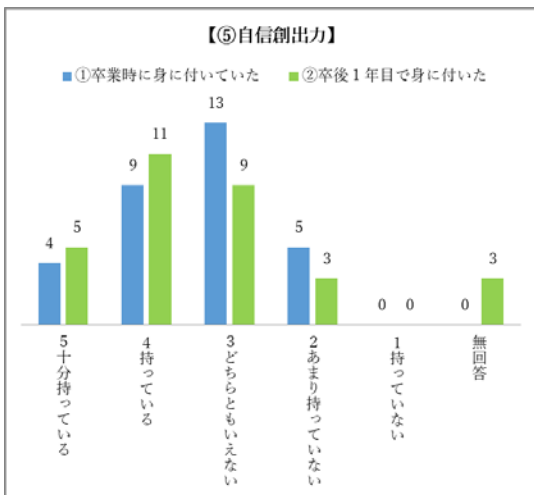
(3) 目標に向かって人や集団をひっぱる力〔統率力：対人基礎力3〕



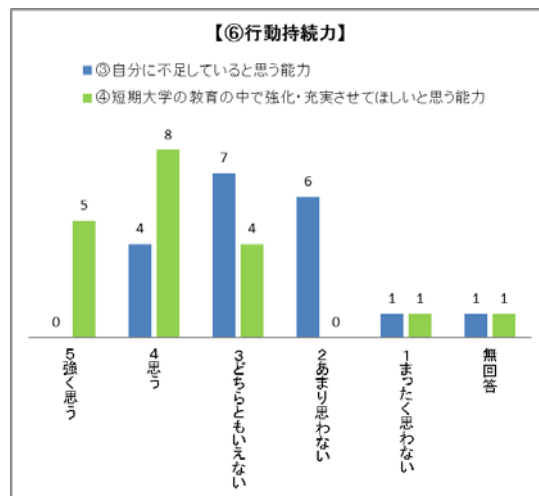
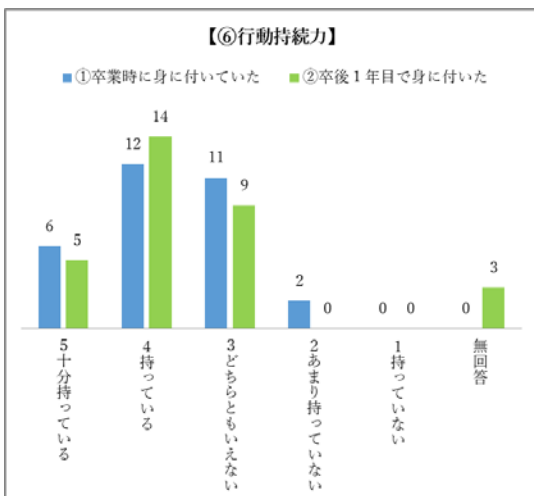
(4) 自分の感情をコントロールする力〔感情制御力：対自己基礎力1〕



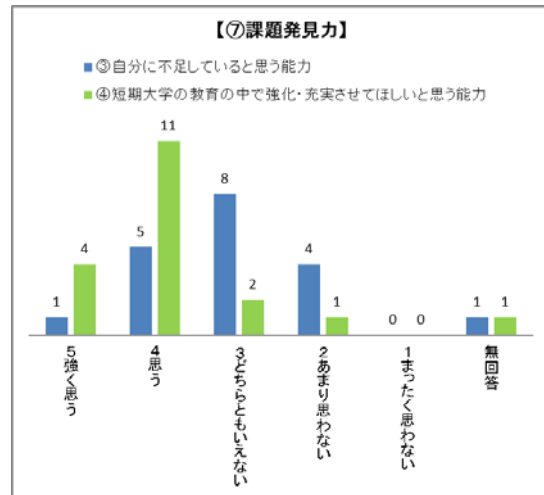
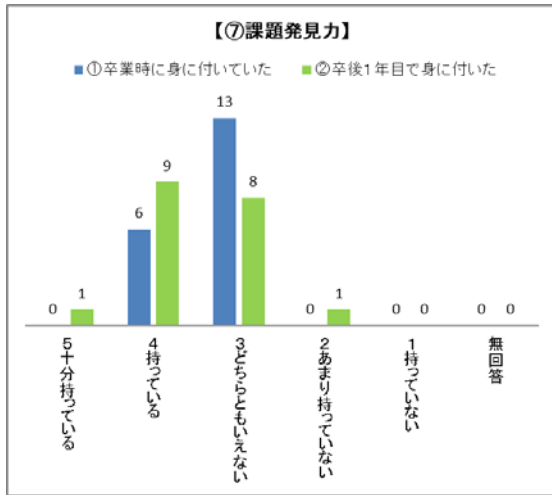
(5) やる気を維持する力〔自信創出力：対自己基礎力2〕



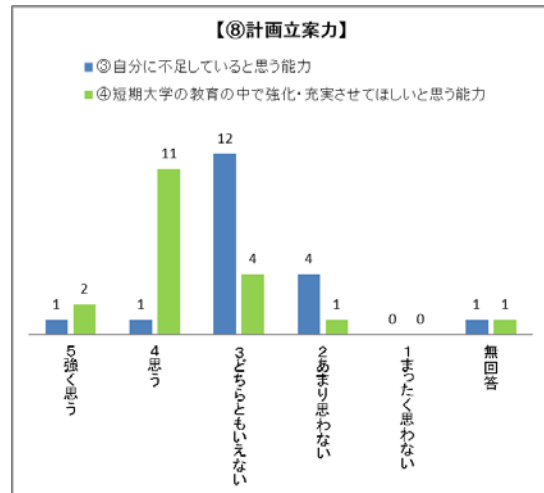
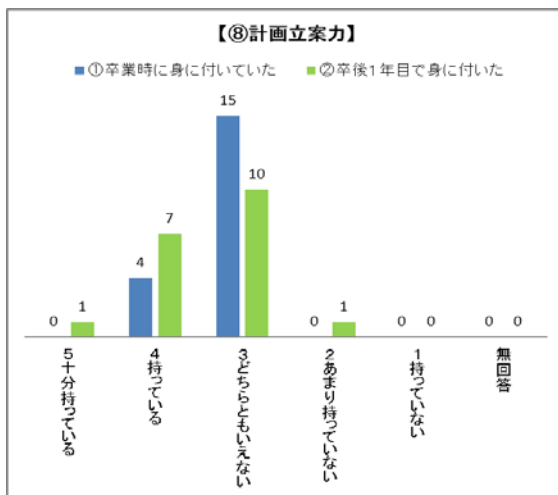
(6) 良い行動を習慣として続けられる力〔行動持続力：対自己基礎力3〕



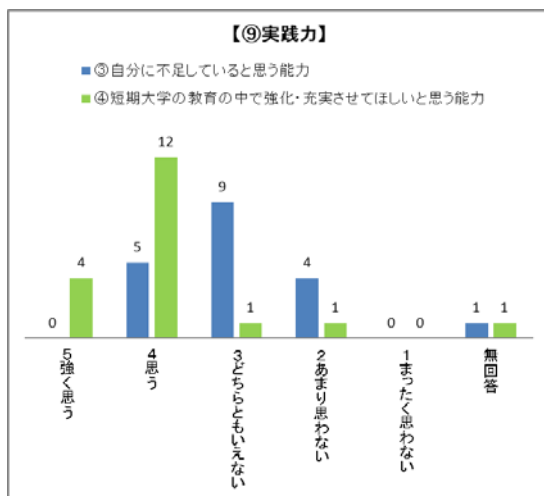
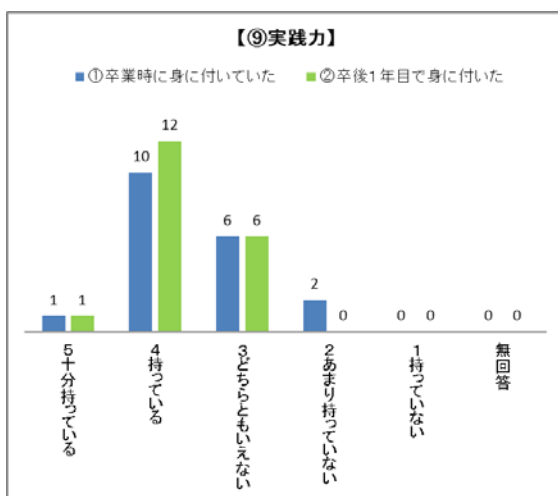
(7) 情報を収集・分析して、課題を発見する力〔課題発見力：対課題基礎力1〕



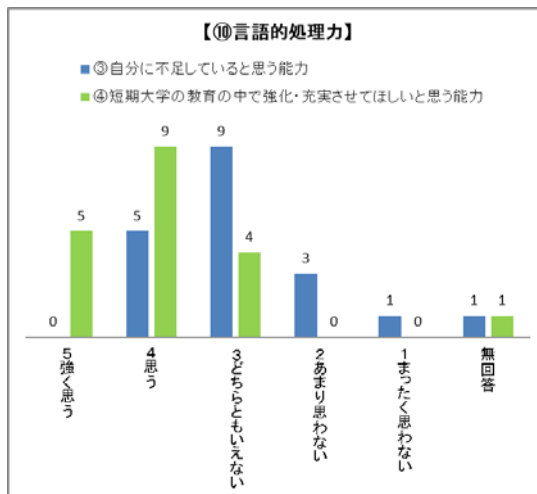
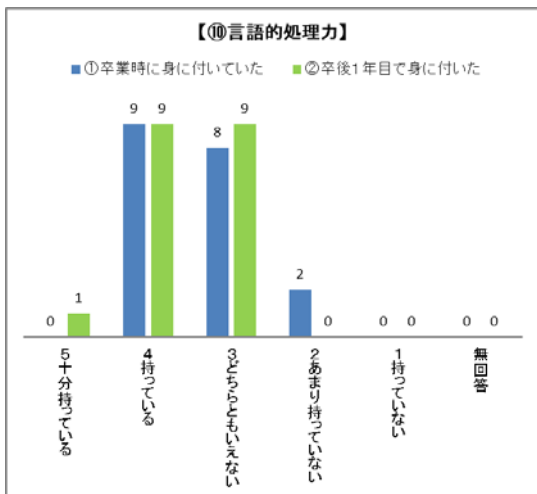
(8) 課題解決のための計画を立案する力〔計画立案力：対課題基礎力2〕



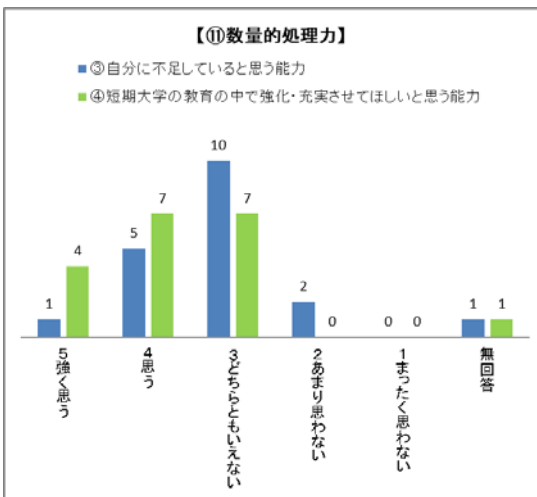
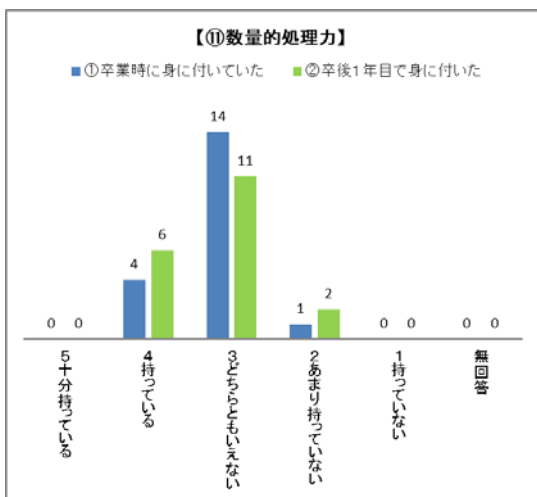
(9) 行動を起こし、最後までやりきる力〔実践力：対課題基礎力3〕



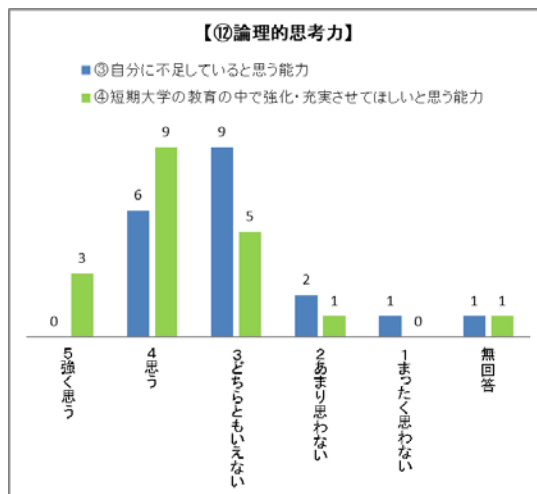
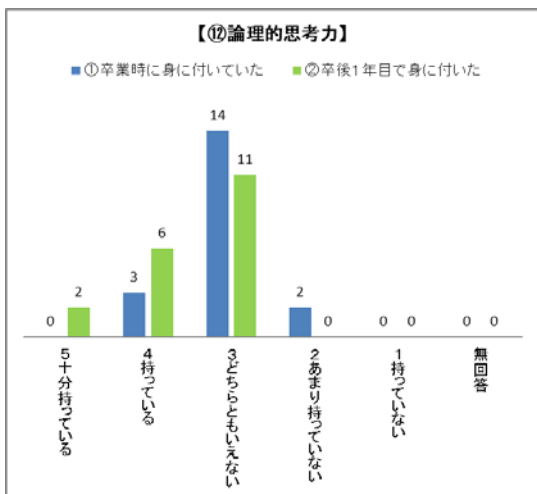
(10) 文章の構成や要旨を的確に理解する力〔言語的処理力：処理力1〕



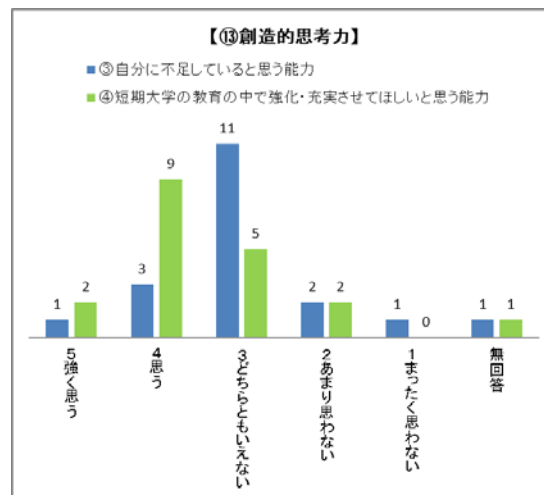
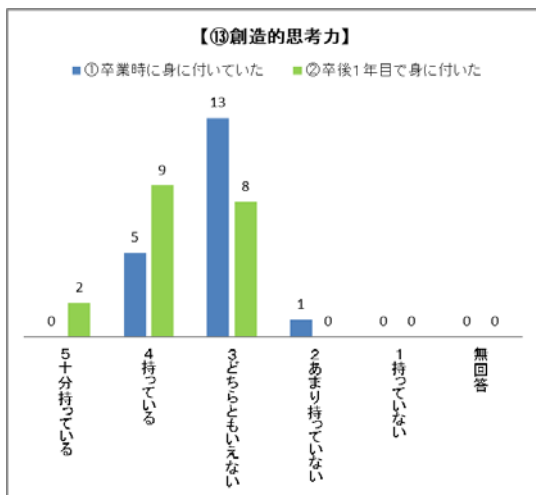
(11) データや数字をすばやく読み取る力〔数量的処理力：処理力2〕



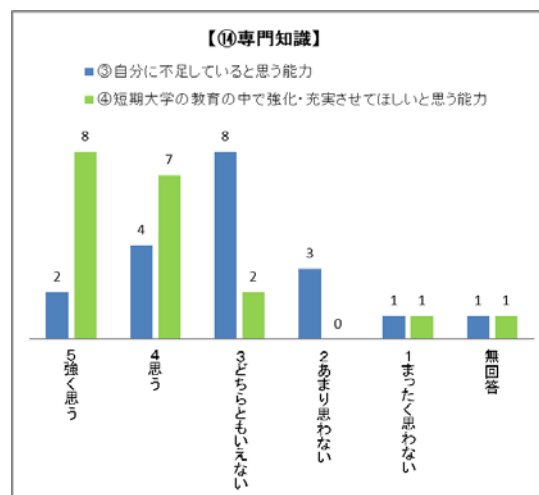
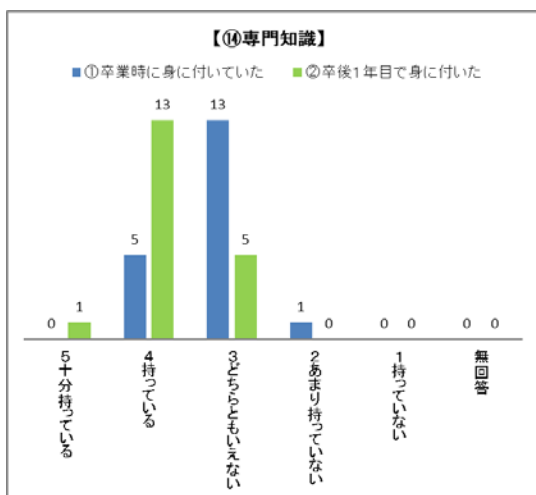
(12) 論理的に物事を分析・構築する力〔論理的思考力：思考力1〕



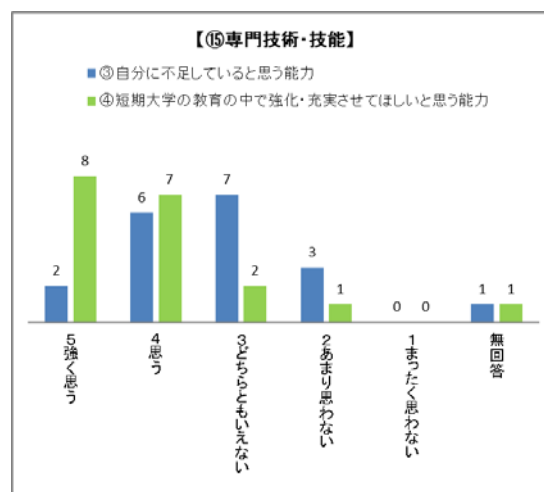
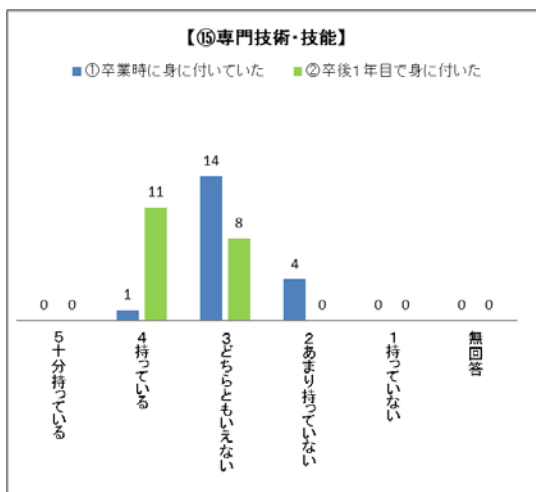
(13) 独自のものの見方や考え方を生かす力〔創造的思考力：思考力2〕



(14) 現在の仕事に関する専門的な知識〔専門知識：専門力1〕

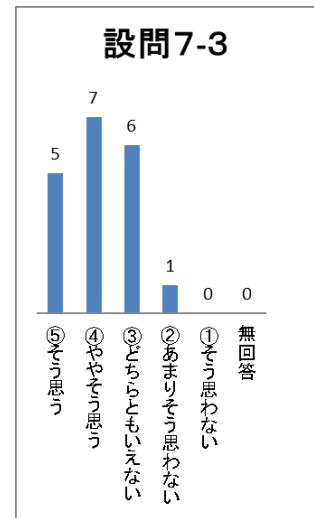
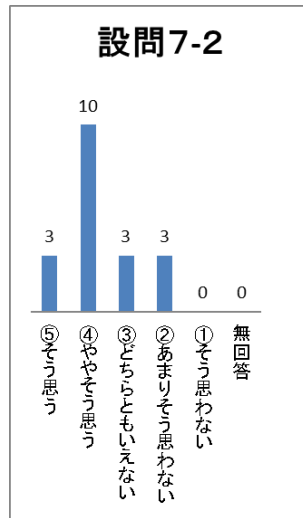
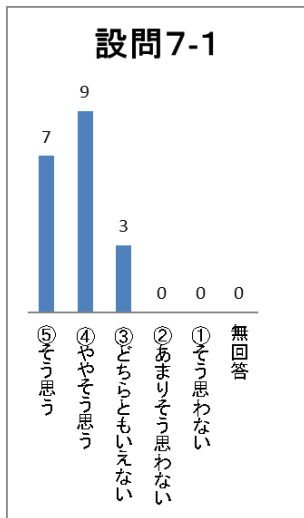


(15) 現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ〔専門技術・技能：専門力2〕

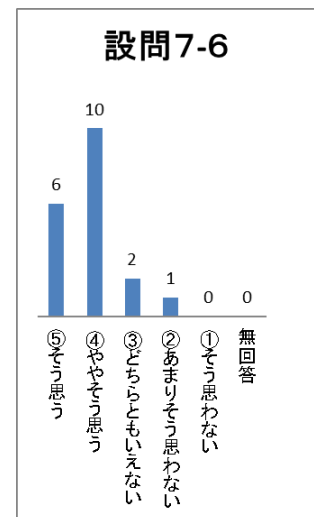
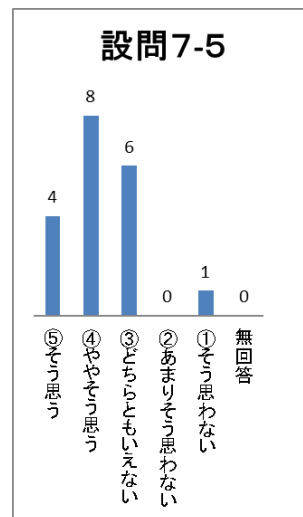
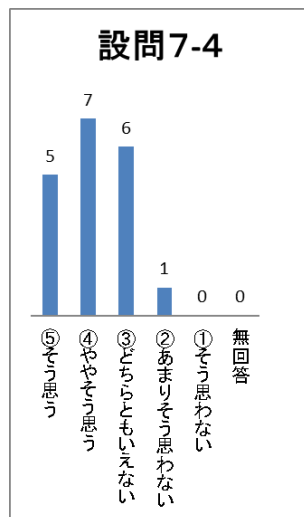


設問7：本学での教育全般について

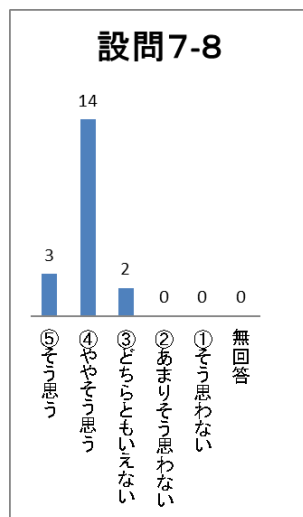
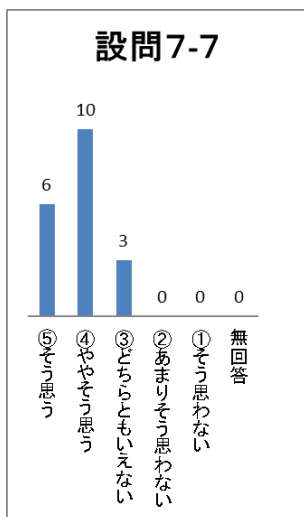
- (1) 専門領域における知識面での教育は適切であった。 (2) 専門領域における技術面での教育は適切であった。 (3) 一般常識や教養が身についた。



- (4) 人間性の面で適切な教育がなされていた。 (5) 自己(健康・体調)管理についての教育が適切になされていた。 (6) コミュニケーション教育が適切になされていた。



- (7) 笑顔・挨拶を含めた接遇が身についた。 (8) 短期大学での教育は、総合的に満足であった。



設問8：本学での教育について、意見や要望、提言があれば、詳しくお聞かせください。(自由記載)

- ・ 実習時間を増やして実践できると働きだして活かせる。
- ・ 座学だけではなく、実習が多かった分、体で覚えることができた。
- ・ 病院実習で、たくさんの科で実習することで、今では、一般歯科(インプラント、矯正、外科など)でとても役に立っています。
- ・ 授業科目を減らし、3年生の後期から卒試、国試の勉強をするべき。
- ・ 机と椅子をどうにかして欲しい。
- ・ 授業のスライドが見にくい。また次に進むスピードが速い。
- ・ 卒試、国試の教室の分け方を考えて欲しい。

以上

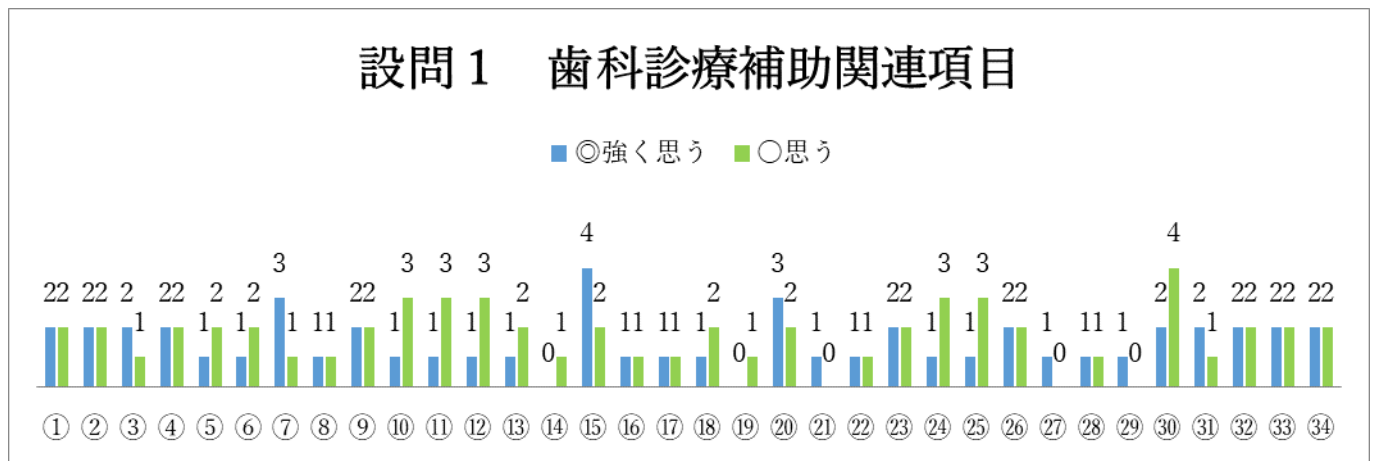
就職先対象：歯科衛生学科

福岡医療短期大学 歯科衛生学科 卒業生に関するアンケート

歯科衛生学科 20 期生卒業生就職先施設：回答 8/18 2020/2/12 郵送

設問 1：短期大学（本学を含む）で充実すべき教育内容（専門教育）であると思われる項目について、◎＝強く思う、○＝思う の記号をつけてください。

< 歯科診療補助関連項目 >



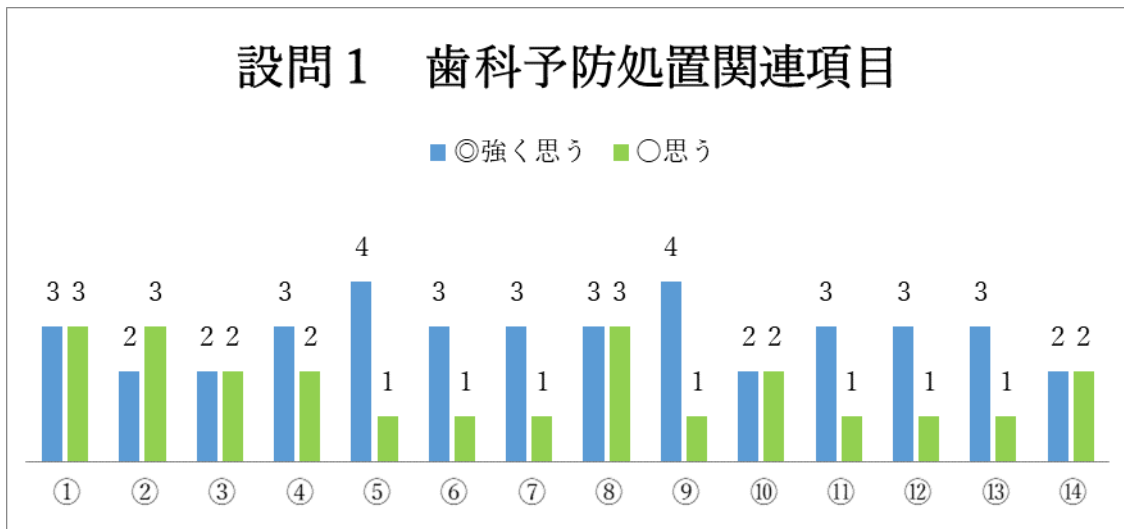
- | | |
|------------------------|-------------------|
| ①切削時のバキュームテクニック | ⑳歯周外科手術のアシスト技術 |
| ②器材の受け渡し | ㉑入れ歯の研磨技術 |
| ③ラバーダム防湿 | ㉒補綴物の研磨・調整技術 |
| ④アルジネート印象材の取り扱い | ㉓暫間被覆冠の作製・調整・仮着技術 |
| ⑤ゴム質(シリコン)印象材の取り扱い | ㉔口腔外科器具の取り扱い |
| ⑥スナップ印象採得 | ㉕抜歯処置のアシスト技術 |
| ⑦アルジネート・寒天による連合印象採得 | ㉖インプラントに関する知識 |
| ⑧ゴム質(シリコン)印象材による精密印象採得 | ㉗インプラントに関する技術 |
| ⑨模型材(石膏)の取り扱い | ㉘ホワイトニングに関する知識 |
| ⑩合着材・接着材の取り扱い | ㉙ホワイトニングに関する技術 |
| ⑪仮着材の取り扱い | ㉚感染対策 |
| ⑫仮封材の取り扱い | ㉛診療室の環境整備 |
| ⑬充填材の取り扱い | ㉜血圧測定 |
| ⑭充填物の研磨 | ㉝救急蘇生 |
| ⑮口腔内写真の撮影 | ㉞A E Dの取り扱い |
| ⑯ブローチ綿花の作成 | |
| ⑰口腔内のエックス線フィルムの固定 | |
| ⑱エックス線照射口の位置決定 | |
| ⑲エックス線フィルムのマウント技術 | |

○その他

→具体的に

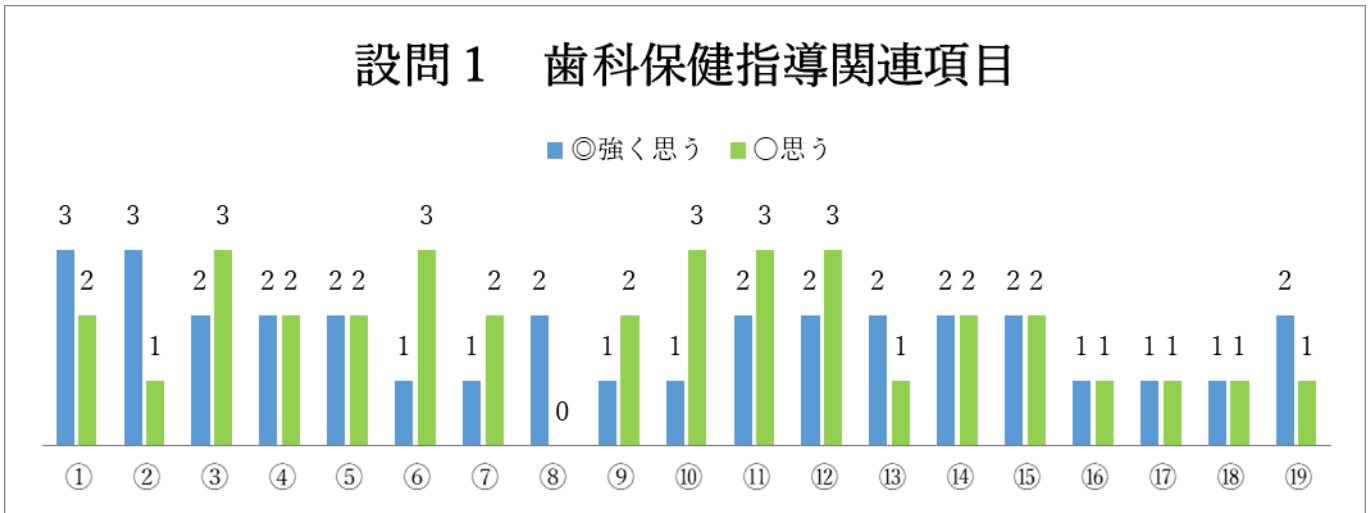
- ・補綴物 set 後のセメントアウトのコツ。
硬化してしまう前に小綿球で拭うなど…。

< 歯科予防処置関連項目 >



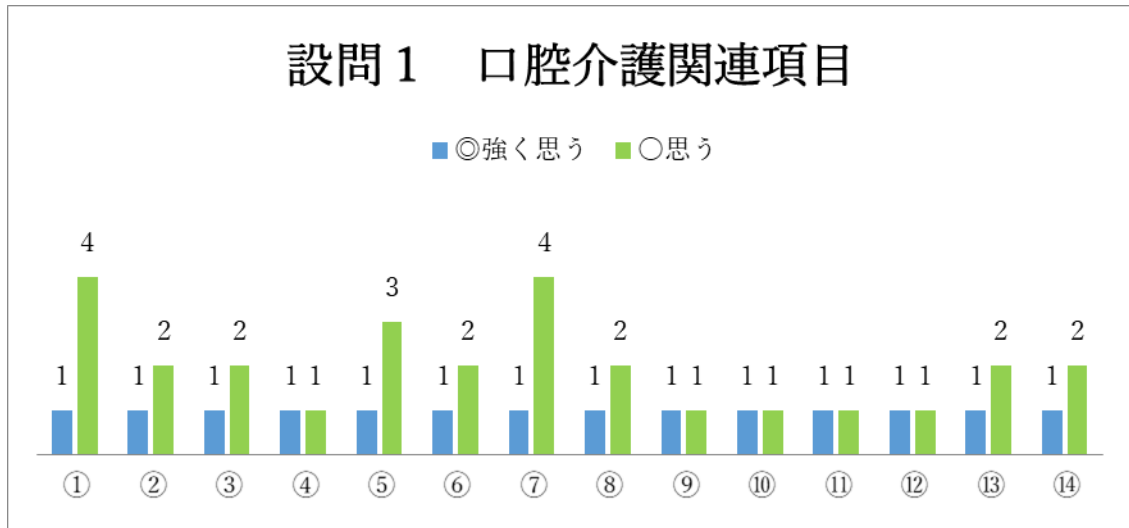
- | | |
|------------------------|------------------|
| ①フッ化物の知識 | ⑩スケーラーのシャープニング知識 |
| ②フッ化物歯面塗布法 | ⑪スケーラーのシャープニング技術 |
| ③シーラント | ⑫PMT Cの知識 |
| ④スケーリング・ルートプレーニングの基礎知識 | ⑬PMT Cの技術 |
| ⑤スケーリング・ルートプレーニングの技術 | ⑭研磨剤・歯磨剤の使い分け |
| ⑥ハンドスケーラーによるスケーリング | ○その他 |
| ⑦超音波・エアースケーラーによるスケーリング | →具体的に |
| ⑧プロービングの知識 | ・回答なし |
| ⑨プロービング技術 | |

< 歯科保健指導関連項目 >



- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ①ブラッシング指導 ②歯ブラシの選択・処方について ③歯磨剤の選択・処方について ④デンタルフロスの使い方 ⑤歯間ブラシの使い方 ⑥電動歯ブラシの使い方 ⑦PCRの記録の採り方 ⑧カウンセリング技術 ⑨子どもとの関わり・接し方 ⑩食事・栄養指導 ⑪妊産婦への歯科保健指導 | <ul style="list-style-type: none"> ⑫小児への歯科保健指導 ⑬保護者への歯科保健指導 ⑭成人への歯科保健指導 ⑮高齢者への歯科保健指導 ⑯要介護者への歯科保健指導 ⑰介護者・家族への歯科保健指導 ⑱施設スタッフへの歯科保健指導 ○禁煙支援 ○その他 <ul style="list-style-type: none"> →具体的に ・回答なし |
|---|--|

<口腔介護関連項目>



- ①摂食・嚥下機能の知識
- ②摂食・嚥下障害の知識
- ③摂食・嚥下機能の評価
- ④食形態の知識
- ⑤内服薬の種類と効能に関する知識
- ⑥内服薬剤により発現する口腔内の異常
- ⑦口腔に関連する基礎疾患の知識
- ⑧要介護者に対する口腔ケア技術
- ⑨社会福祉に関する知識

- ⑩生活介護・身体介護に関する技術
- ⑪身体介護に関する技術
- ⑫他職種の理解と連携
- ⑬口腔リハビリの知識
- ⑭口腔機能向上支援
- その他

→具体的に

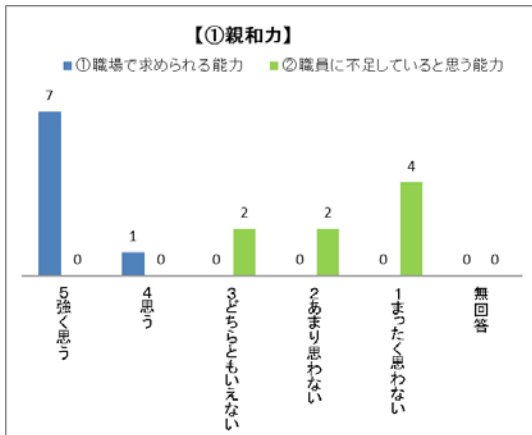
・口腔機能向上支援(小児)。その他はよく教育されている。

設問2：社会人としての能力について、お聞かせください。

- ① 貴施設での職務において求められる重要な能力 と
 - ② 短期大学（本学を含む）を卒業した職員に不足していると思う能力 について
- 5段階の選択肢の中から、それぞれ○をつけてください。

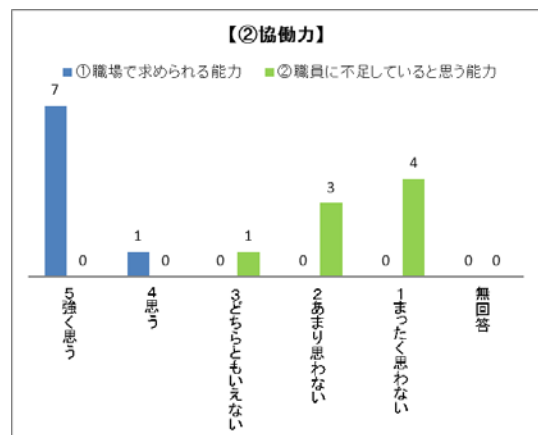
(1) 円満な人間関係を築く力

[親和力：対人基礎力1]



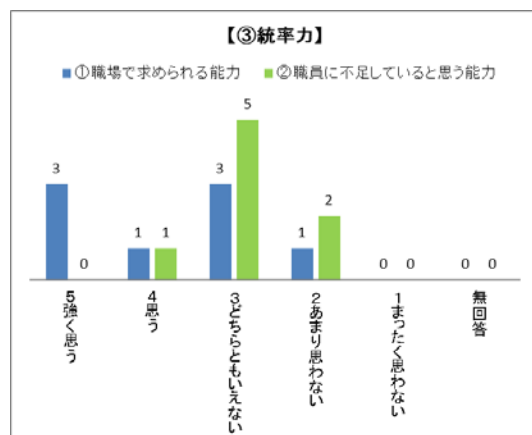
(2) 人と協力しながら物事に取り組む力

[協働力：対人基礎力2]



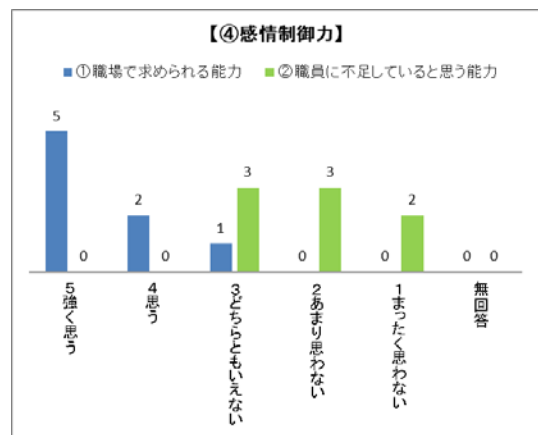
(3) 目標に向かって人や集団をひっぱる力

[統率力：対人基礎力3]



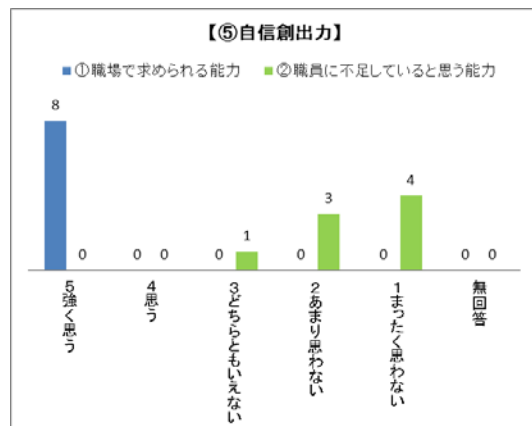
(4) 自分の感情をコントロールする力

[感情制御力：対自己基礎力1]



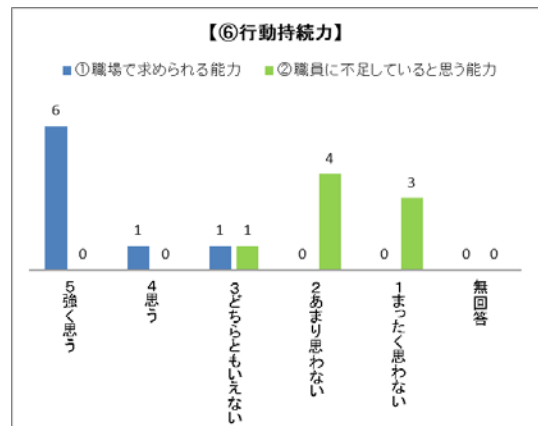
(5) やる気を維持する力

[自信創出力：対自己基礎力2]



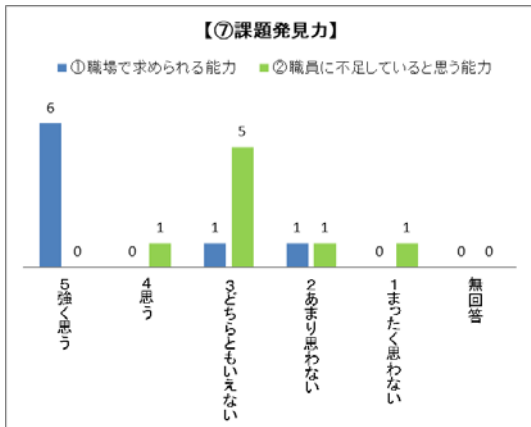
(6) 良い行動を習慣として続けられる力

[行動持続力：対自己基礎力3]



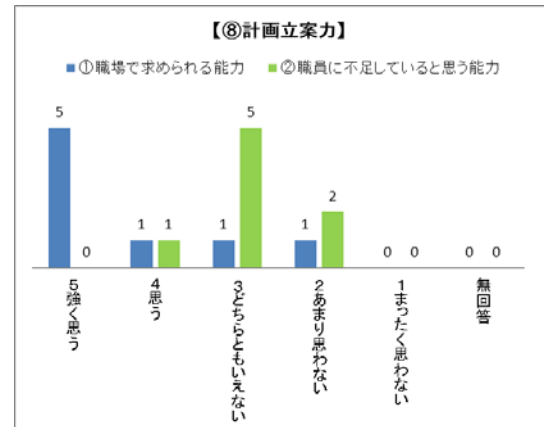
(7) 情報を収集・分析して、課題を発見する力

[課題発見力：対課題基礎力1]



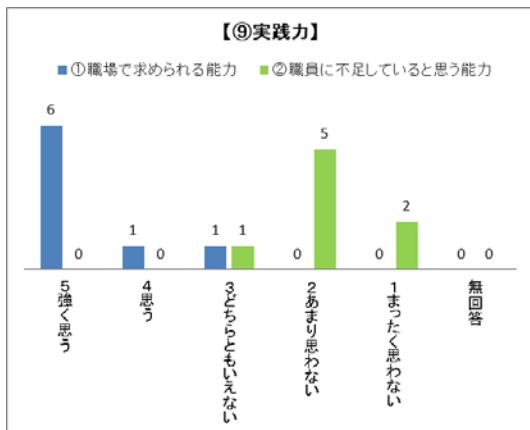
(8) 課題解決のための計画を立案する力

[計画立案力：対課題基礎力2]



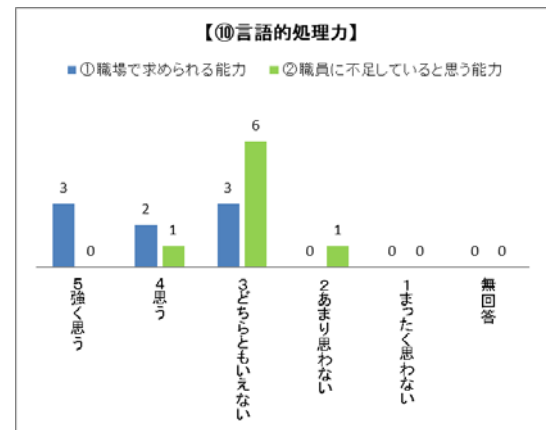
(9) 行動を起こし、最後までやりきる力

[実践力：対課題基礎力3]



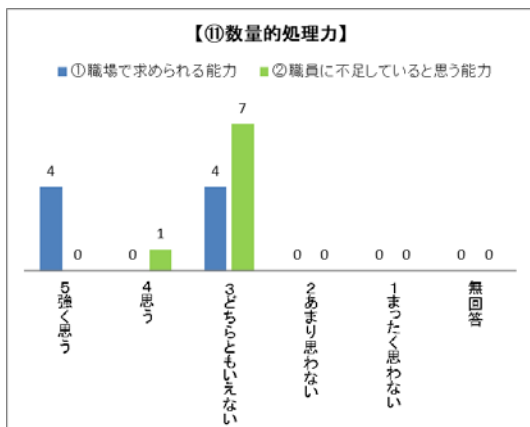
(10) 文章の構成や要旨を的確に理解する力

[言語的処理力：処理力1]



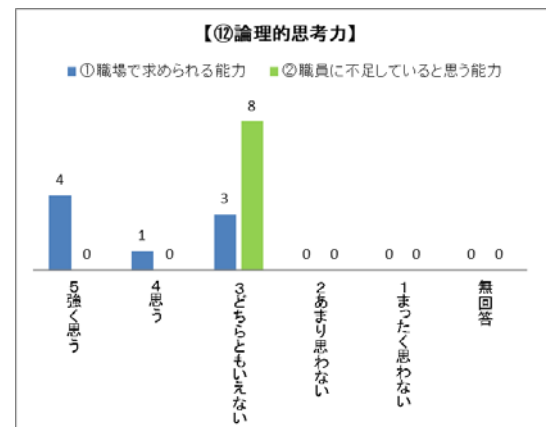
(11) データや数字をすばやく読み取る力

[数量的処理力：処理力2]



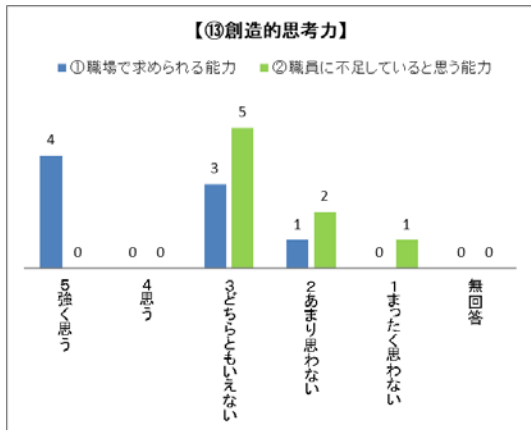
(12) 論理的に物事を分析・構築する力

[論理的思考力：思考力1]



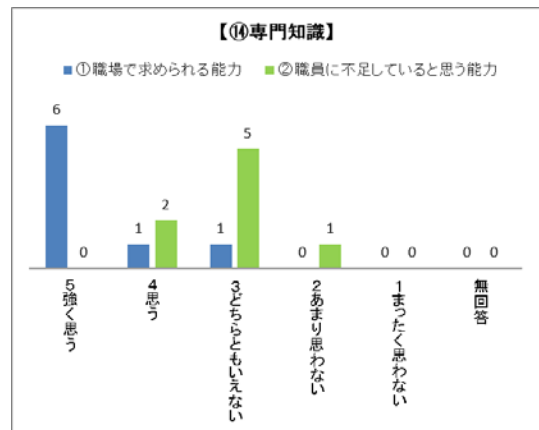
(13) 独自のものの見方や考え方をする力

[創造的思考力：思考力2]



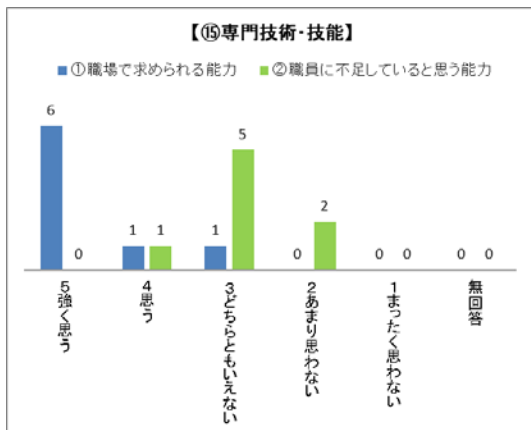
(14) 現在の仕事に関する専門的な知識

[専門知識：専門力1]



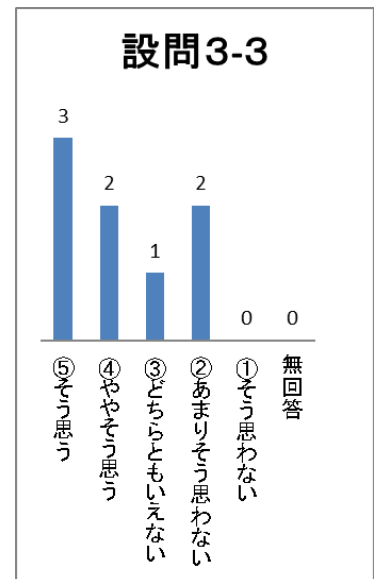
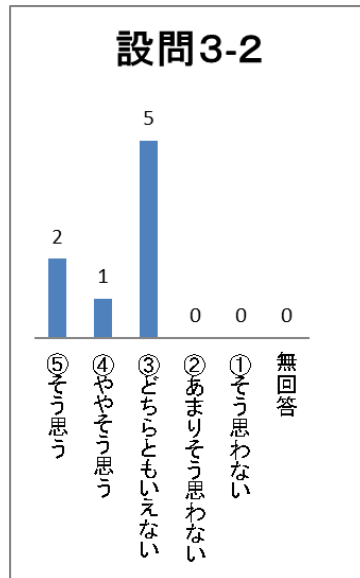
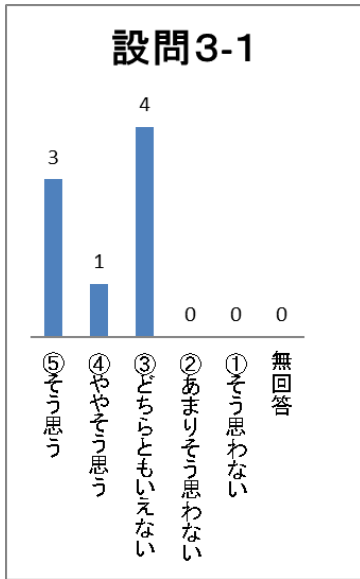
(15) 現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ

[専門技術・技能：専門力2]

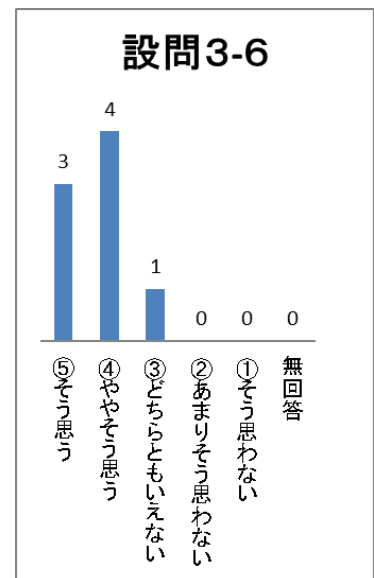
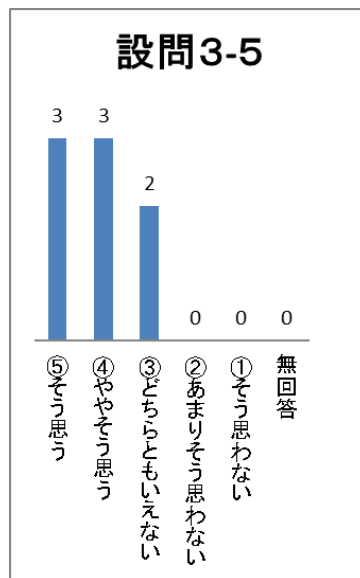
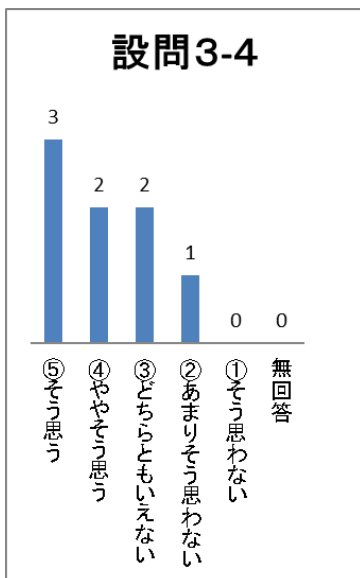


設問3 : 本学での教育全般について該当するものに○を入れて下さい

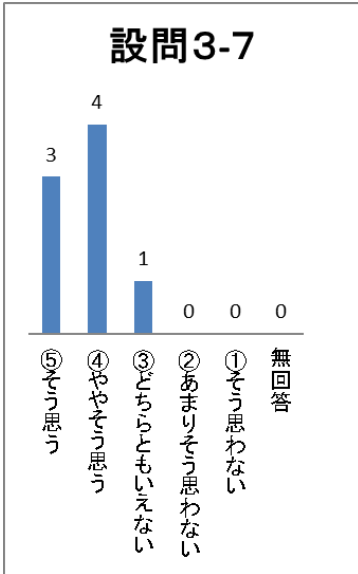
- (1) 専門領域における**知識面**での教育は適切である。 (2) 専門領域における**技術面**での教育は適切である。 (3) 一般常識や教養が身につについている。



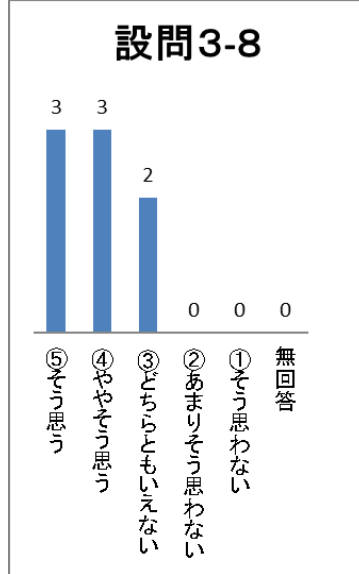
- (4) 人間性の面で適切な教育がなされている。 (5) 自己(健康・体調)管理についての教育が適切になされている。 (6) コミュニケーション教育が適切になされている。



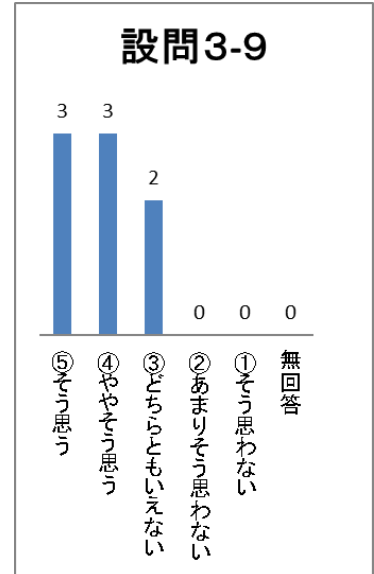
(7) 笑顔・挨拶を含めた接遇が身についている。



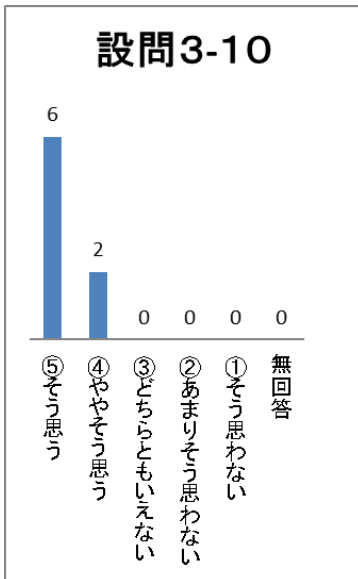
(8) 短大で身につけた能力を発揮している。



(9) 短期大学での教育は、総合的に満足である。



(10) 今後も本学(短期大学)の卒業生を採用したいと思う。



設問4：本学卒業生を採用する理由 や 採用選考のポイント について、お聞かせください。

- ・面接時に目が輝いていたこと。1年後、5年後の自分の将来像を言えたこと。
- ・基礎知識もあり、採用にあたり満足するレベルであった。
- ・出身校で区別しない。どんな人でも育てるしかないと思っている。
- ・明るく前向きな性格。
- ・歯科衛生士全員が貴学の卒業生なので。
- ・教育がきちんとされていると感じる。
- ・当院の歴史の中でも、深く貢献してくれた学生さんがたくさんいる。
- ・協調性とやる気。
- ・採用者は初対面時から姿勢や言葉遣いが謙虚で非常に好印象だった。入社後も、コミュニケーション能力が高く、全スタッフと分け隔てなく接しており、新入社員の中でも中心的な存在。診療後は残って Tec 作製の練習や、SRP のマネキン実習にも取り組んでおり、仕事に対し一生懸命。当院では、彼女のように、目標に向かって前向きに取り組める人材を採用していきたい。

設問5：学生に求める大切な資質・能力 についてお聞かせください。

また、その理由や育成のためのアイデアなどがあれば、お聞かせください。

- ・やる気・元気・笑顔
- ・何事をするにしてもやる気がなければ指導できない。
- ・明るく元気でなければ仕事もプライベートも充実しない。
- ・笑顔は自分だけでなく周囲の人にも良い影響をあたえてくれるから。
- ・一般臨床の経験不足で、専門教育だけでなく、一般臨床での経験ができれば良いのでは。
- ・あきらめない、目の前のことに一生懸命できる能力。
- ・歯科はチーム医療なので、明るい性格が求められる。報告、連絡、相談の基本的な事ができるようにすることが新卒には最も大事で、技術的なことは入社してからの努力によると考える。
- ・せつかく資格を取得するので、これを花開かせ、自分の財産にしていくために、前向きにとらえる力、少ししんぼうする力は大切。
- ・本学以外の卒業生などは院長や先輩の話を書くときの姿勢が良くない場合がある(壁によりかかる、手を後ろで組んで足を崩している、メモをとらないなど)。医院にとって良い悪いというよりも自分がやりたいかやりたくないかを基準に仕事と向き合ってしまう方もいる。そういったビジネスマナーや仕事に対する在り方などの講座があると良い。

設問6：短期大学在学中に実施してほしい教育内容・教授方法 についてお聞かせください。

また、その理由や取組のアイデアなどがあれば、お聞かせください。

- ・ カウンセリングスキル教育(歯周病・むし歯・補綴など)
- ・ 何か一つのテーマを調べて、発表しあう。できるだけ多くの人に優秀賞等を付与し、行ったことを評価されることで自信をつけて欲しい。
- ・ 歯科は患者の人生を救う職種であり、その中での衛生士は中心的な役割を担うので、歯科の可能性について教育して欲しい。
- ・ 当院で患者様とスタッフ対象に行ったイベント「思い出の味」。日頃作ってもらっている料理の絵を実際に描いてもらったり、レシピを受け継ぎ実際に作ってもらったりした。父母への感謝も生まれ、愛されていることも再認識でき、伝統の味も継承できる。
- ・ 人工歯石を用いた SRP のマネキン実習。

設問7：その他、本学へのご要望、メッセージ等がございましたら、お聞かせください。

- ・ 明るく健康が一番だと思います。
- ・ とても優秀な頼りになる人材が採用でき、助かっている。教育がしっかりなされている学校であると思う。採用した方が今後も歯科衛生士として成長し、充実した社会人生活を送れるよう、努める。

以上

令和元年度実施 卒業生対象の追跡調査【保健福祉学科】

【全体概要】

18期卒業生（H30年度卒業）と16期生（H28年度卒業生）とその就職先施設を対象にそれぞれ卒後1年と3年経過したところで、就業状況と保健福祉学科の基礎教育、社会人として身についた能力に関する追跡調査を実施した。回答は卒業生が7/17名（18期生）、5/28名（16期生）と就職先施設が4/8施設（18期生）、7/15施設（16期生）であった。

- 1) 主な就職先は、介護老人福祉施設、介護老人保健施設であり、全員が介護福祉士または社会福祉士として採用されている。本学で充実すべき教育内容（科目）について、半数が充実すべきであるとの回答であった。
- 2) 社会人としての能力について、多くの項目は「卒業時身につけていた」「卒後1年目で身についた」と感じているが、「③目標に向かって人や集団をひっぱる力」「⑨行動を起こし、最後までやりきる力」に関しては自分にとって不足し、本学で充実強化させて欲しいと感じている。
- 3) 本学での教育全般について、ほぼ全ての項目で肯定的な評価であった。
- 4) 就職先アンケートの回収率はどちらもほぼ半数であった。
- 5) 就職先アンケートの本学で充実すべき教育内容（科目）については「②人間関係とコミュニケーション（対人関係や受容・共感・傾聴など）」について「強くそう思う」との回答が多かった。
- 6) 社会人としての能力について、多くの項目において施設で求められる重要な能力と回答している一方、短期大学（本学を含む）を卒業した職員に不足していると思う能力については、「③目標に向かって人や集団をひっぱる力」「⑦情報を収集・分析して、課題を発見する力」「⑩文章の構成や要旨を的確に理解する力」と回答したものの割合が高かった。
- 7) 自由記載等では、卒業生・就職先両方から良い意見や教育改善に向けて有意義な意見が多々あり、今後の短大全体の教育改善に役立てていきたい。

【課題】

- 1) 卒業生へのアンケートは、卒業生の現在の就業状況（キャリアアップ）を把握すると同時に、本学の教育効果を検証することで今後の教育改善につなげる役割もあるが、まず回収率が低いことが課題として挙げられる。

卒業生対象：保健福祉学科

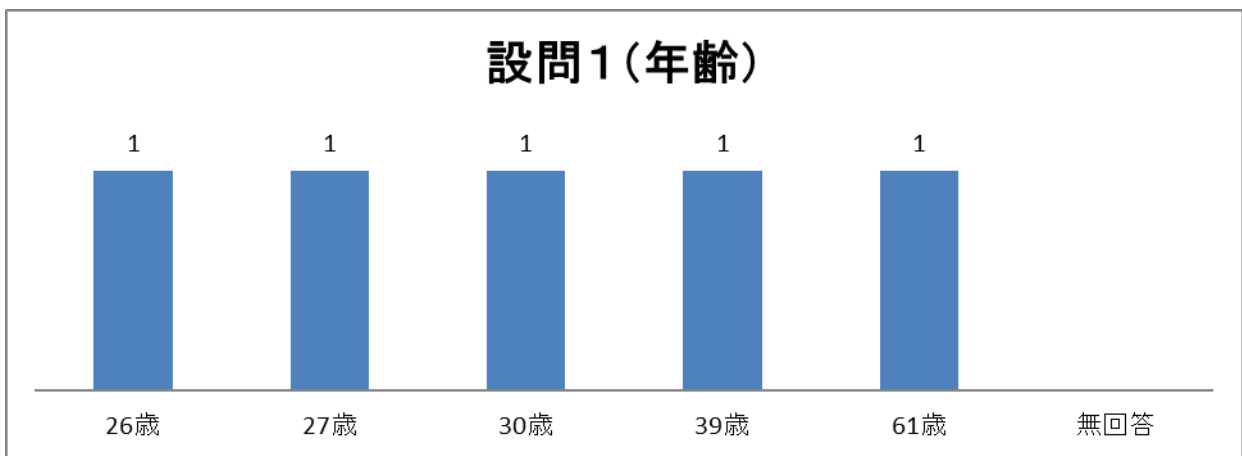
福岡医療短期大学 保健福祉学科同窓会会員（卒業生）へのアンケートのお願い

保健福祉学科 16期生(H28年度卒)：回答 5/28名【男性3名、女性2名】2020/2/12 郵送

I) 就業状況について、お聞かせください

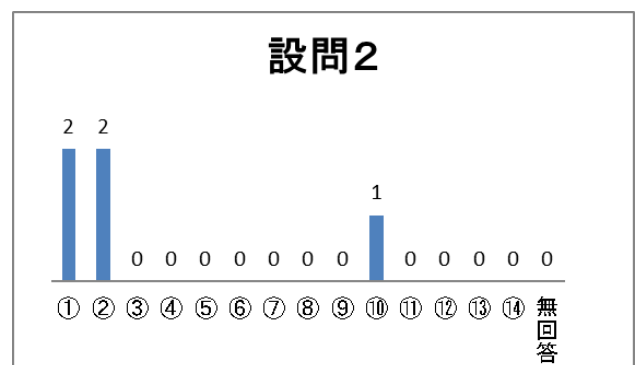
設問1： あなたの性別・年齢についてお答えください。

- 男性：3/15人
- 女性：2/13人
- 年齢：グラフ参照



設問2： 現在の就職・進学先について該当する番号に○をつけてください。

- ①介護老人福祉施設
(特別養護老人ホーム)
- ②介護老人保健施設
- ③障がい者関係施設
(身体・知的・精神・重症心身)
- ④医療機関
- ⑤グループホーム・小規模多機能型施設
- ⑥有料老人ホーム
- ⑦通所施設(デイケア、デイサービス)
- ⑧訪問介護
- ⑨居宅介護支援事業所
- ⑩その他の社会福祉領域(公務員等としての福祉業務)
→具体的に(ホームレス支援)
- ⑪社会福祉領域以外の職種(福祉領域以外での就職)
→具体的に(回答なし)
- ⑫進学・学生(大学、短期大学、専門学校等)



→具体的に（回答なし）

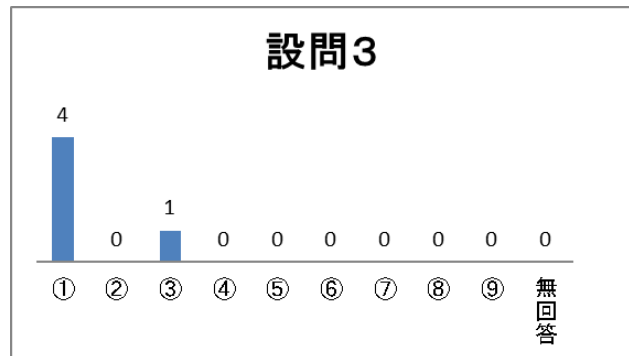
⑬現在は就職・進学していない（休職中、家事手伝い、専業主婦 等）

⑭その他

→具体的に（回答なし）

設問3： **現在の職場** において活用している資格について、
該当する番号に○をつけてください。（複数回答可）

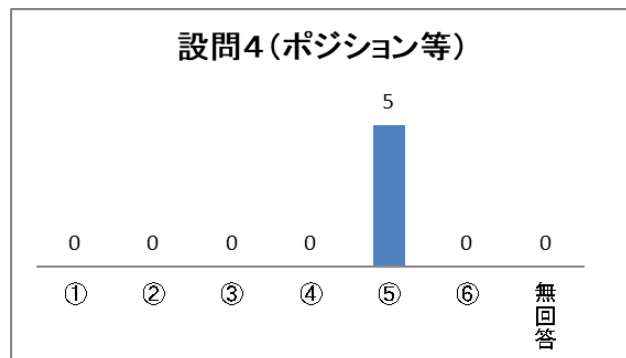
- ①介護福祉士
 - ②ケア・マネジャー
 - ③社会福祉士
 - ④看護師
 - ⑤理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
 - ⑥社会福祉主事任用資格
 - ⑦認知症ケア専門士
 - ⑧なし（他業種での就業時 等）
 - ⑨その他
- 具体的に（回答なし）



設問4： **現在の職場** におけるポジション（役職を含めて）と雇用形態について、
該当する番号に○をつけてください。（複数回答可）

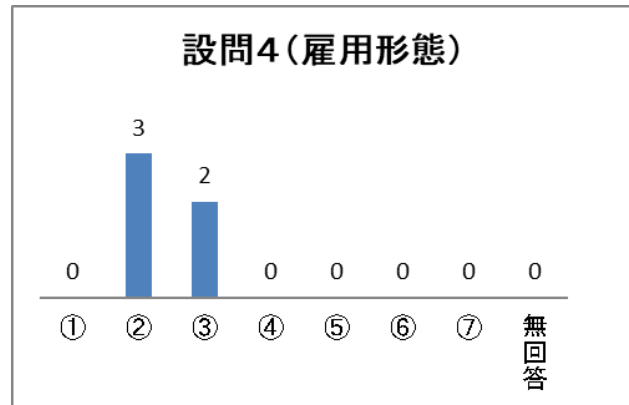
■ポジション（役職等）について

- ①職場の長・責任者
- ②主任、フロア・リーダー等の役職
- 具体的に
- ・ デイサービスリーダー
- ③実習学生、新人の指導者
- 具体的に
- ・ 持ちまわりでの担当。
- ・ 新卒で入職した新人の指導、1年間。
- ④相談員等の相談業務
- 具体的に
- ・ 相談支援と兼務。
- ⑤特に役職・肩書きなし
- ⑥その他のポジション
- 具体的に（回答なし）



■雇用形態について

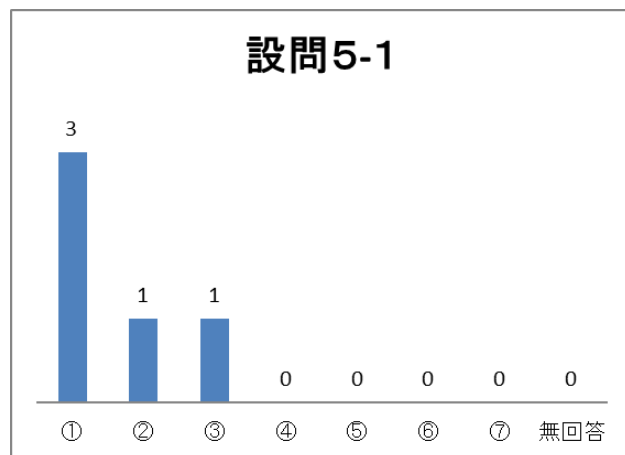
- ① 経営者・自営（共同経営、共同出資）
- ② 正規職員・社員（正規雇用）
- ③ 嘱託職員（期限限定の雇用）
 - 雇用年限
 - ・ 1年間更新
- ④ 非常勤（パートタイマー）
- ⑤ 契約社員・職員、派遣社員に準ずる
契約形態
- ⑥ 進学・学生（大学、短期大学、専門学校 等）
- ⑦ 就職・進学していない（休職中、家事手伝い、専業主婦 等）



設問5-1： 卒業後の転職や退職について、該当する番号に○をつけてください。

〔令和2年3月末（予定を含む）でお答えください〕

- ① 卒業してから現在まで
同じ勤務先（施設）で働いている
- ② 最初の職場を退職したが、
1ヶ月以内に介護福祉士として
再就職した
- ③ 最初の職場を退職し、
1ヶ月以上離職したが再就職した
- ④ 最初の職場を退職し、
その後再就職していない
- ⑤ 一時的に仕事に就いた
- ⑥ 卒業してから就職していない
- ⑦ その他
→具体的に（回答なし）



設問5-2：「転職 経験あり」の方のみ、お答えください：

→ 転職先の職種を、具体的にお聞かせください。

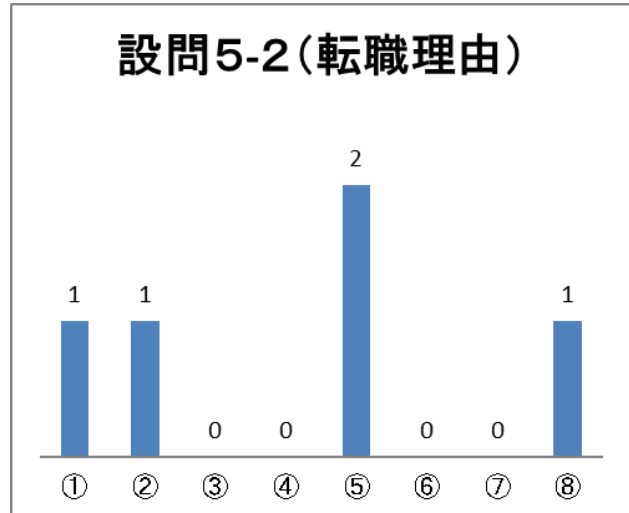
- ・ 介護福祉士
- ・ 相談員

→ その理由は、なにでしたか？該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

- ①腰痛等の「身体的・体力的」な問題
- ②医療・福祉領域における「精神的」な負担
- ③介護福祉士としてのキャリアアップのため
- ④給与などの経済的な理由
- ⑤「人間関係・待遇」などの職場内の問題
- ⑥他の職種に興味を持ったため
- ⑦出産・子育て等のため
- ⑧その他

→具体的に

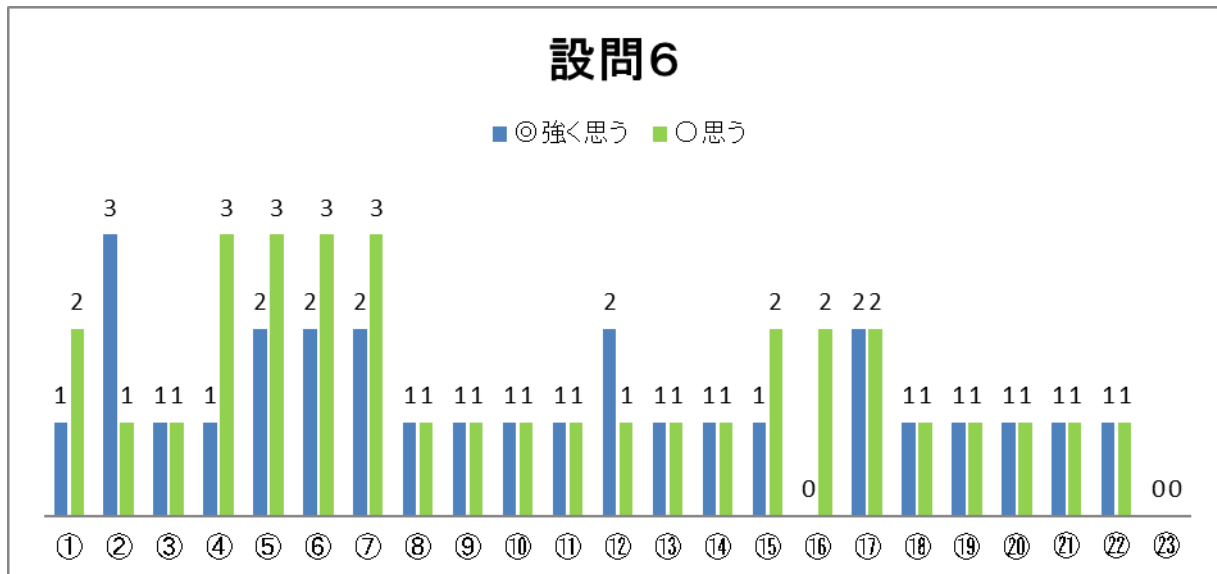
- ・ 社会福祉士取得



Ⅱ) 就業のための教育や能力養成について、お聞かせください

設問6：本学で充実すべき教育内容（専門教育）であると思われる項目について、

◎＝強く思う、○＝思う の記号をつけてください。



- 1 人間の尊厳と自立（「人間」の多面的理解や人権尊重など）
- 2 人間関係とコミュニケーション（対人関係や受容・共感・傾聴など）
- 3 社会の理解（介護保険制度や障害者総合支援法など）
- 4 介護の基本（介護福祉士の役割や介護を必要とする人の理解など）
- 5 コミュニケーション技術①（介護現場における利用者・家族とのコミュニケーション）
- 6 コミュニケーション技術②（介護におけるチームのコミュニケーションや多職種連携）
- 7 コミュニケーション技術③（上司・同僚とのコミュニケーションや業務のコーディネート技術）
- 8 生活支援技術①（自立に向けた居住環境の整備など）
- 9 生活支援技術②（自立に向けた形態別介護技術）
- 10 生活支援技術③（自立に向けた家事など）
- 11 生活支援技術④（終末期の介護やグリーフケアなど）
- 12 介護過程①（介護過程の意義や展開など）
- 13 介護過程②（介護過程とチームアプローチなど）
- 14 介護総合演習（事例検討・演習の充実など）
- 15 介護実習（介護福祉施設実習や居宅介護実習など）
- 16 発達と老化の理解（老化に伴うこころとからだの変化や生活上の留意点）
- 17 認知症の理解（認知症に伴うこころとからだの変化や家族への支援など）
- 18 障害の理解（医学的側面の基礎的知識やチームアプローチなど）
- 19 こころとからだのしくみ①（人体の構造・機能や介護サービス提供時の留意点など）
- 20 こころとからだのしくみ②（心理的側面への配慮についてなど）
- 21 口腔ケアの基礎知識
- 22 医療的ケアの基礎知識（たんの吸引や胃瘻の管理など）
- 23 その他（ ） → 回答なし

設問7：短期大学の専門教育の中で強化・充実してほしいと思う能力 について、
その理由や取組（教育プログラム）のアイデアなどがあれば、記入してください。

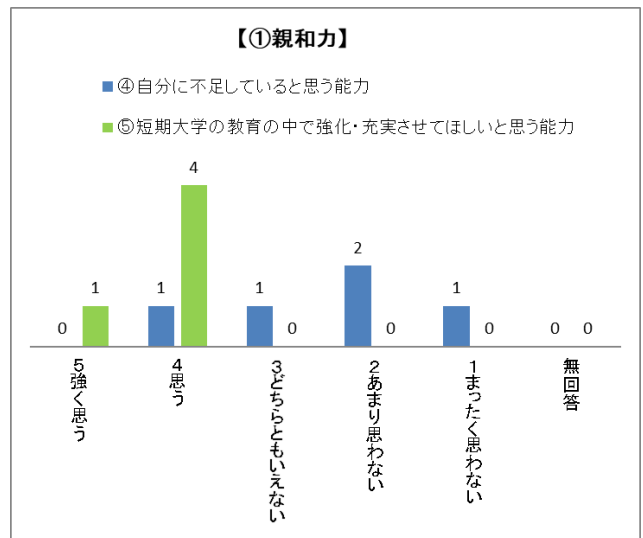
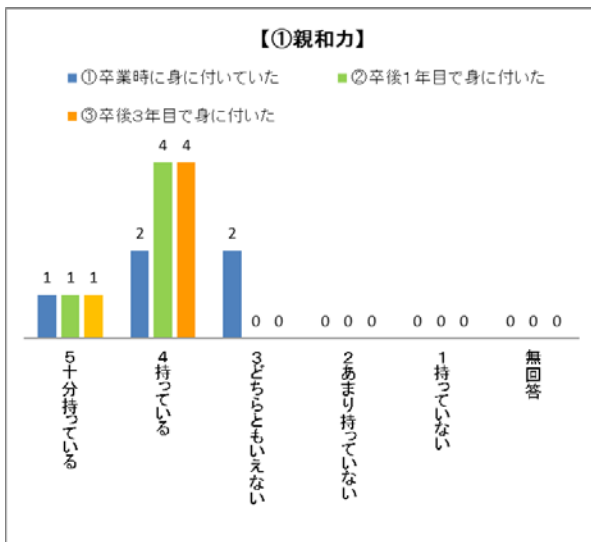
- ・利用者本位の考え方。
- ・介護を行う上での根拠を考える力(それを out put できる力)。
- ・看取りでの介護技術や腰痛にならないような技術。

設問8：社会人としての能力について、お聞かせください。

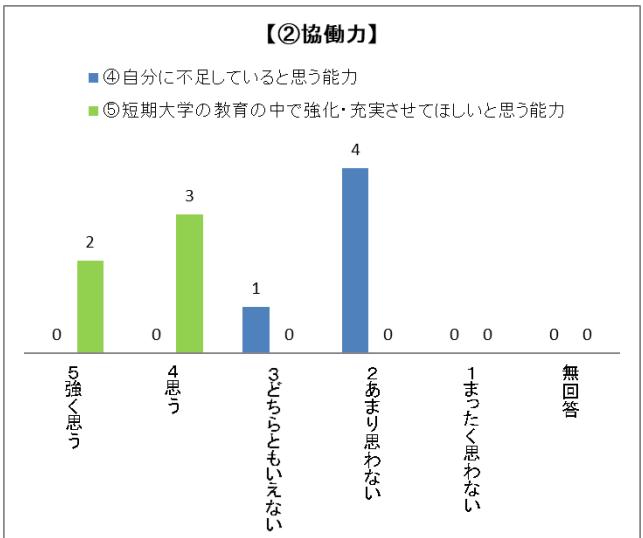
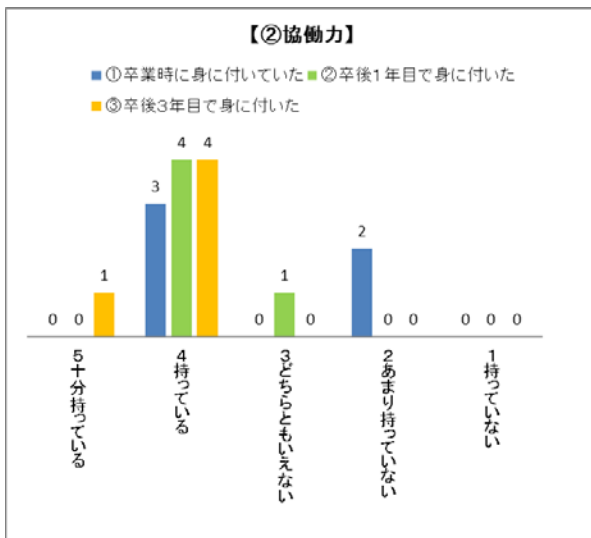
- ①卒業時に身に付けていた程度
- ②卒業後1年目に身に付いていた程度
- ③卒業後3年目に身に付いている程度
- ④自分に不足していると思う能力
- ⑤短期大学の教育の中で強化・充実させてほしいと思う能力

について、5段階の選択肢の中から、それぞれ○をつけてください。

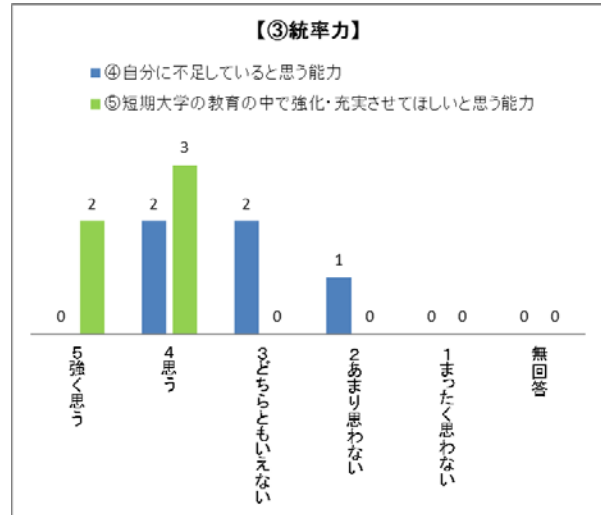
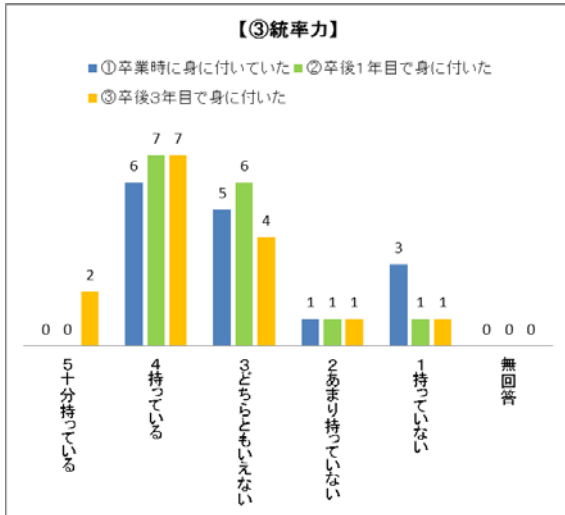
(1) 円満な人間関係を築く力〔親和力：対人基礎力1〕



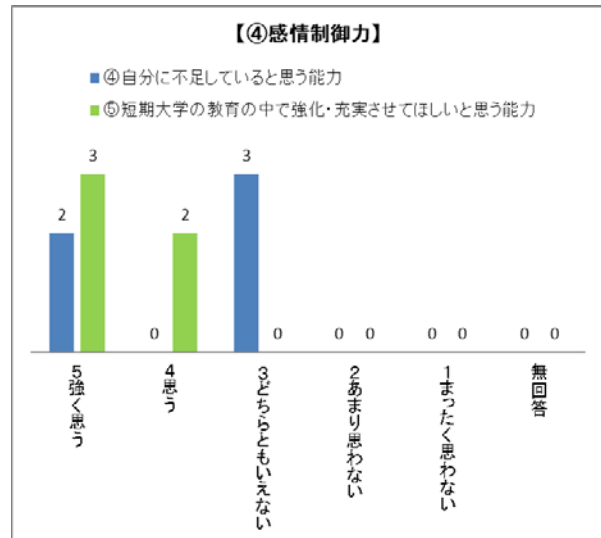
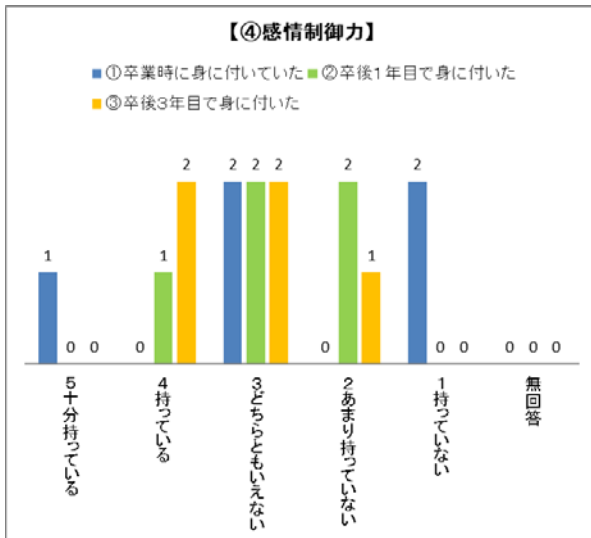
(2) 人と協力しながら物事に取り組む力〔協働力：対人基礎力2〕



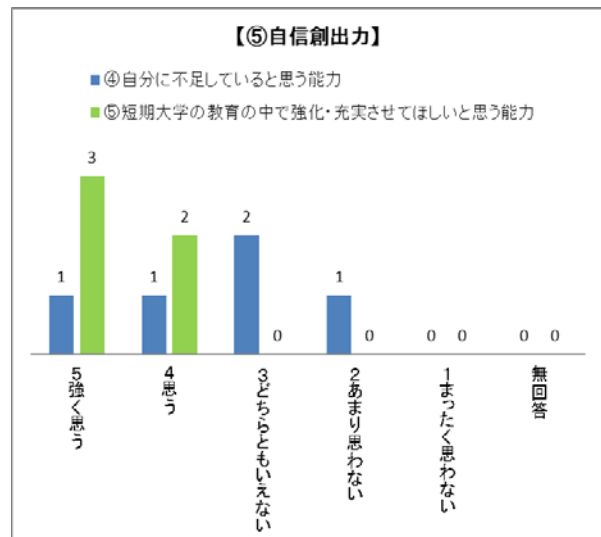
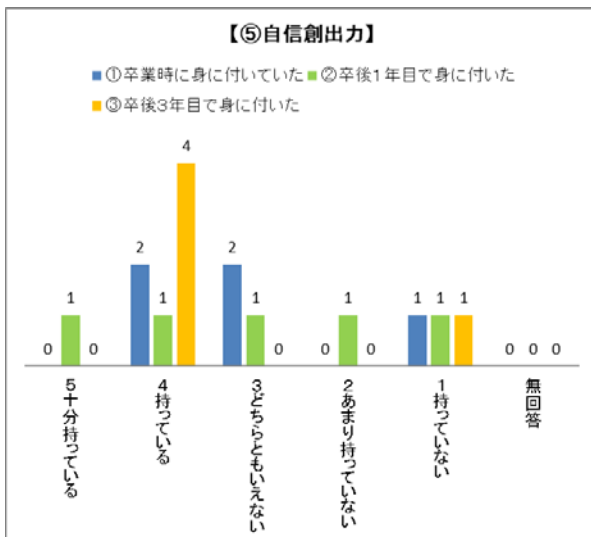
(3) 目標に向かって人や集団をひっぱる力〔統率力：対人基礎力3〕



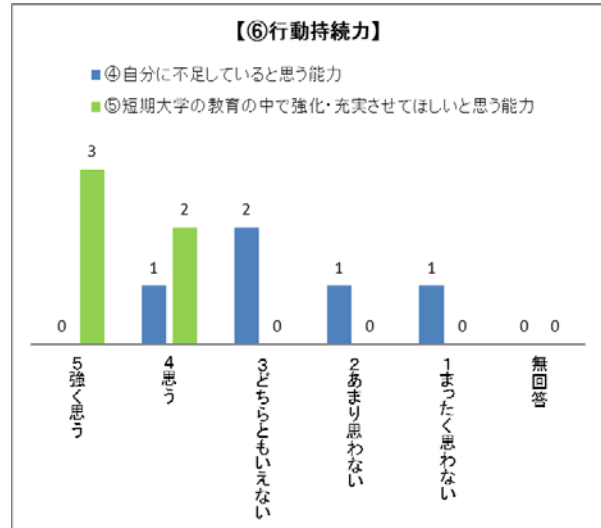
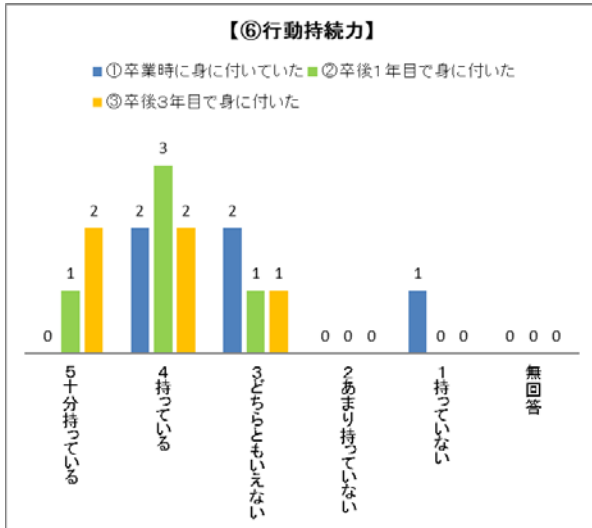
(4) 自分の感情をコントロールする力〔感情制御力：対自己基礎力1〕



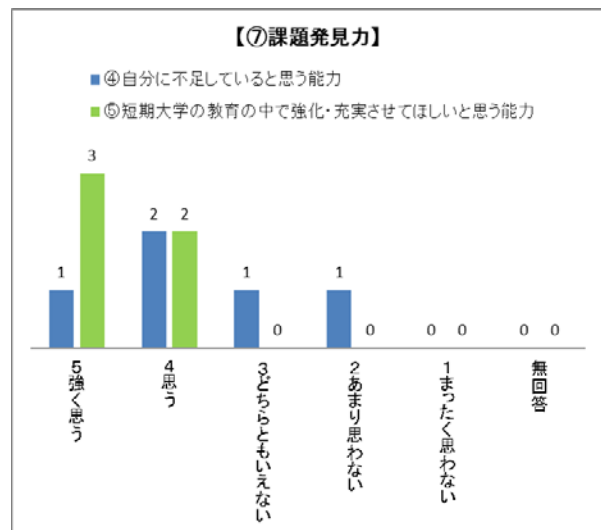
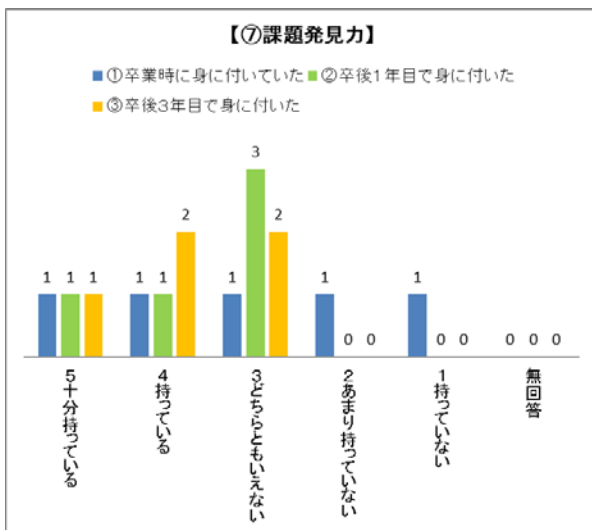
(5) やる気を維持する力〔自信創出力：対自己基礎力2〕



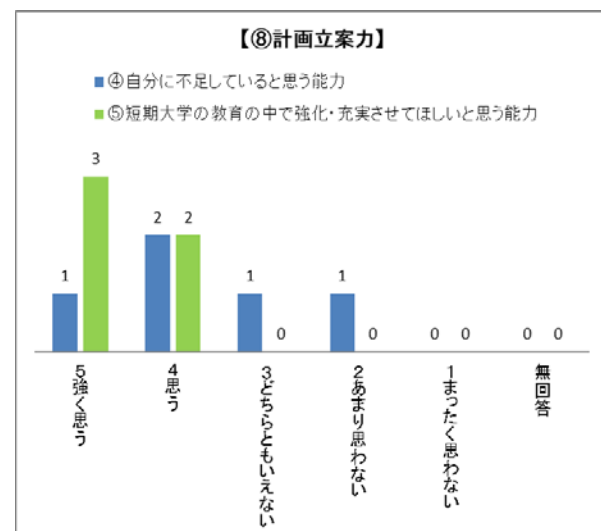
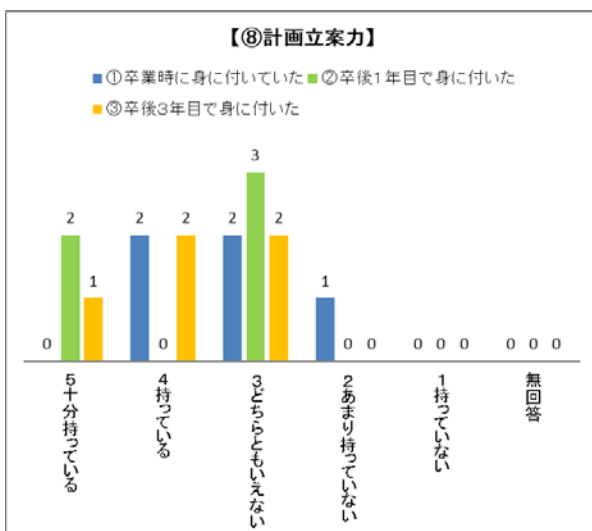
(6) 良い行動を習慣として続けられる力〔行動持続力：對自己基礎力3〕



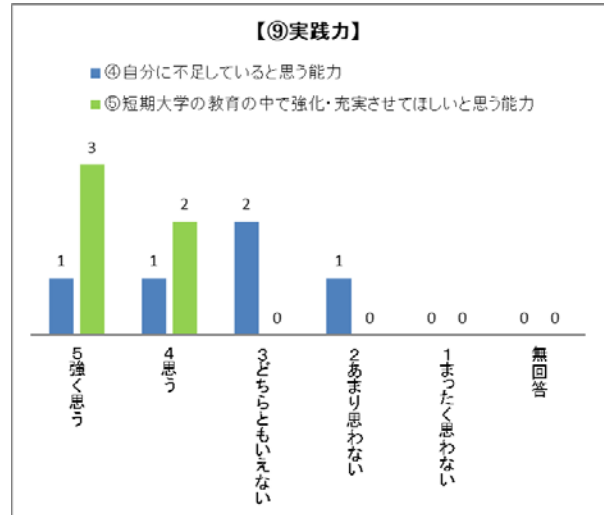
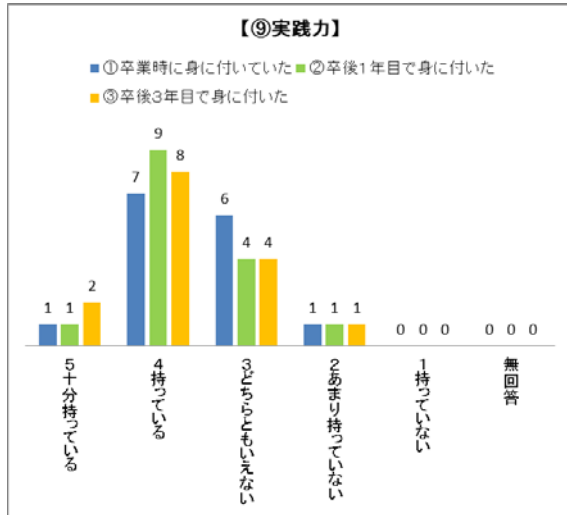
(7) 情報を収集・分析して、課題を発見する力〔課題発見力：対課題基礎力1〕



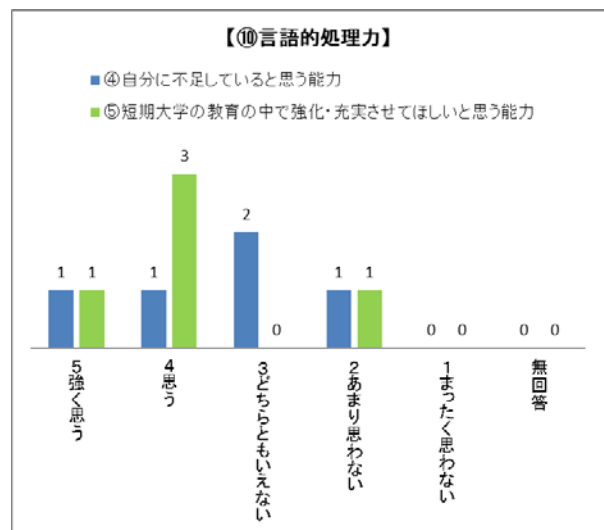
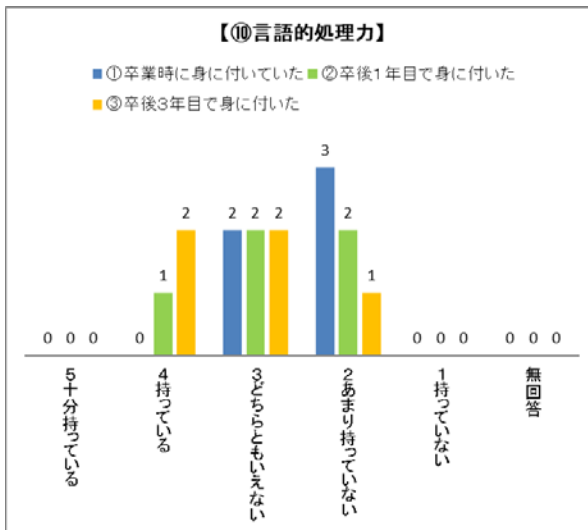
(8) 課題解決のための計画を立案する力〔計画立案力：対課題基礎力2〕



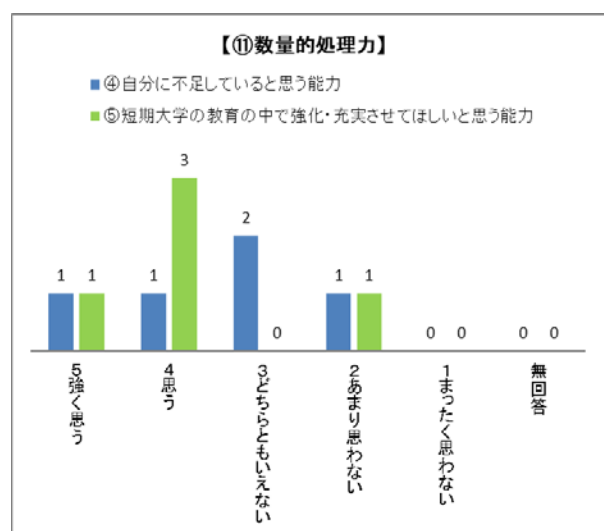
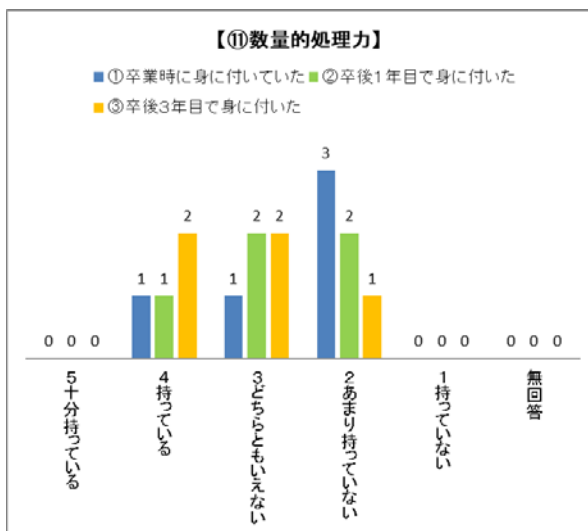
(9) 行動を起こし、最後までやりきる力〔実践力：対課題基礎力3〕



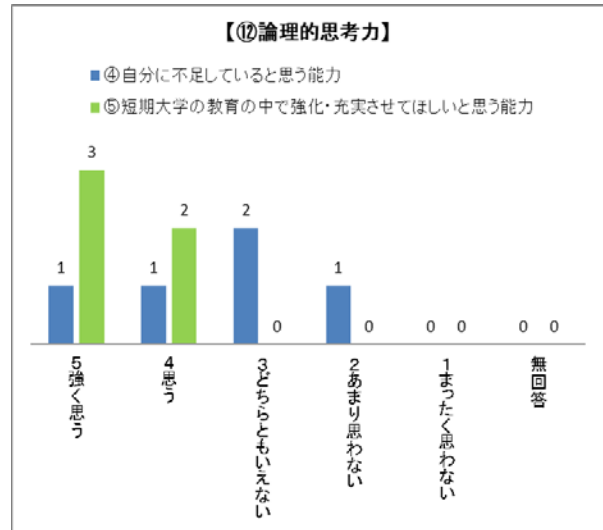
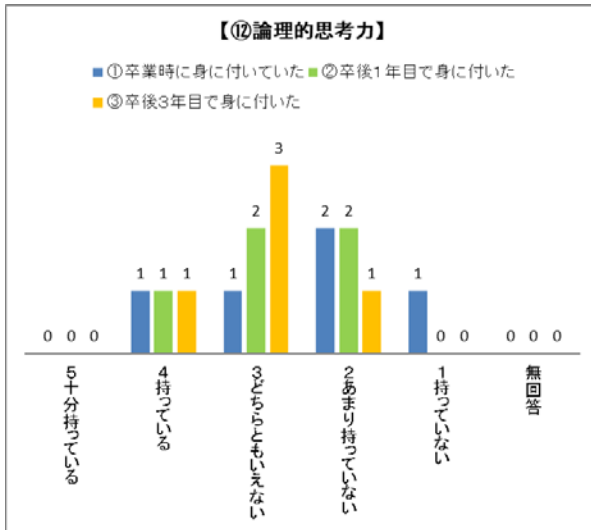
(10) 文章の構成や要旨を的確に理解する力〔言語的処理力：処理力1〕



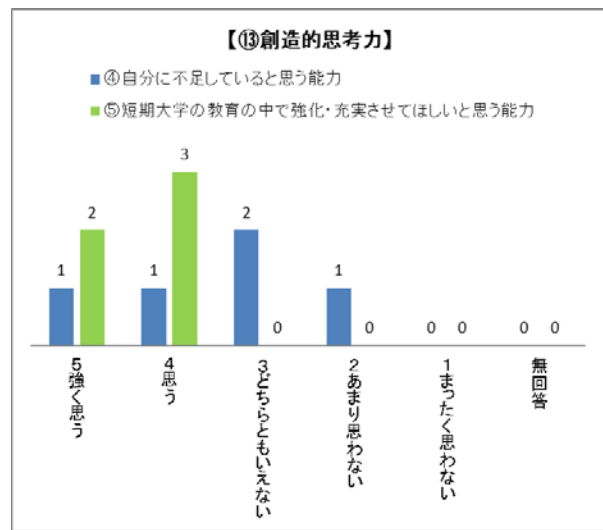
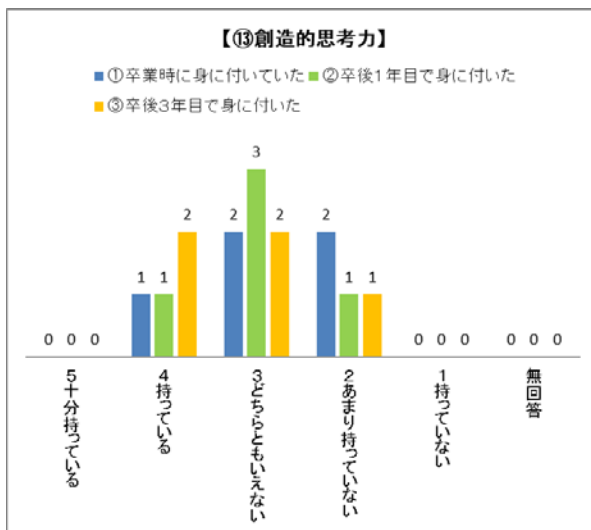
(11) データや数字をすばやく読み取る力〔数量的処理力：処理力2〕



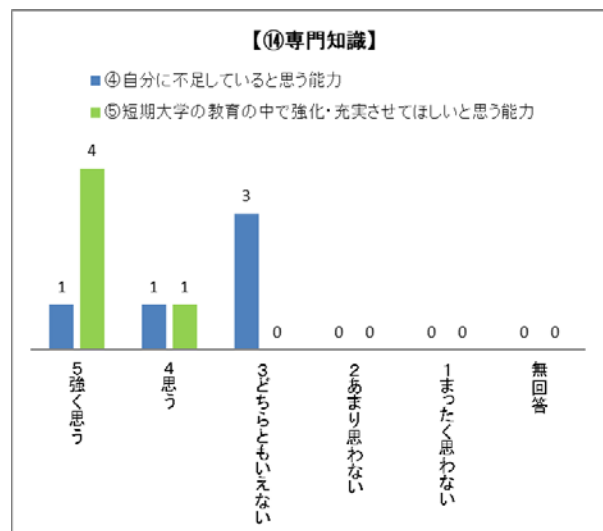
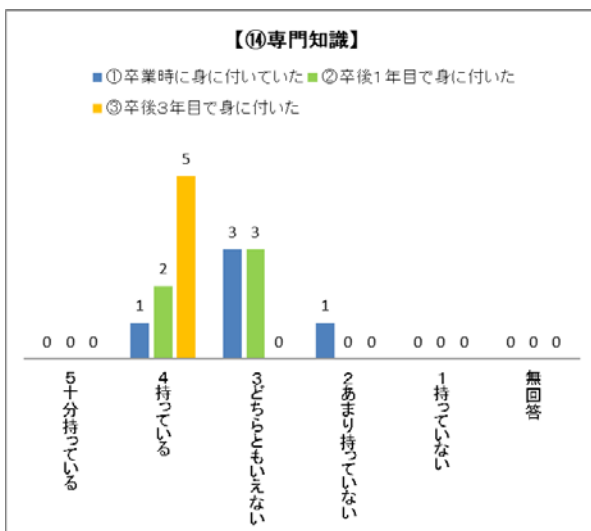
(12) 論理的に物事を分析・構築する力〔論理的思考力：思考力1〕



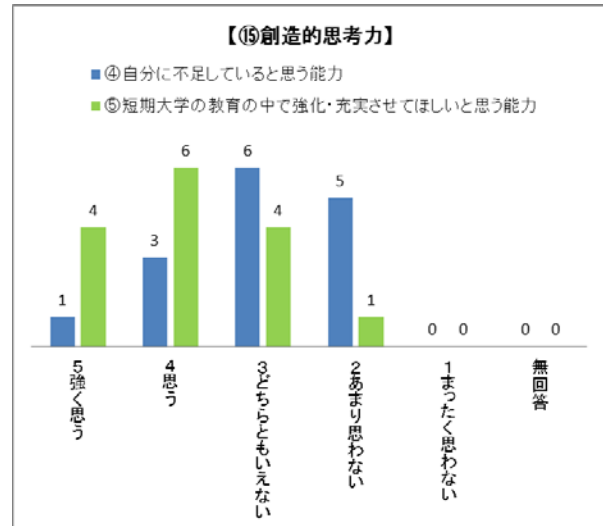
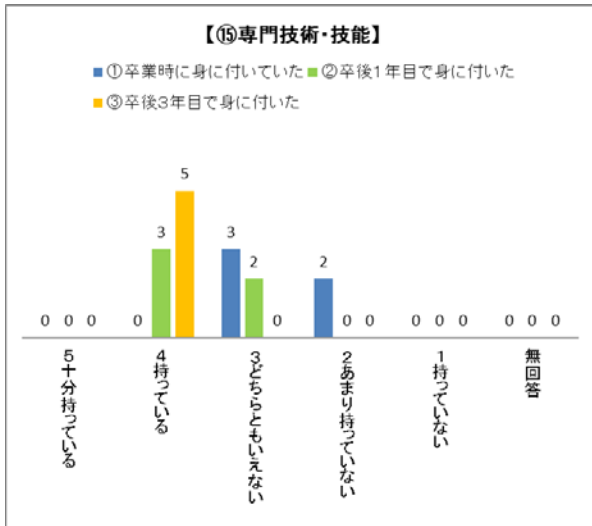
(13) 独自のものの見方や考え方をする力〔創造的思考力：思考力2〕



(14) 現在の仕事に関する専門的な知識〔専門知識：専門力1〕



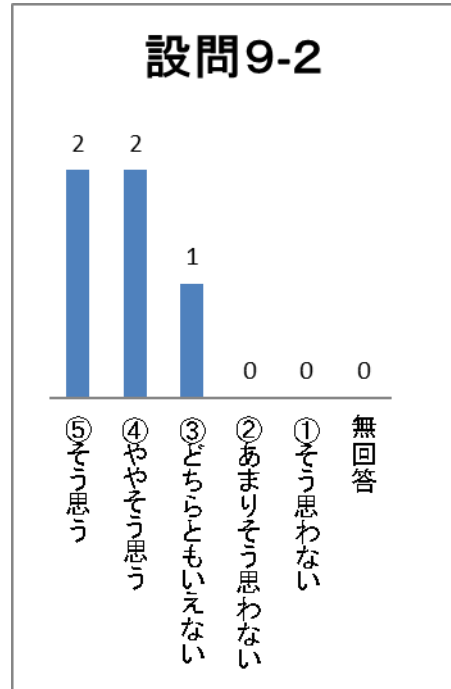
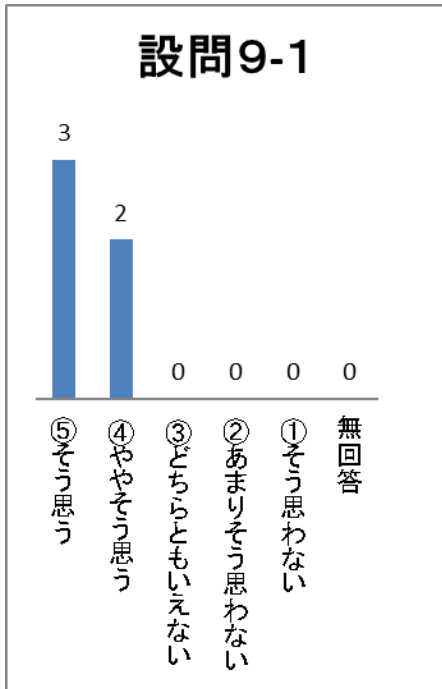
(15) 現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ〔専門技術・技能：専門力2〕



設問9：本学での教育全般について該当する口に ○を入れて下さい

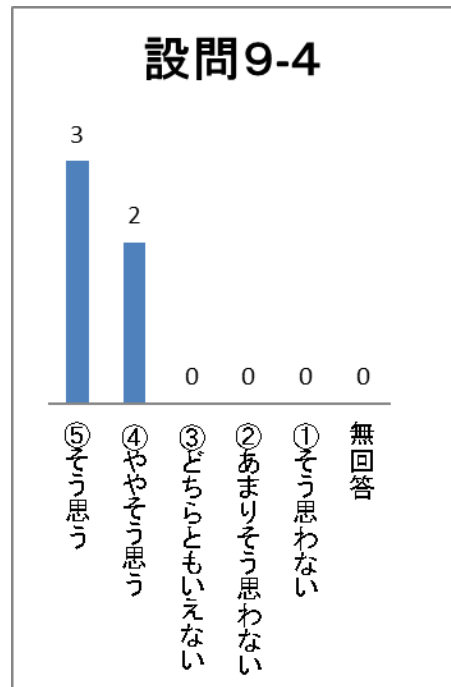
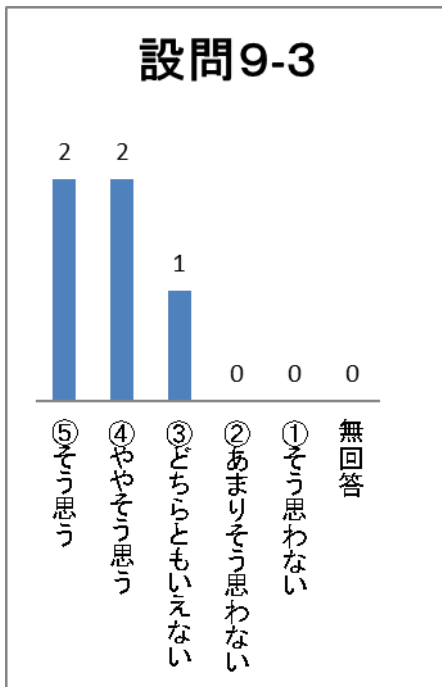
(1) 専門領域における知識面での教育は適切であった。

(2) 専門領域における技術面での教育は適切であった。

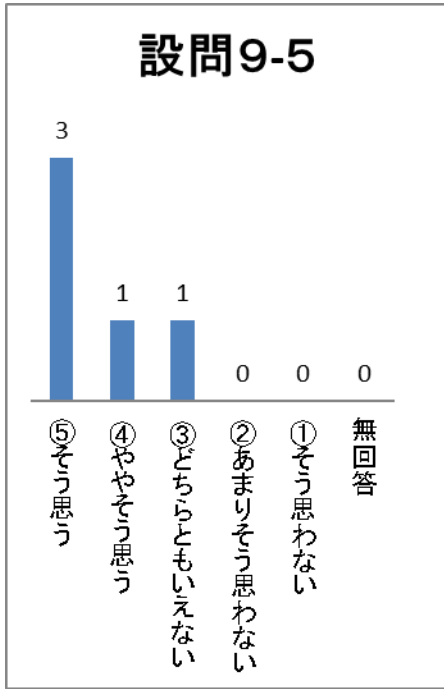


(3) 一般常識や教養が身についた。

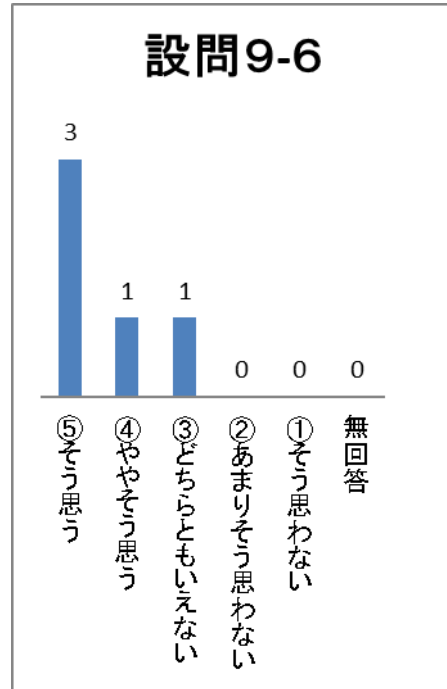
(4) 人間性の面で適切な教育がなされていた。



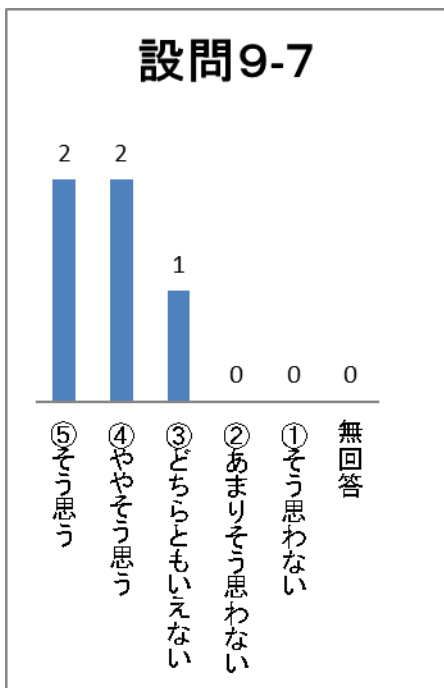
(5) 自己（健康・体調）管理についての教育が適切になされていた。



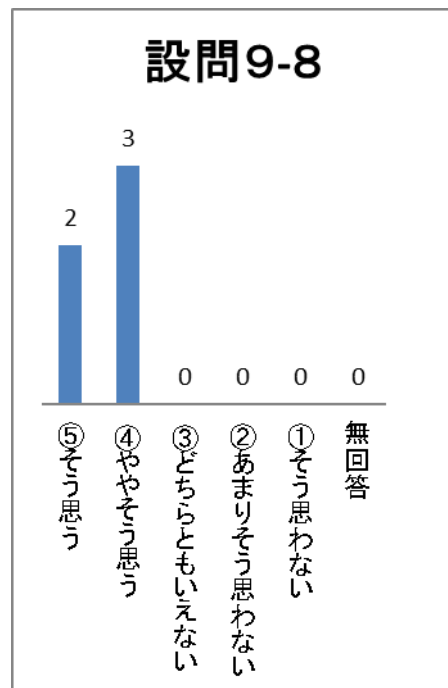
(6) コミュニケーション教育が適切になされていた。



(7) 笑顔・挨拶を含めた接遇が身についた。



(8) 短期大学での教育は、総合的に満足であった。



設問 10 : 本学での教育について、意見や要望、提言があれば、詳しくお聞かせください。(自由記載)

- ・学生の頃は、自分自身が仕事をしていく中で通用するのか、不安になり、介護技術の方に目がいく学生がいると思います。学生であるから技術がなくて当然。それよりも学生ならではの観点、気付きを大事にしていくように教育してほしい。技術なんて就職すればいくらでも付きます。介護をしていく中で、常に考えること、過程、根拠が大事であることを教育してほしい。
- ・実習生の身だしなみがあまり良くないことがあった(カラコン、ピアスをつけていた)。実習記録の書き忘れ、提出期限を守れていないことがあった。

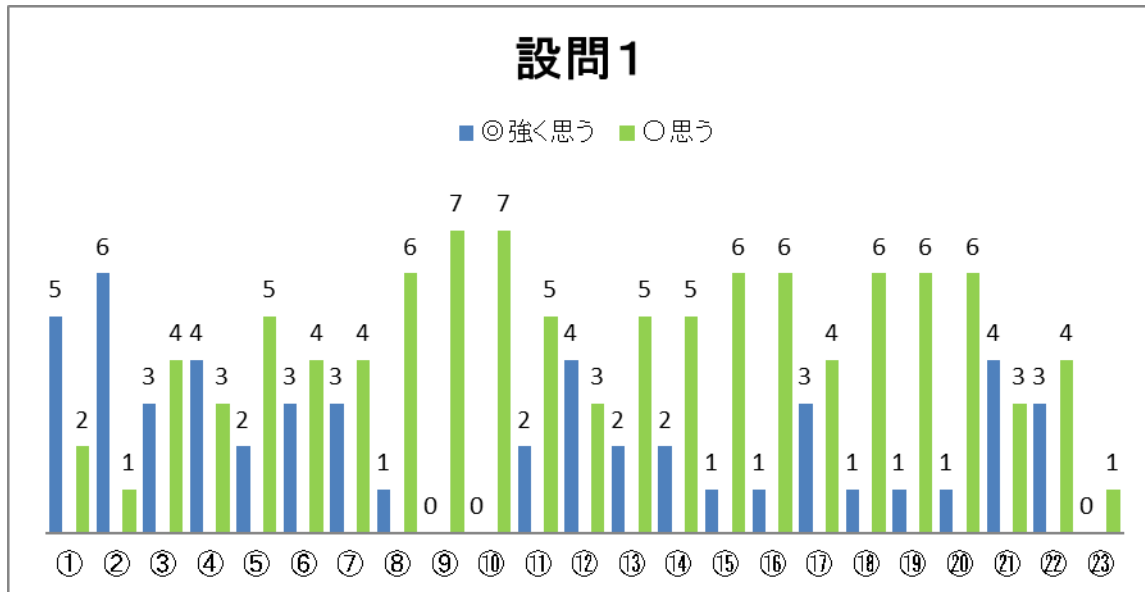
以上

就職先対象：保健福祉学科

福岡医療短期大学 保健福祉学科 卒業生に関するアンケート

保健福祉学科 16期卒業生就職先施設（07/15件）対象 2020/2/12 郵送

設問1：短期大学（本学を含む）で充実すべき教育内容（専門教育）であると思われる項目について、◎＝強く思う、○＝思う の記号をつけてください。



- ①人間の尊厳と自立（「人間」の多面的理解や人権尊重など）
- ②人間関係とコミュニケーション（対人関係や受容・共感・傾聴など）
- ③社会の理解（介護保険制度や障害者総合支援法など）
- ④介護の基本（介護福祉士の役割や介護を必要とする人の理解など）
- ⑤コミュニケーション技術①（介護現場における利用者・家族とのコミュニケーション）
- ⑥コミュニケーション技術②（介護におけるチームのコミュニケーションや多職種連携）
- ⑦コミュニケーション技術③（上司・同僚とのコミュニケーションや業務のコーディネート技術）
- ⑧生活支援技術①（自立に向けた居住環境の整備など）
- ⑨生活支援技術②（自立に向けた形態別介護技術）
- ⑩生活支援技術③（自立に向けた家事など）
- ⑪生活支援技術④（終末期の介護やグリーフケアなど）
- ⑫介護過程①（介護過程の意義や展開など）
- ⑬介護過程②（介護過程とチームアプローチなど）
- ⑭介護総合演習（事例検討・演習の充実など）
- ⑮介護実習（介護福祉施設実習や居宅介護実習など）
- ⑯発達と老化の理解（老化に伴うこころとからだの変化や生活上の留意点）
- ⑰認知症の理解（認知症に伴うこころとからだの変化や家族への支援など）
- ⑱障害の理解（医学的側面の基礎的知識やチームアプローチなど）
- ⑲こころとからだのしくみ①（人体の構造・機能や介護サービス提供時の留意点など）
- ⑲こころとからだのしくみ②（心理的側面への配慮についてなど）
- ㉑口腔ケアの基礎知識
- ㉒医療的ケアの基礎知識（たんの吸引や胃瘻の管理など）
- ㉓その他

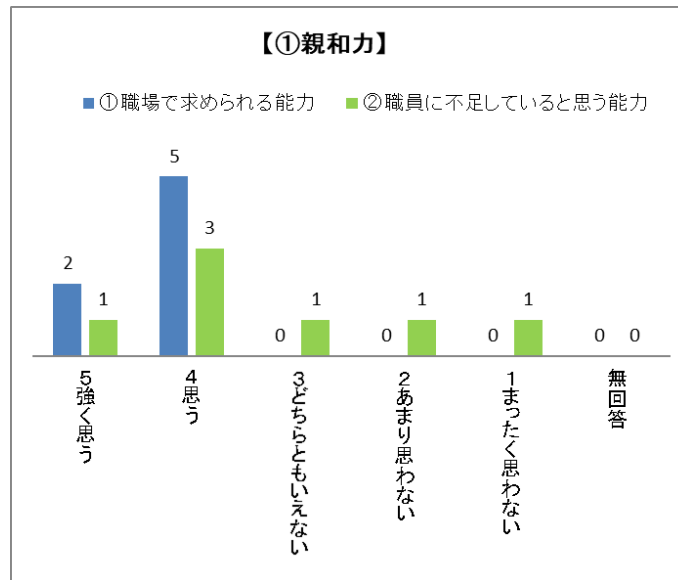
→具体的に

- ・ 障害の種類や保障制度

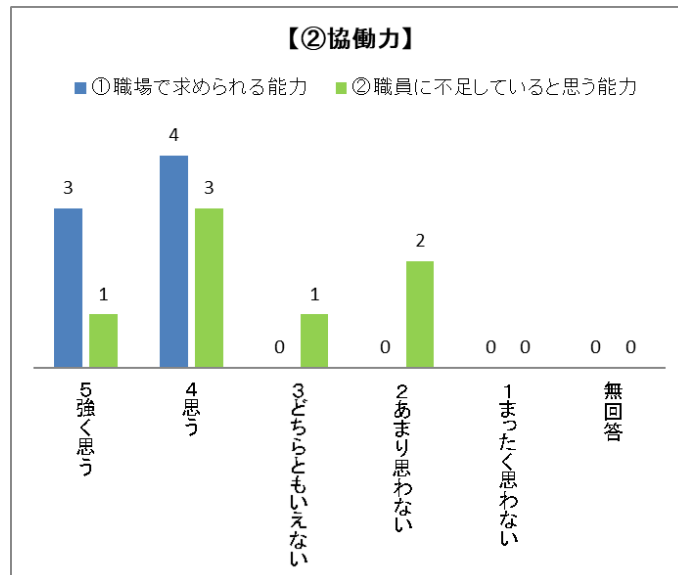
設問 2 : 社会人としての能力について、お聞かせください。

- ① 貴施設での職務において求められる重要な能力 と
 - ② 短期大学（本学を含む）を卒業した職員に不足していると思う能力 について
- 5段階の選択肢の中から、それぞれ○をつけてください。

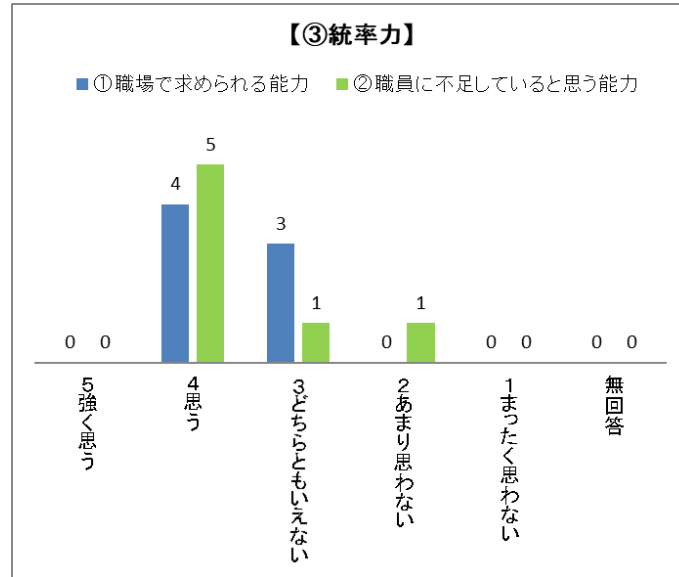
(1) 円満な人間関係を築く力〔親和力：対人基礎力1〕



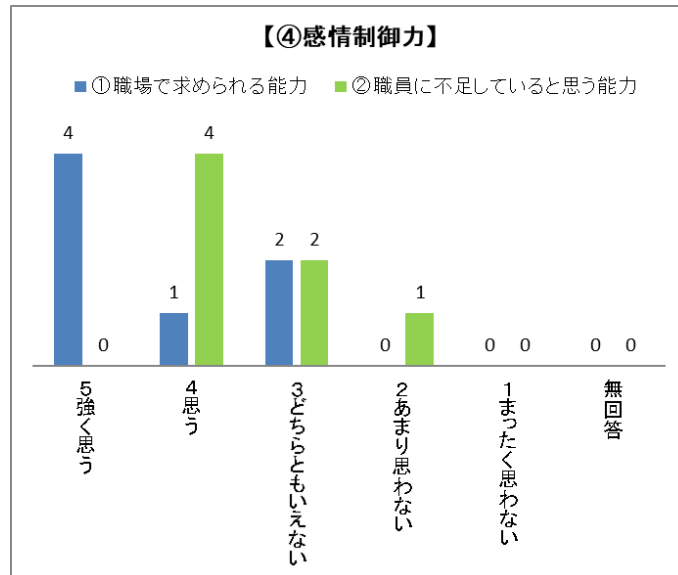
(2) 人と協力しながら物事に取り組む力〔協働力：対人基礎力2〕



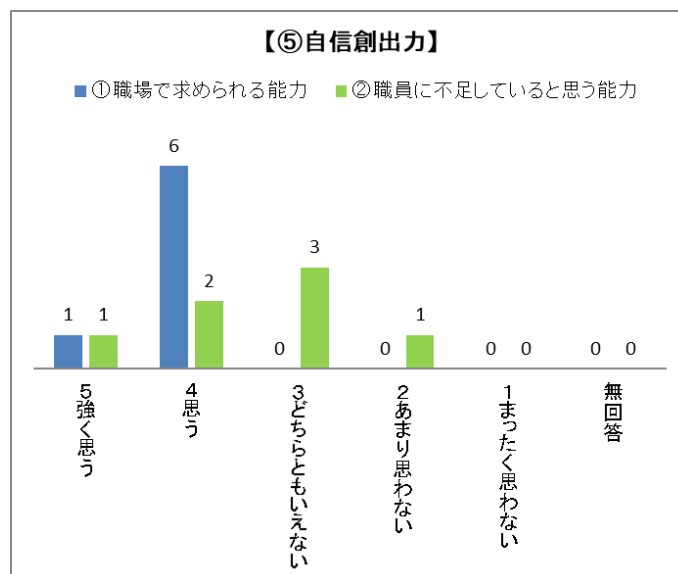
(3) 目標に向かって人や集団をひっぱる力〔統率力：対人基礎力3〕



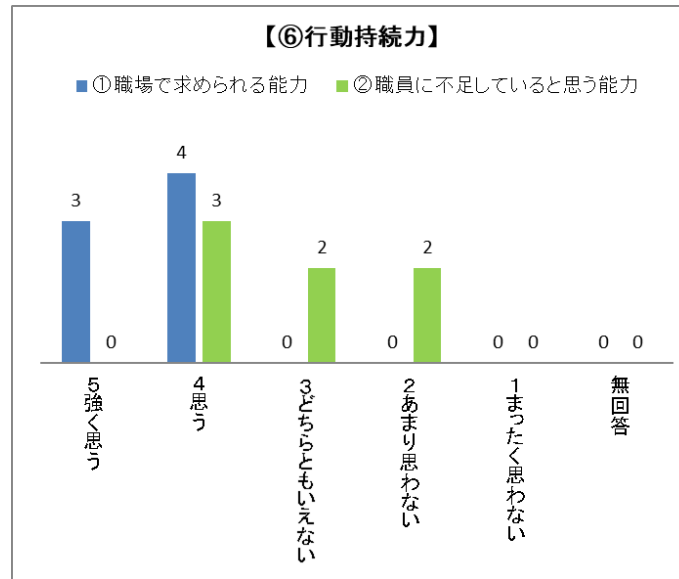
(4) 自分の感情をコントロールする力〔感情制御力：対自己基礎力1〕



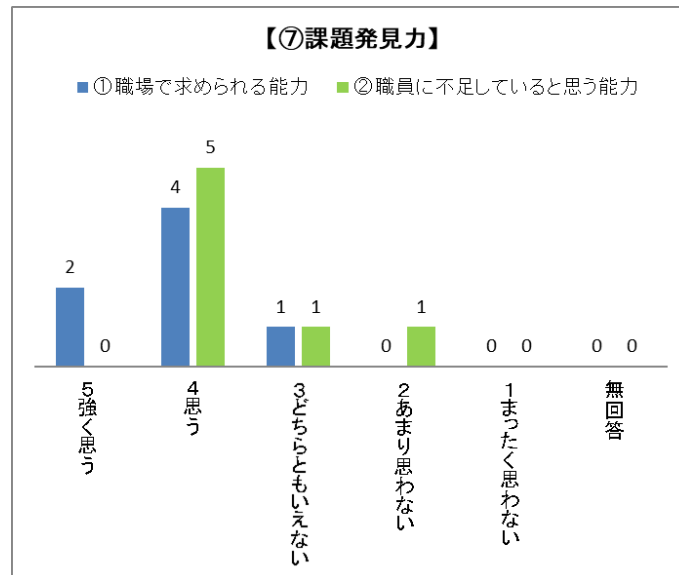
(5) やる気を維持する力〔自信創出力：対自己基礎力2〕



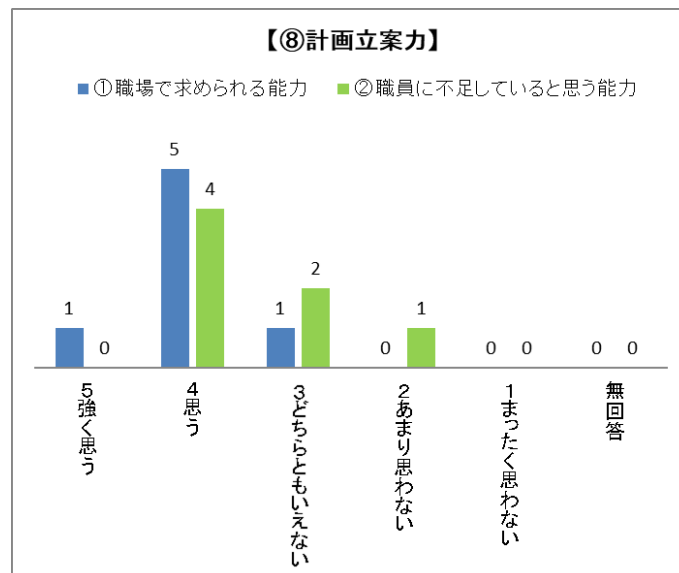
(6) 良い行動を習慣として続けられる力〔行動持続力：對自己基礎力3〕



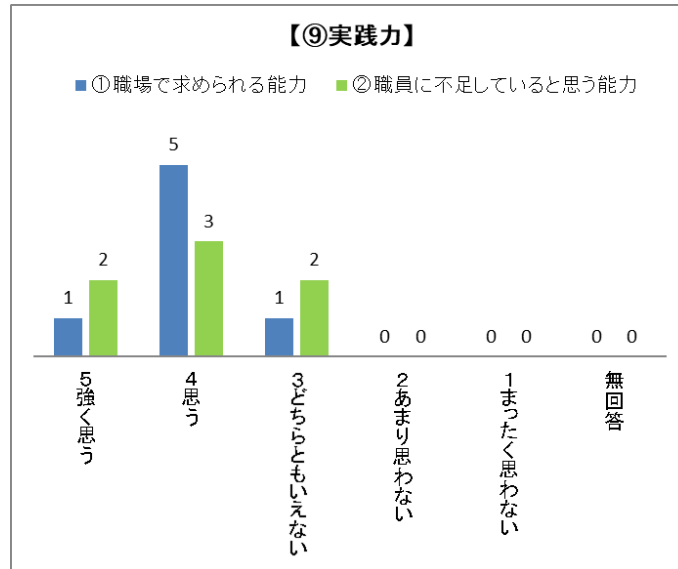
(7) 情報を収集・分析して、課題を発見する力〔課題発見力：対課題基礎力1〕



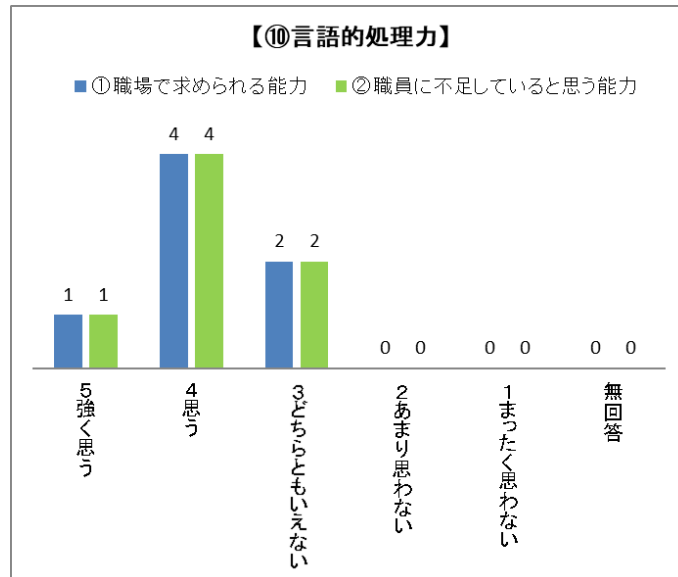
(8) 課題解決のための計画を立案する力〔計画立案力：対課題基礎力2〕



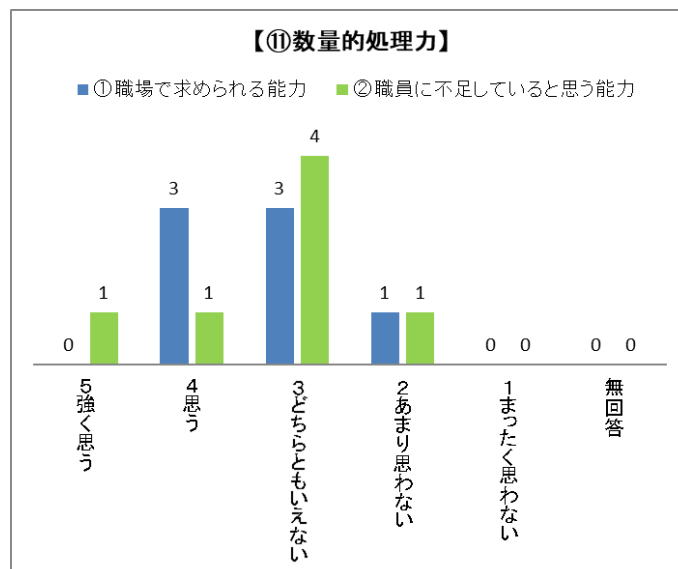
(9) 行動を起こし、最後までやりきる力〔実践力：対課題基礎力3〕



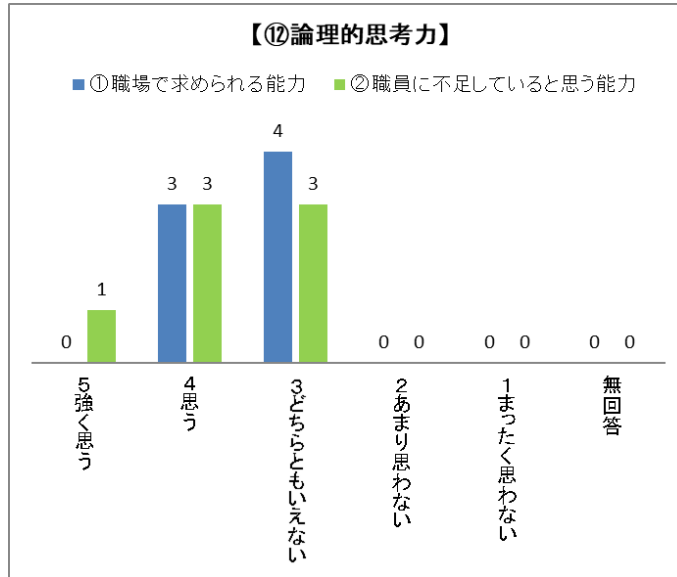
(10) 文章の構成や要旨を的確に理解する力〔言語的処理力：処理力1〕



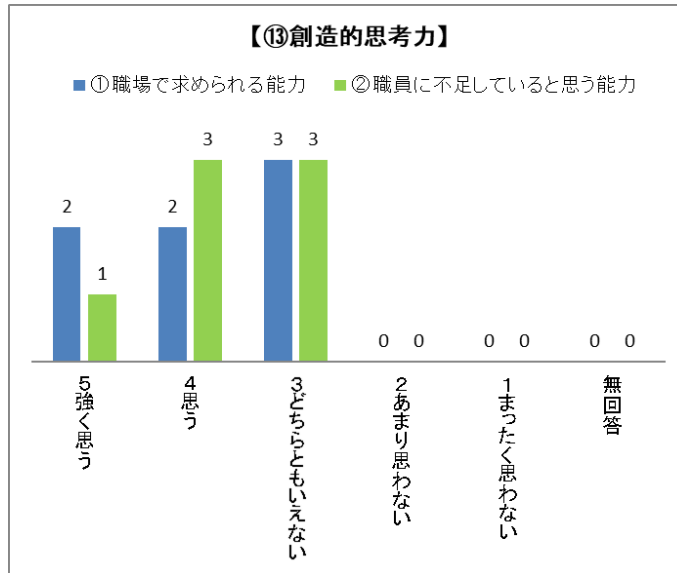
(11) データや数字をすばやく読み取る力〔数量的処理力：処理力2〕



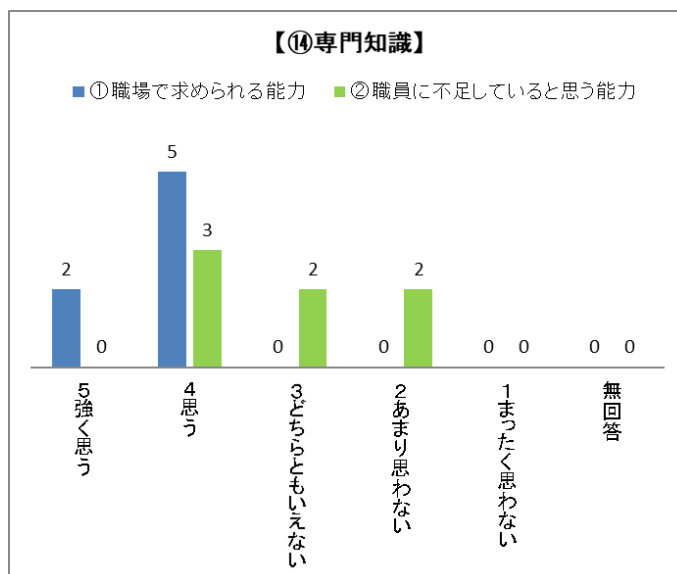
(12) 論理的に物事を分析・構築する力〔論理的思考力：思考力1〕



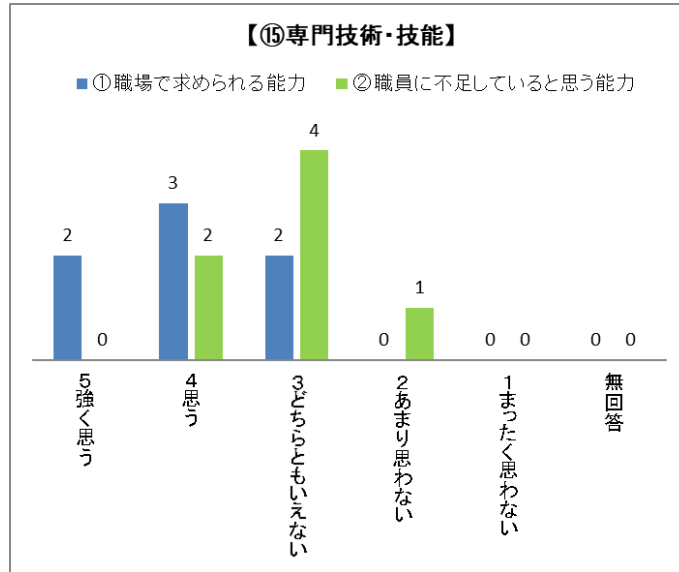
(13) 独自のものの見方や考え方をする力〔創造的思考力：思考力2〕



(14) 現在の仕事に関する専門的な知識〔専門知識：専門力1〕



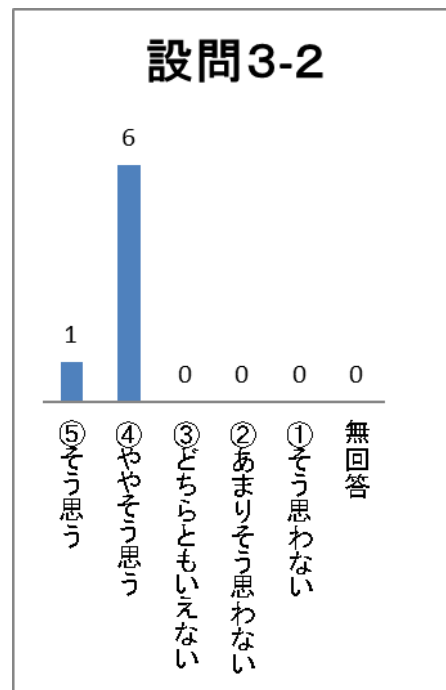
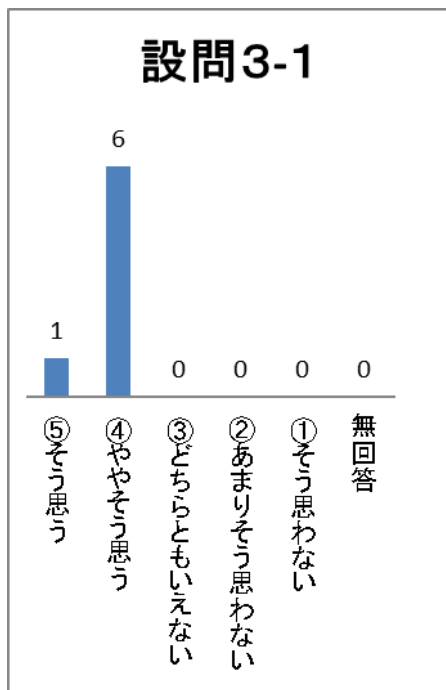
(15) 現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ〔専門技術・技能：専門力2〕



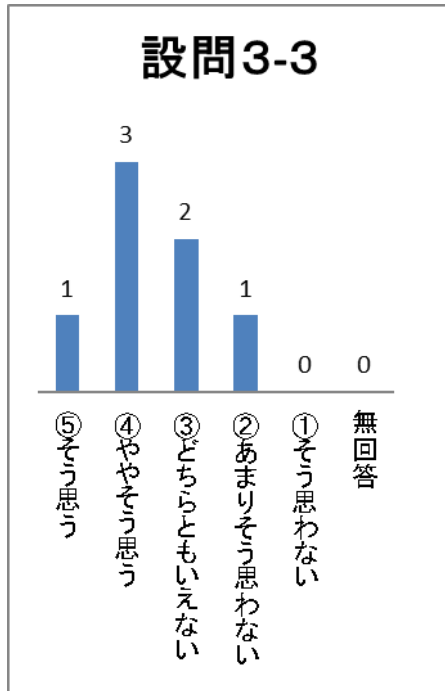
設問3： 本学での教育全般について該当する口に ○を入れて下さい

(1) 専門領域における知識面での教育は適切である。

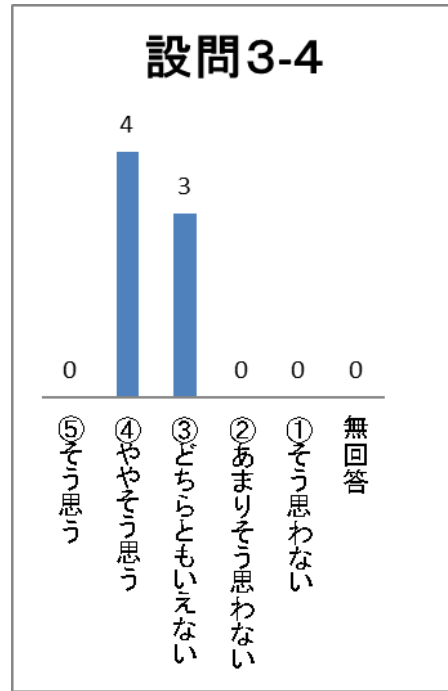
(2) 専門領域における技術面での教育は適切である。



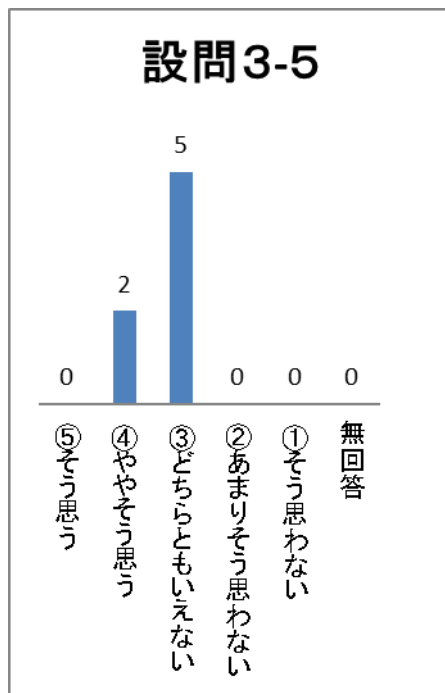
(3) 一般常識や教養が身についている。



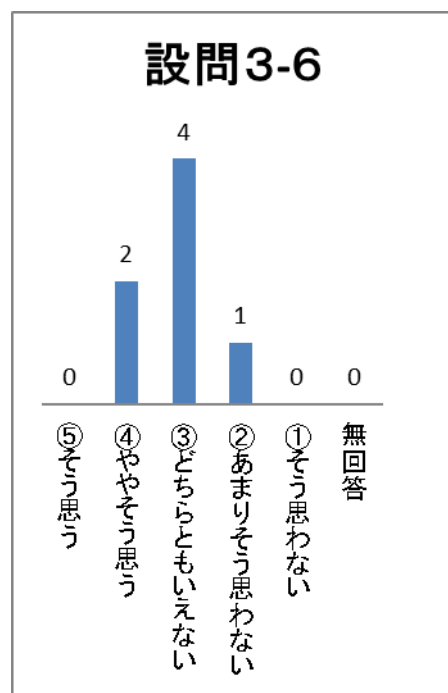
(4) 人間性の面で適切な教育がなされている。



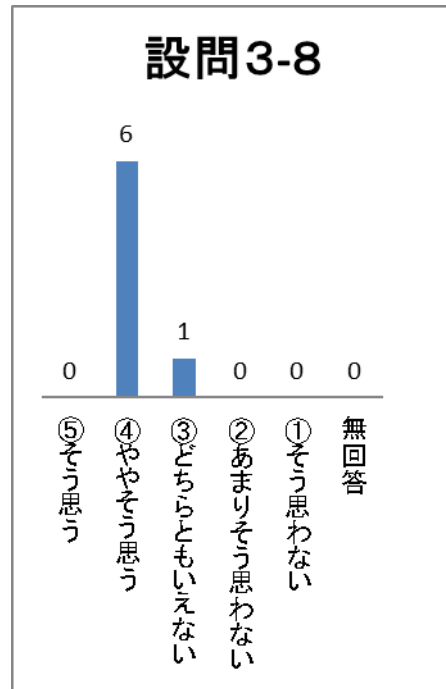
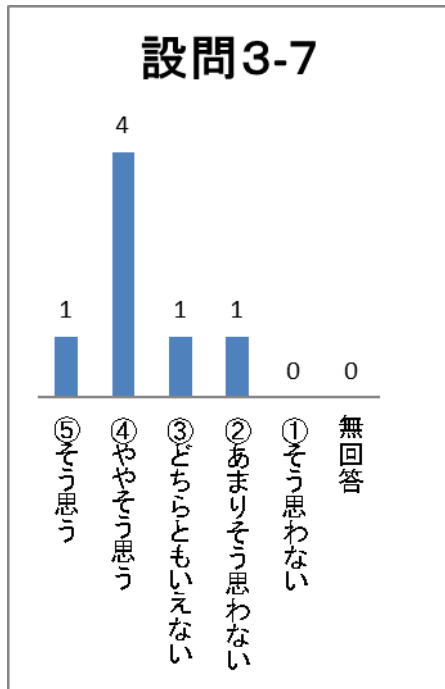
(5) 自己(健康・体調)管理についての教育が適切になされている。



(6) コミュニケーション教育が適切になされている。

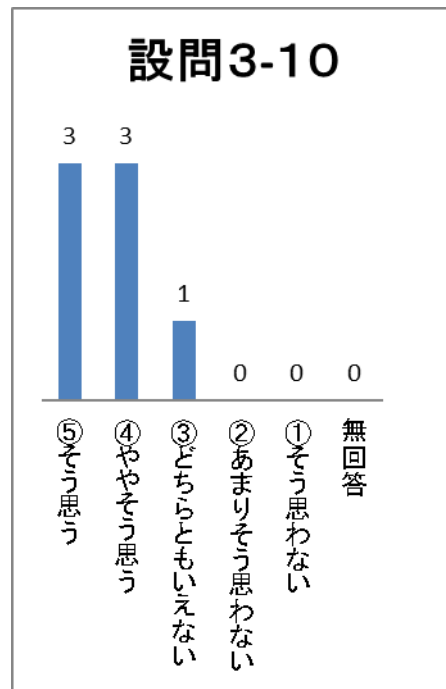
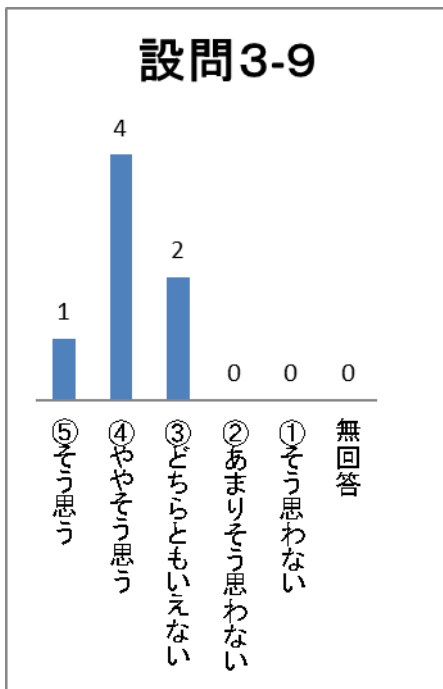


(7) 笑顔・挨拶を含めた接遇が身についている。 (8) 短大で身につけた能力を発揮している。



(9) 短期大学での教育は、総合的に満足である。

(10) 今後も本学(短期大学)の卒業生を採用したいと思う。



設問4：本学卒業生を採用する理由 や 採用選考のポイント について、お聞かせください。

- ・やる気、明朗さ、自己覚知ができているか。
- ・自分のセールスポイントがあるか。
- ・福祉に関わる気持ちを持って希望されたという点が第一。専門的なことを学んでいることも大きな理由だが、面接して印象が穏やかで良かったことと、働きたいという気持ちが強く見えたから。
- ・基礎知識があるため、一定の期間で夜勤まで入ることが出来る。また、当施設で実習等を行ってれば、取り組みの様子や性格等がある程度分かり、就職してからの指導に活かせる。
- ・明るい方、人柄や技術も大事であるが、介護の仕事が好き、人と接することが好きという気持ちが感じとれること。
- ・他校にはない専門的な知識や技術が身についている。接遇面や社会人としての一般常識もあるため、入社後早い段階で戦力となるため。
- ・人柄。
- ・面接時のインスピレーションや、会話をしながら判断するが、特に若い方に対しては、社会人としての心構えや常識などある程度身に付けておいてほしい。

設問5：学生に求める大切な資質・能力 についてお聞かせください。

また、その理由や育成のためのアイデアなどがあれば、お聞かせください。

- ・他スタッフとのコミュニケーション能力や気持ちを察する力など。育ってきた環境も大きく影響していると思う。
- ・基礎的な知識はあると思うが、技術面と同じで現場で身に付けていくことがほとんど。そのため、素直に指導を受ける姿勢や、やり続ける力を求められる。また、人権に関わるこの仕事は仕事上の対利用者だけではなく、スタッフとの関係、プライベートでの人間性が全て、介護、支援に繋がっていくので大切にしている。
- ・入所の方に限らず、目上の人に対する尊敬の気持ち等を自然ともてること。
- ・チームワークを意識することができること。
- ・様々な人物や年齢の違う職員とのコミュニケーションが円滑にとれる能力。
- ・一生懸命さや熱心さがある。手を抜いたり、素直さがない学生は困る。介護の知識や技術の能力は後からで充分。

設問 6 : 短期大学在学中に実施してほしい教育内容・教授方法 についてお聞かせください。

また、その理由や取組のアイデアなどがあれば、お聞かせください。

- ・コミュニケーション能力の育成。
- ・介護保健の成り立ちと介護福祉士としての意識付け。
- ・現場見学。実習になると少しの世界しか見えないと思うので、たくさんの福祉の現場をとにかく見てほしい。
- ・現場の声、今必要なことを知ること。現場スタッフ等の声を授業の中で取り入れていくと楽しいと思う。
- ・コミュニケーション技術とプレゼンテーション能力について、どちらも身につけていけば、様々な年代の方とスムーズな関係が築けるのではないかな。
- ・マナー、素直さ、誠実さ。

設問 7 : その他、本学へのご要望、メッセージ等がございましたら、お聞かせください。

- ・貴学がなくなるのは残念でなりません。
- ・学生の教育、指導は年々大変だと聞いている。現場もそのように感じている。しかし、社会貢献に関わる重要な役割と考え、先生方にも頑張ってもらいたい。
- ・学生も随分少なくなっているようなので、私たち施設の職員や施設の在り方もそうだが、学校としても魅力あるものを伝えて欲しい。未来のたまごのためにタッグが組めると良い。

以上

卒業生対象：保健福祉学科

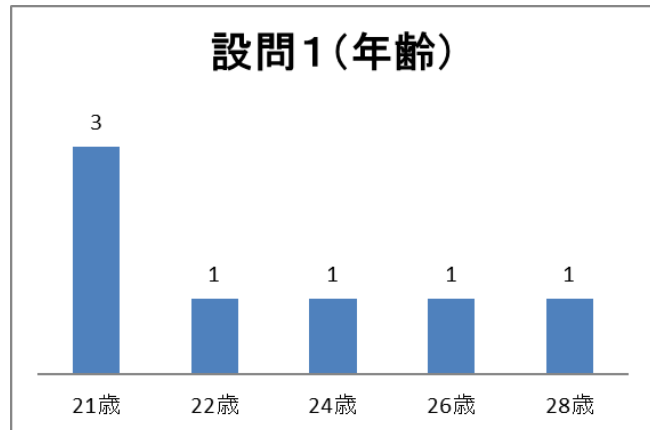
福岡医療短期大学 保健福祉学科同窓会会員（卒業生）へのアンケートのお願い

保健福祉学科 18期生(H30年度卒)：回答 7/17名【男性2名、女性5名】2020/2/12 郵送

I) 就業状況について、お聞かせください

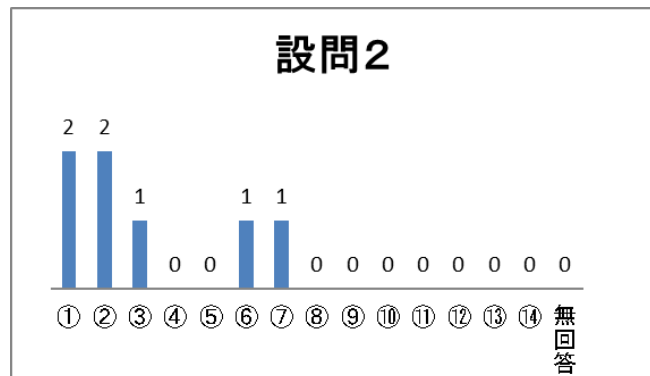
設問1： あなたの性別・年齢についてお答えください。

- 男性：2/7人
- 女性：5/10人
- 年齢：グラフ参照



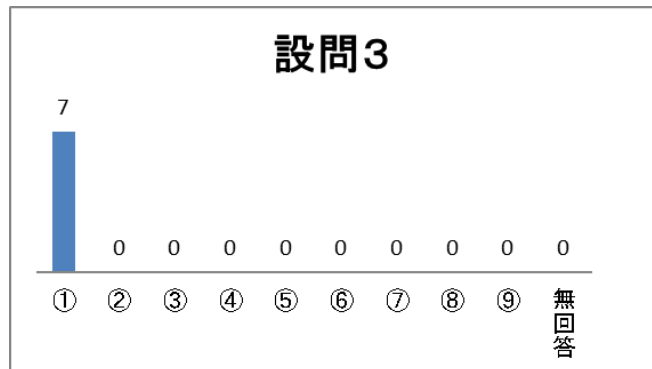
設問2： 現在の就職・進学先 について該当する番号に○をつけてください。

- ①介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
- ②介護老人保健施設
- ③障がい者関係施設
(身体・知的・精神・重症心身)
- ④医療機関
- ⑤グループホーム・小規模多機能型施設
- ⑥有料老人ホーム
- ⑦通所施設(デイケア、デイサービス)
- ⑧訪問介護
- ⑨居宅介護支援事業所
- ⑩その他の社会福祉領域(公務員等としての福祉業務)
→具体的に(回答なし)
- ⑪社会福祉領域以外の職種(福祉領域以外での就職)
→具体的に(回答なし)
- ⑫進学・学生(大学、短期大学、専門学校等)
→具体的に(回答なし)
- ⑬現在は就職・進学していない(休職中、家事手伝い、専業主婦等)
- ⑭その他
→具体的に(回答なし)



設問3： **現在の職場** において活用している資格について、
該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

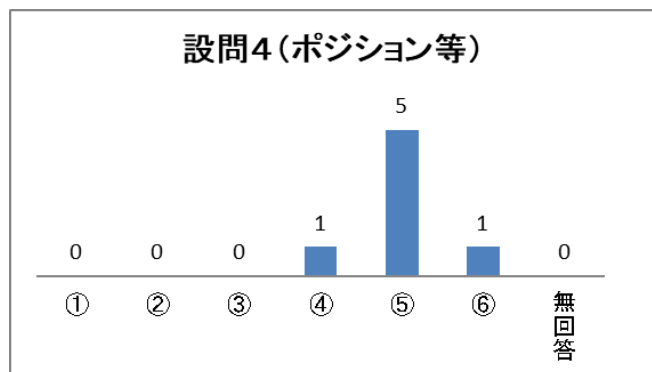
- ①介護福祉士
- ②ケア・マネジャー
- ③社会福祉士
- ④看護師
- ⑤理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
- ⑥社会福祉主事任用資格
- ⑦認知症ケア専門士
- ⑧なし（他業種での就業時 等）
- ⑨その他
→具体的に（回答なし）



設問4： **現在の職場** におけるポジション（役職を含めて）と雇用形態について、
該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

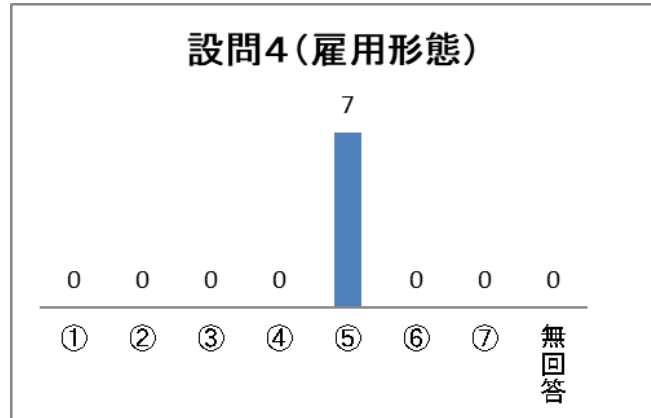
■ポジション（役職等）について

- ①職場の長・責任者
- ②主任、フロア・リーダー等の役職
→具体的に（回答なし）
- ③実習学生、新人の指導者
→具体的に（回答なし）
- ④相談員等の相談業務
→具体的に（回答なし）
- ⑤特に役職・肩書きなし
- ⑥その他のポジション
→具体的に
・シフトによっては、その日の日勤帯業務責任者



■雇用形態について

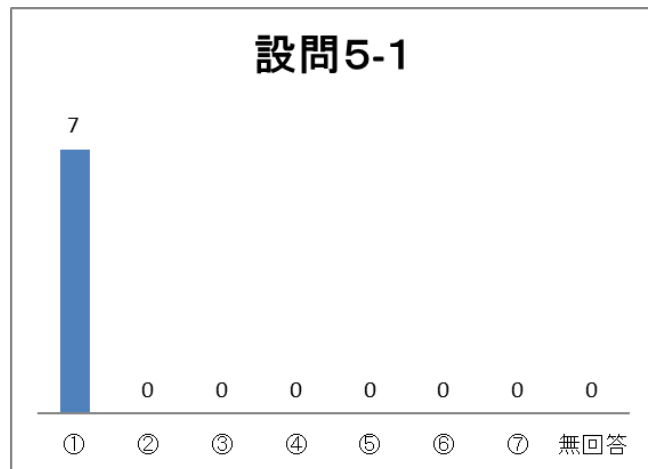
- ① 経営者・自営（共同経営、共同出資）
- ② 正規職員・社員（正規雇用）
- ③ 嘱託職員（期限限定の雇用）
→具体的に（回答なし）
- ④ 非常勤（パートタイマー）
- ⑤ 契約社員・職員、派遣社員に準ずる
契約形態
- ⑥ 進学・学生
（大学、短期大学、専門学校 等）
- ⑦ 就職・進学していない
（休職中、家事手伝い、専業主婦 等）



設問5-1： 卒業後の転職や退職について、該当する番号に○をつけてください。

〔令和2年3月末（予定を含む）でお答えください〕

- ① 卒業してから現在まで
同じ勤務先（施設）で働いている
- ② 最初の職場を退職したが、
1ヶ月以内に介護福祉士として
再就職した
- ③ 最初の職場を退職し、
1ヶ月以上離職したが再就職した
- ④ 最初の職場を退職し、
その後再就職していない
- ⑤ 一時的に仕事に就いた
- ⑥ 卒業してから就職していない
- ⑦ その他
→具体的に（回答なし）



設問5-2 : 「転職 経験あり」の方のみ、お答えください :

→ 転職先の職種を、具体的にお聞かせください。

・

→ その理由は、なにでしたか？該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

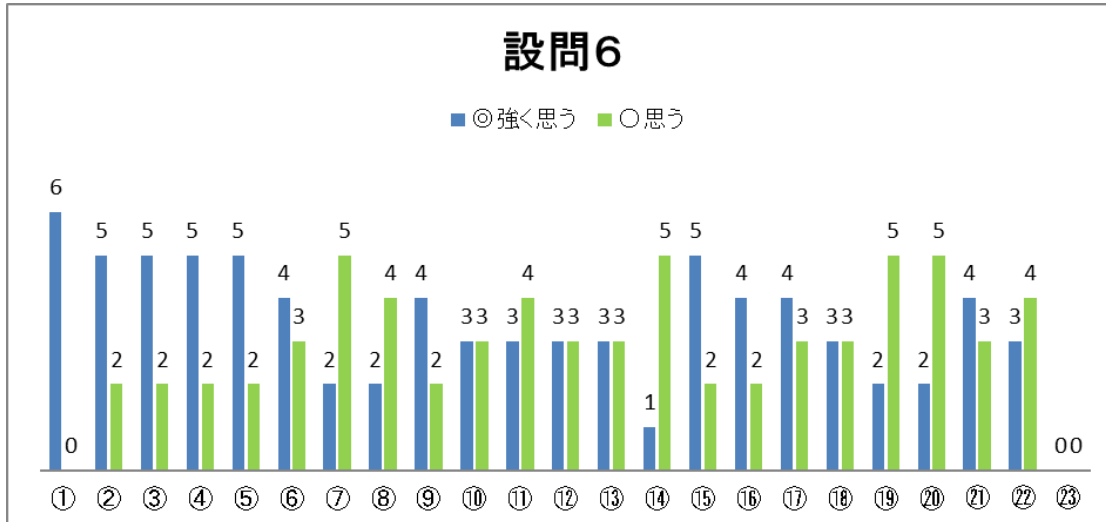
- ①腰痛等の「身体的・体力的」な問題
- ②医療・福祉領域における「精神的」な負担
- ③介護福祉士としてのキャリアアップのため
- ④給与などの経済的な理由
- ⑤「人間関係・待遇」などの職場内の問題
- ⑥他の職種に興味を持ったため
- ⑦出産・子育て等のため
- ⑧その他

→具体的に (回答なし)

設問5-2(転職理由)							
0	0	0	0	0	0	0	0
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧

Ⅱ) 就業のための教育や能力養成について、お聞かせください

設問6：本学で充実すべき教育内容（専門教育）であると思われる項目について、
◎＝強く思う、○＝思う の記号をつけてください。



- 1 人間の尊厳と自立（「人間」の多面的理解や人権尊重など）
- 2 人間関係とコミュニケーション（対人関係や受容・共感・傾聴など）
- 3 社会の理解（介護保険制度や障害者総合支援法など）
- 4 介護の基本（介護福祉士の役割や介護を必要とする人の理解など）
- 5 コミュニケーション技術①（介護現場における利用者・家族とのコミュニケーション）
- 6 コミュニケーション技術②（介護におけるチームのコミュニケーションや多職種連携）
- 7 コミュニケーション技術③（上司・同僚とのコミュニケーションや業務のコーディネート技術）
- 8 生活支援技術①（自立に向けた居住環境の整備など）
- 9 生活支援技術②（自立に向けた形態別介護技術）
- 10 生活支援技術③（自立に向けた家事など）
- 11 生活支援技術④（終末期の介護やグリーフケアなど）
- 12 介護過程①（介護過程の意義や展開など）
- 13 介護過程②（介護過程とチームアプローチなど）
- 14 介護総合演習（事例検討・演習の充実など）
- 15 介護実習（介護福祉施設実習や居宅介護実習など）
- 16 発達と老化の理解（老化に伴うこころとからだの変化や生活上の留意点）
- 17 認知症の理解（認知症に伴うこころとからだの変化や家族への支援など）
- 18 障害の理解（医学的側面の基礎的知識やチームアプローチなど）
- 19 こころとからだのしくみ①（人体の構造・機能や介護サービス提供時の留意点など）
- 20 こころとからだのしくみ②（心理的側面への配慮についてなど）
- 21 口腔ケアの基礎知識
- 22 医療的ケアの基礎知識（たんの吸引や胃瘻の管理など）
- 23 その他（ ） → 回答なし

設問 7 : 短期大学の専門教育の中で強化・充実してほしいと思う能力 について、

その理由や取組（教育プログラム）のアイデアなどがあれば、記入してください。

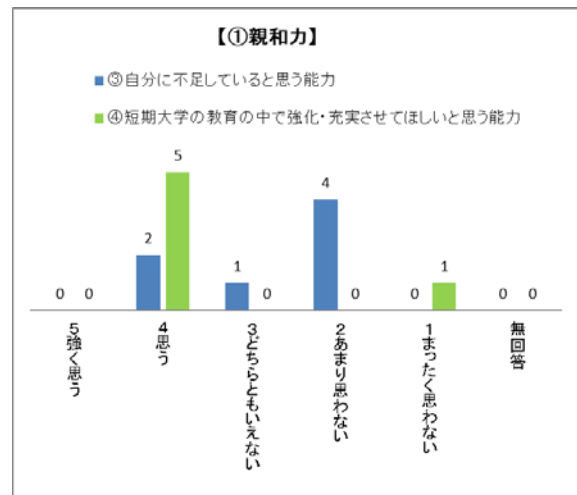
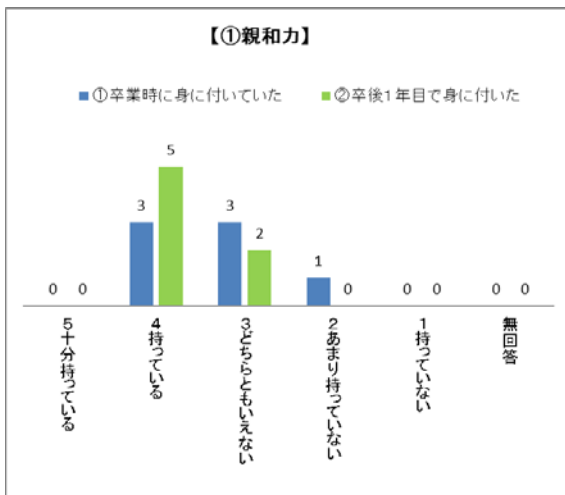
- ・エンジェルケアの仕方を実際に演習してほしい。施設で看取るのが就職してから多かったから。

設問 8 : 社会人としての能力について、お聞かせください。

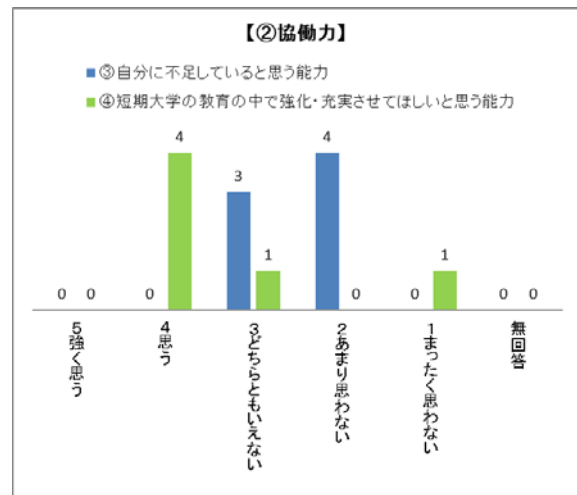
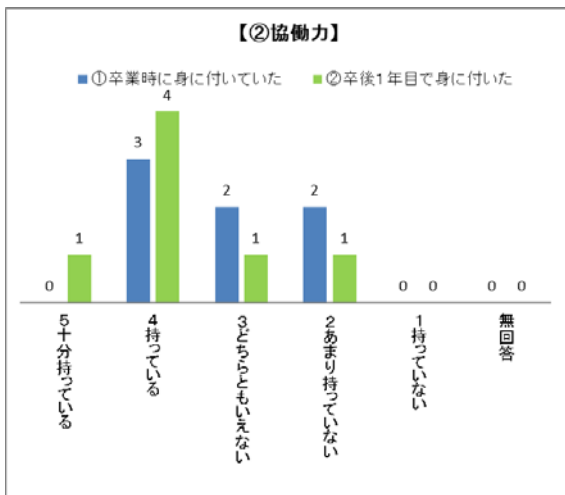
- ①卒業時に身に付けていた程度
- ②卒業後1年目に身に付けていた程度
- ③自分に不足していると思う能力
- ④短期大学の教育の中で強化・充実させてほしいと思う能力

について、5段階の選択肢の中から、それぞれ○をつけてください。

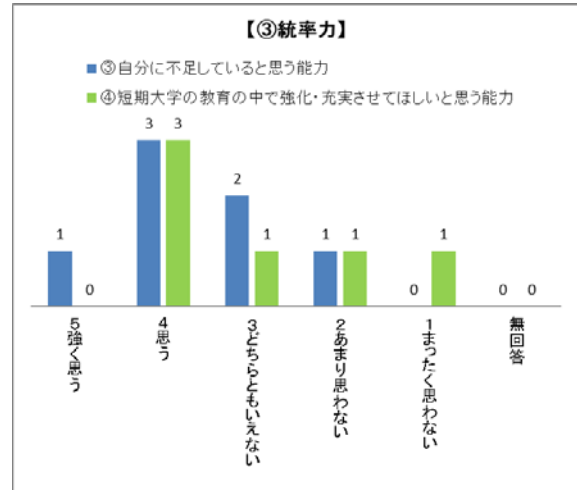
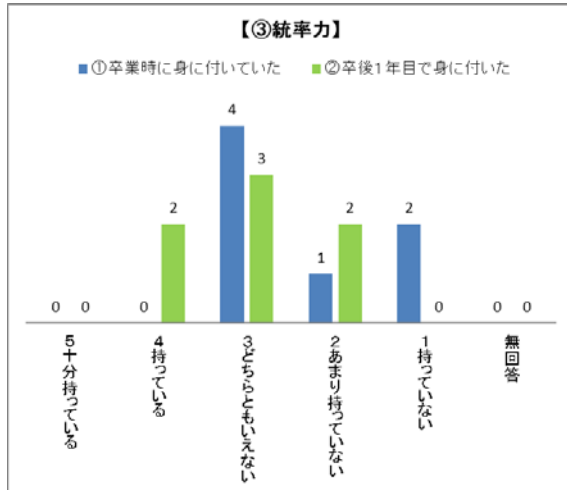
(1) 円満な人間関係を築く力〔親和力：対人基礎力1〕



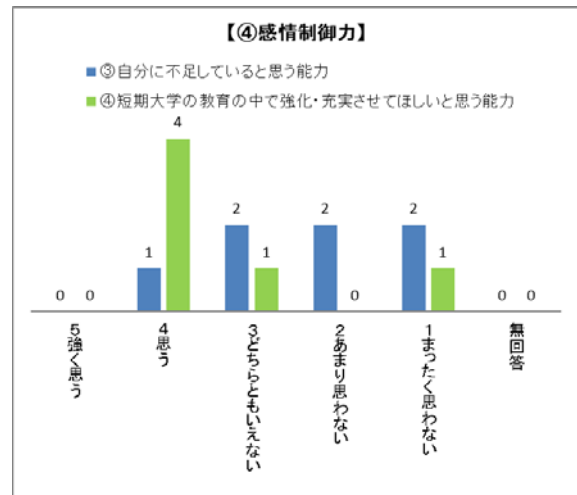
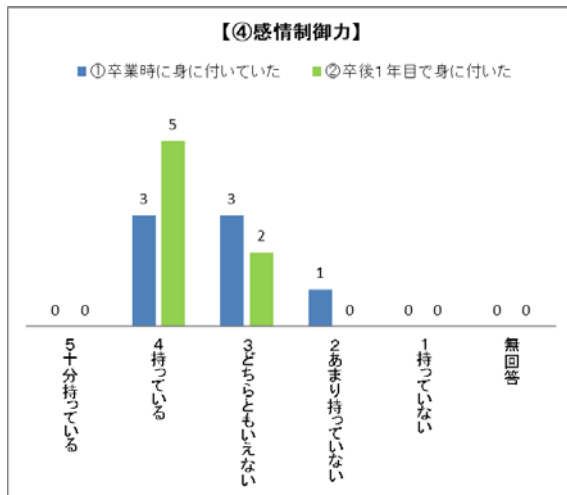
(2) 人と協力しながら物事に取り組む力〔協働力：対人基礎力2〕



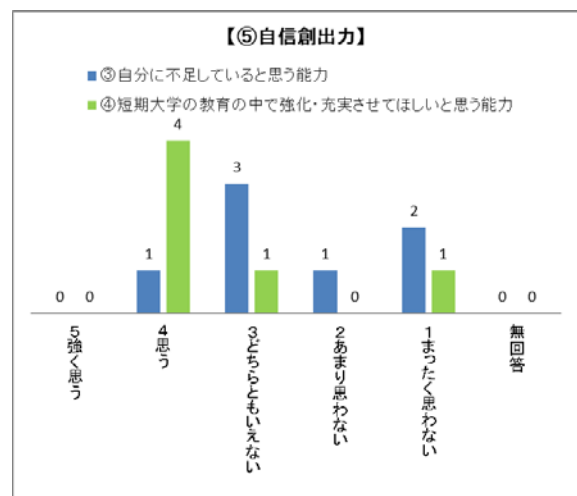
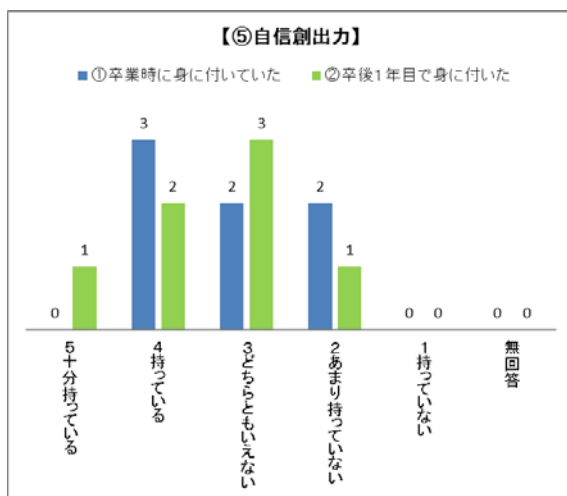
(3) 目標に向かって人や集団をひっぱる力〔統率力：対人基礎力3〕



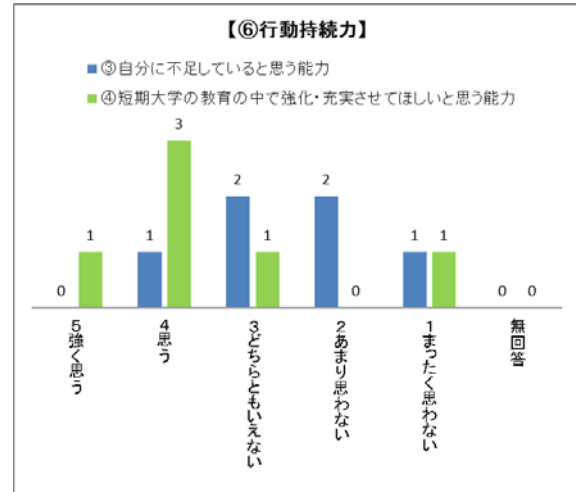
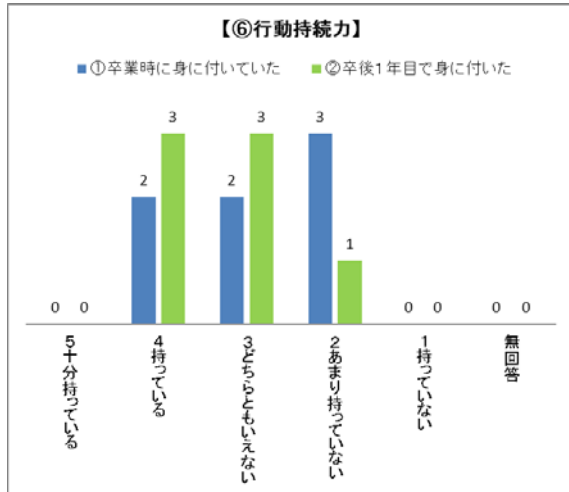
(4) 自分の感情をコントロールする力〔感情制御力：對自己基礎力1〕



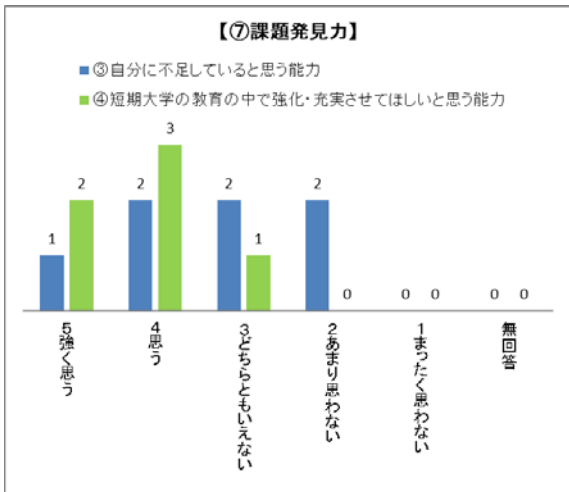
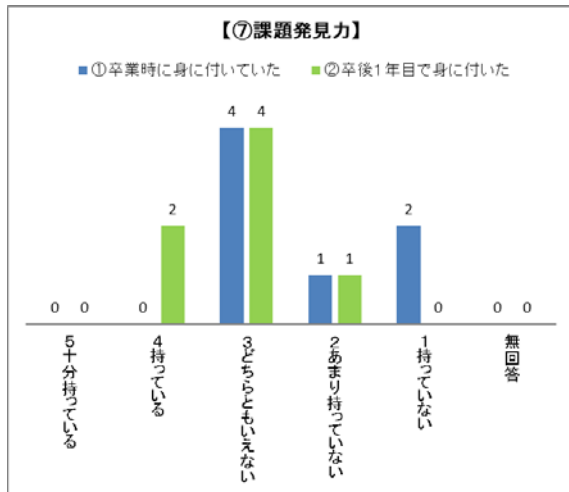
(5) やる気を維持する力〔自信創出力：對自己基礎力2〕



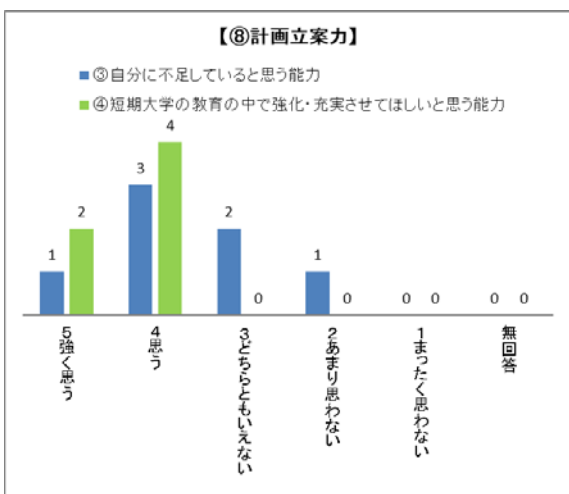
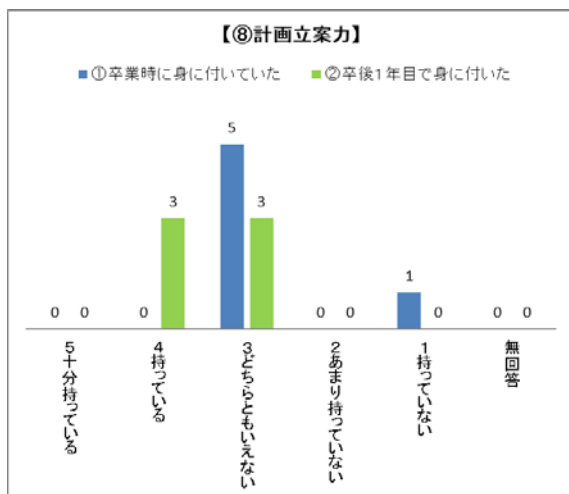
(6) 良い行動を習慣として続けられる力〔行動持続力：對自己基礎力3〕



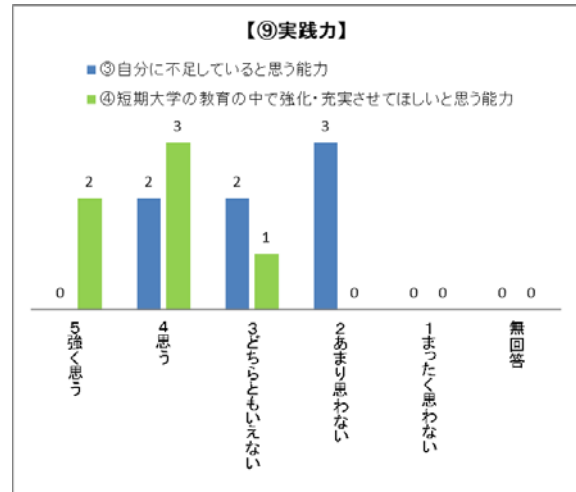
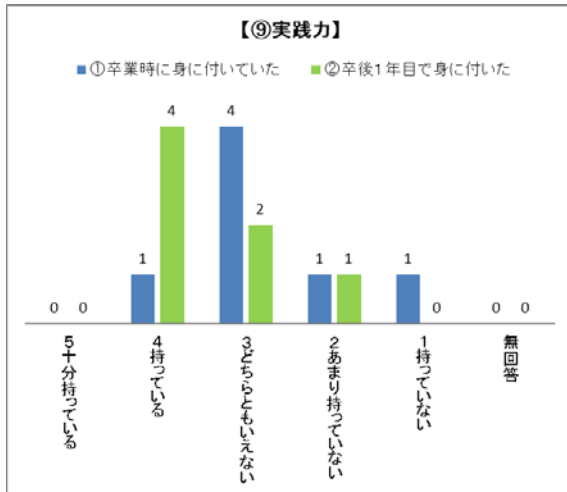
(7) 情報を収集・分析して、課題を発見する力〔課題発見力：対課題基礎力1〕



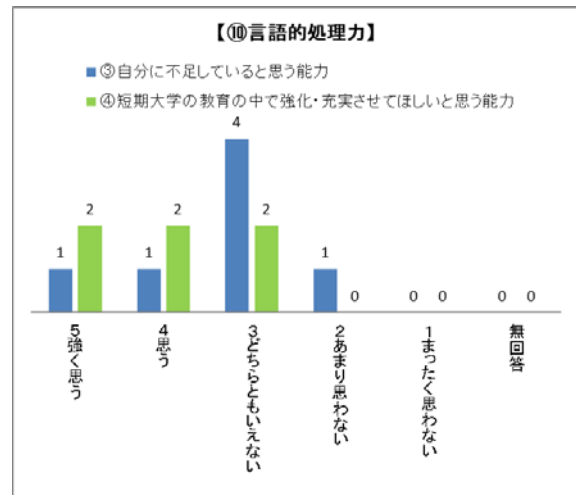
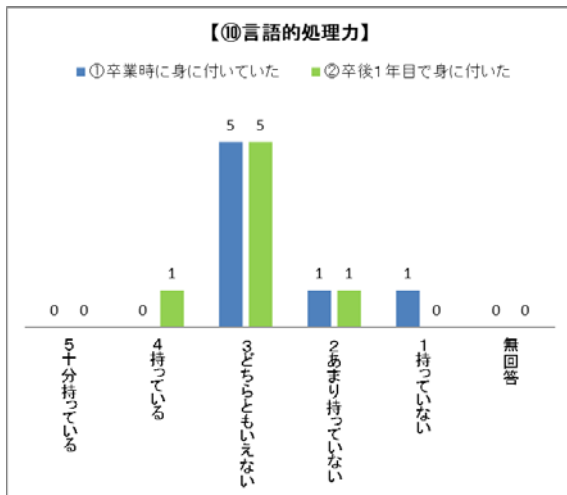
(8) 課題解決のための計画を立案する力〔計画立案力：対課題基礎力2〕



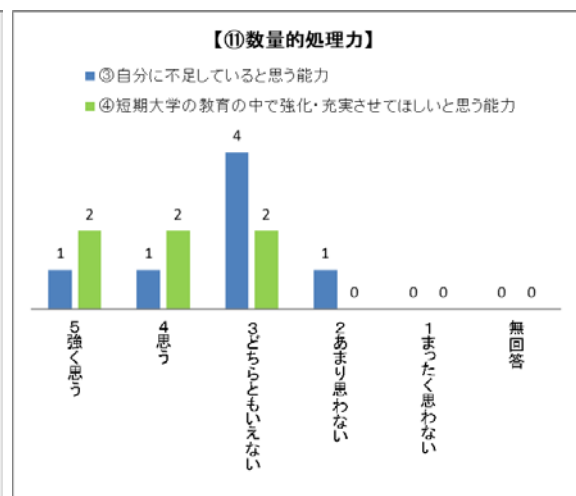
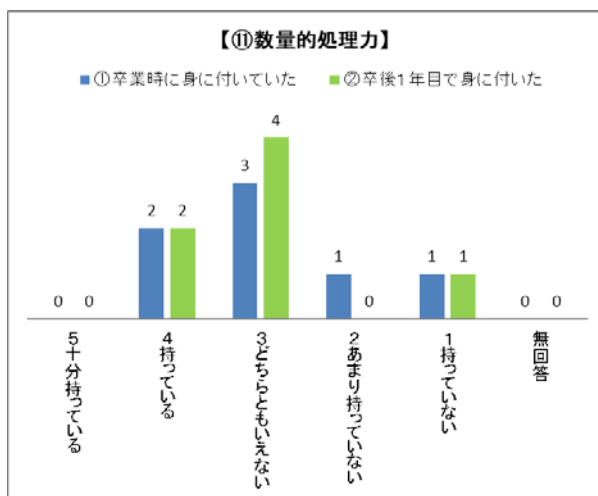
(9) 行動を起こし、最後までやりきる力〔実践力：対課題基礎力3〕



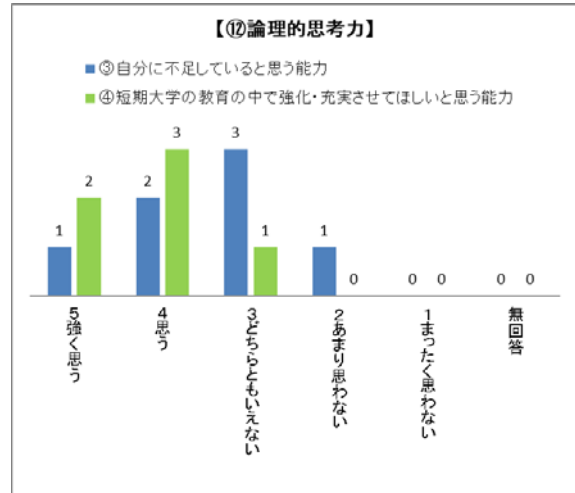
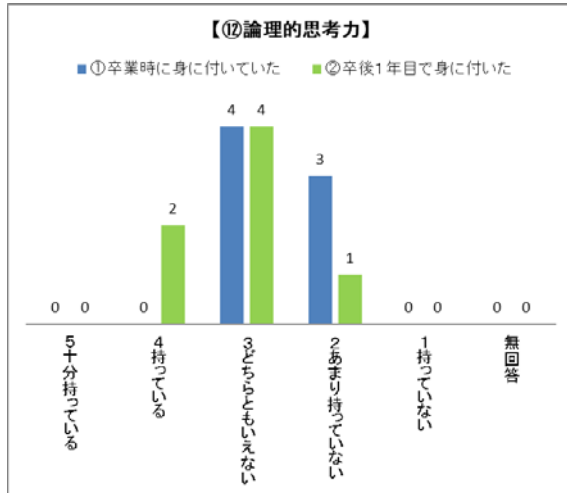
(10) 文章の構成や要旨を的確に理解する力〔言語的処理力：処理力1〕



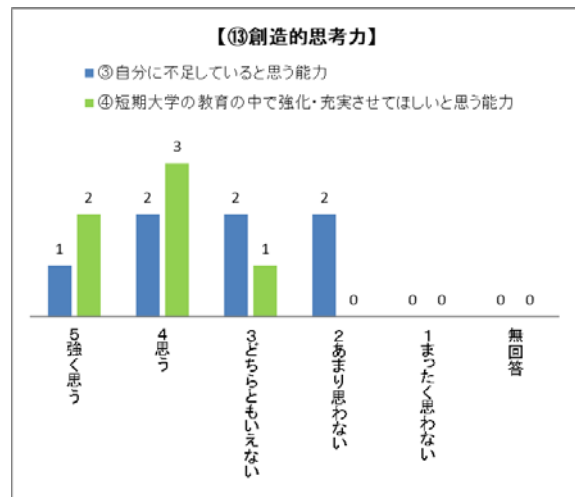
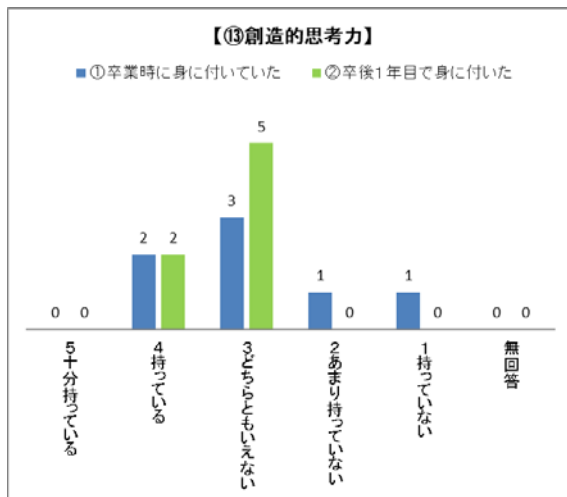
(11) データや数字をすばやく読み取る力〔数量的処理力：処理力2〕



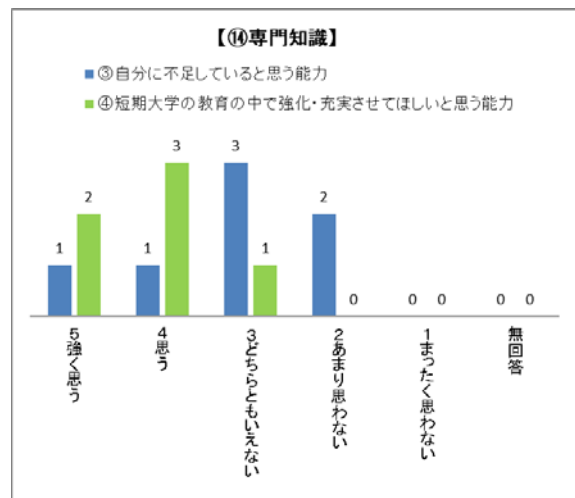
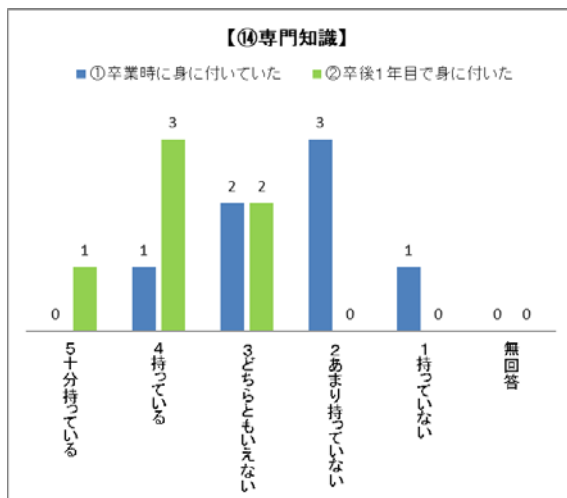
(12) 論理的に物事を分析・構築する力〔論理的思考力：思考力1〕



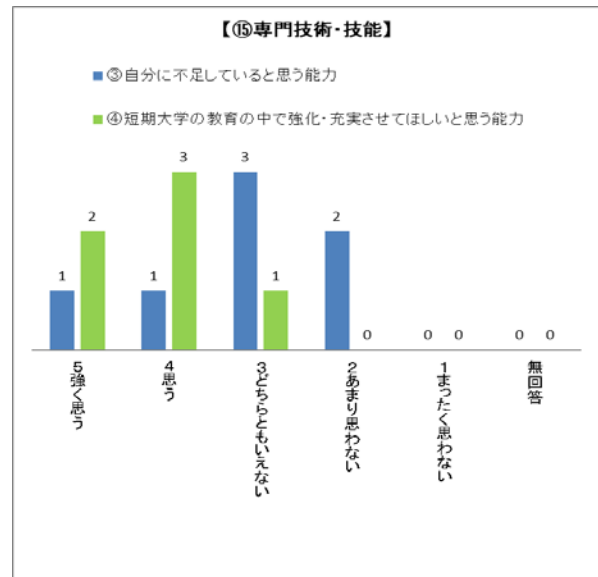
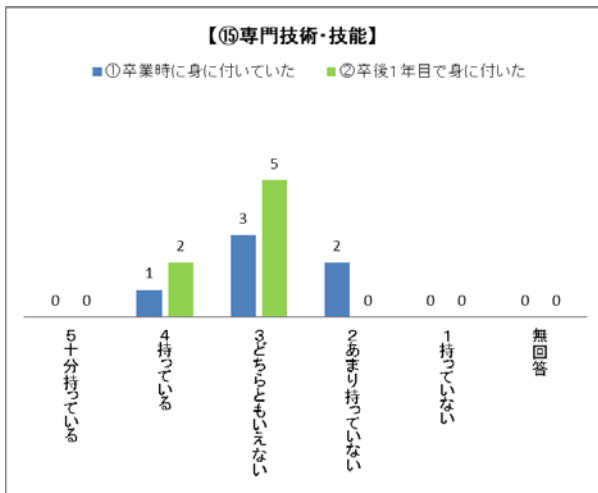
(13) 独自のものの見方や考え方をする力〔創造的思考力：思考力2〕



(14) 現在の仕事に関する専門的な知識〔専門知識：専門力1〕



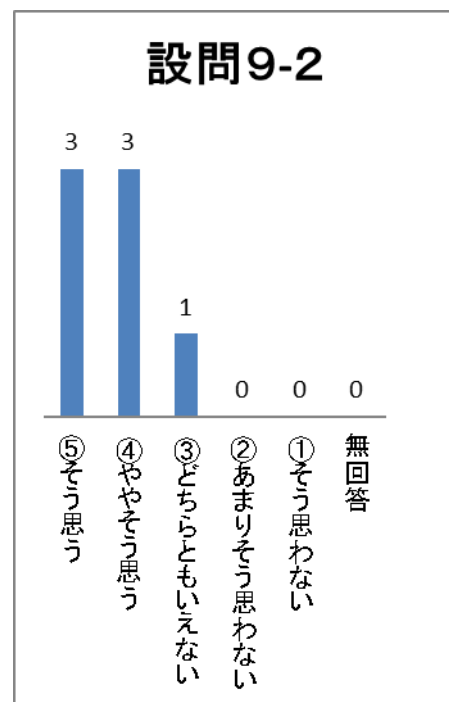
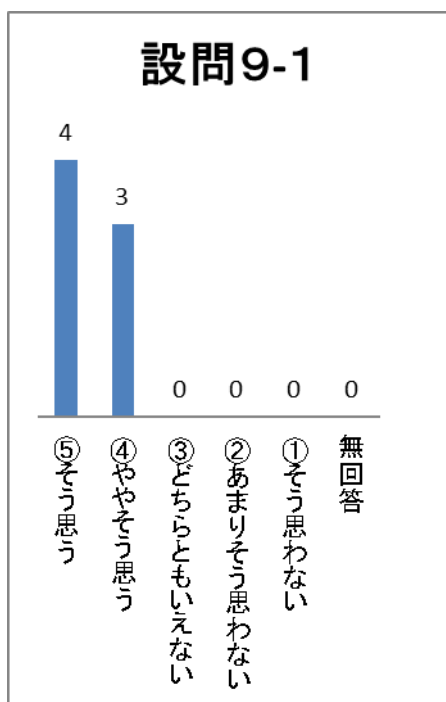
(15) 現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ〔専門技術・技能：専門力2〕



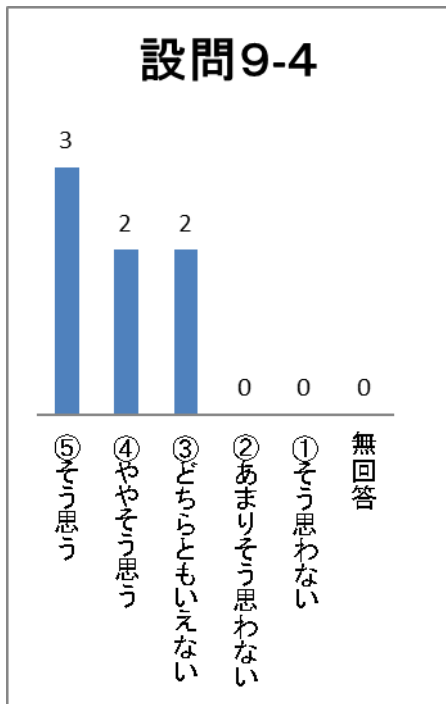
設問9： 本学での教育全般について該当する口に ○を入れて下さい

(1) 専門領域における知識面での教育は適切であった。

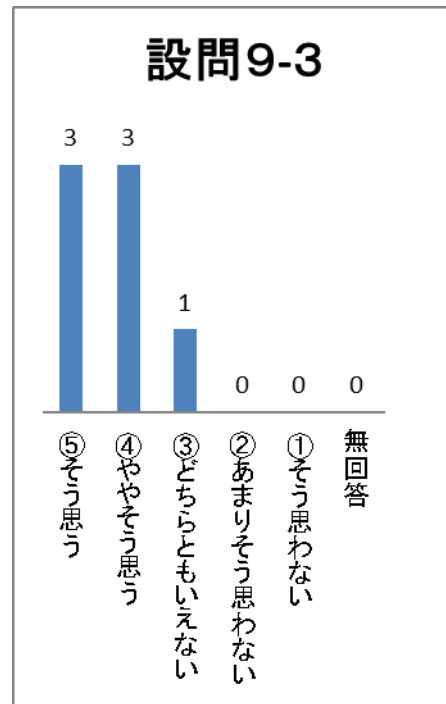
(2) 専門領域における技術面での教育は適切であった。



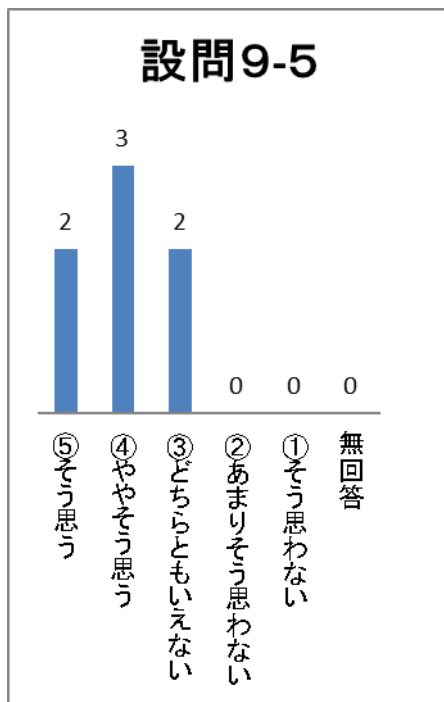
(3) 一般常識や教養が身についた。



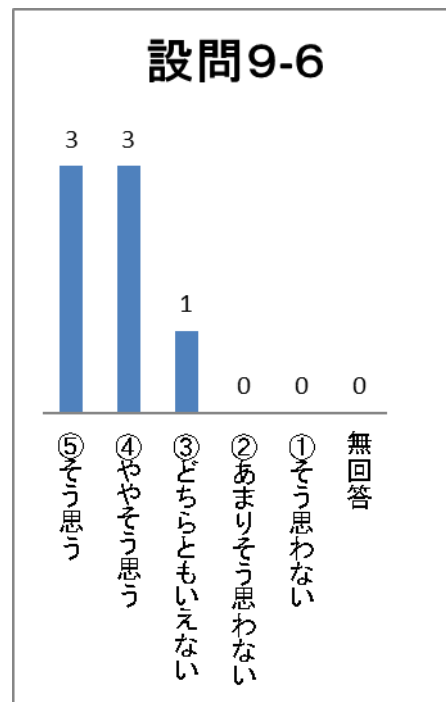
(4) 人間性の面で適切な教育がなされていた。



(5) 自己（健康・体調）管理についての教育が適切になされていた。

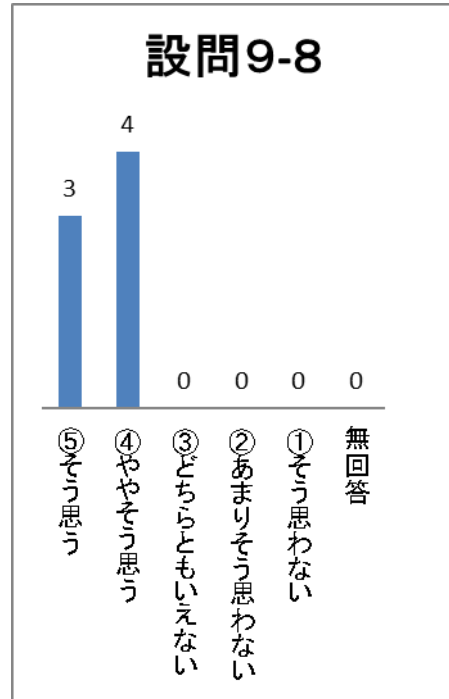
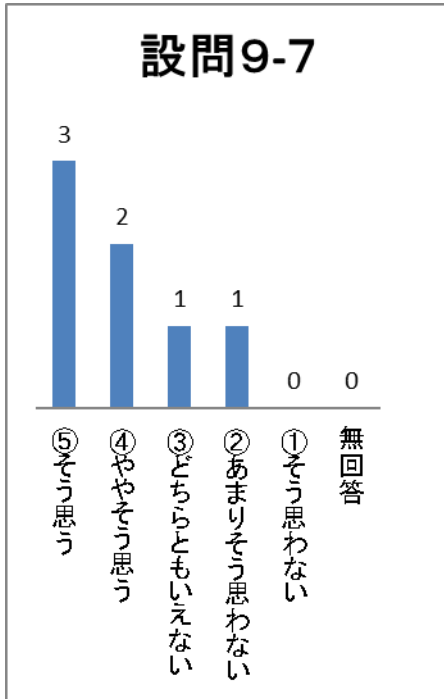


(6) コミュニケーション教育が適切になされていた。



(7) 笑顔・挨拶を含めた接遇が身についた。

(8) 短期大学での教育は、
総合的に満足であった。



設問10：本学での教育について、意見や要望、提言があれば、詳しくお聞かせください。(自由記載)

- ・ 学校で学んだことが、今仕事をしていてすごく役にたっているので、福岡医療短期大学で学べて良かった。
- ・ 短大での勉強や実習のおかげで現場で働く心構えが出来ていたと思う。

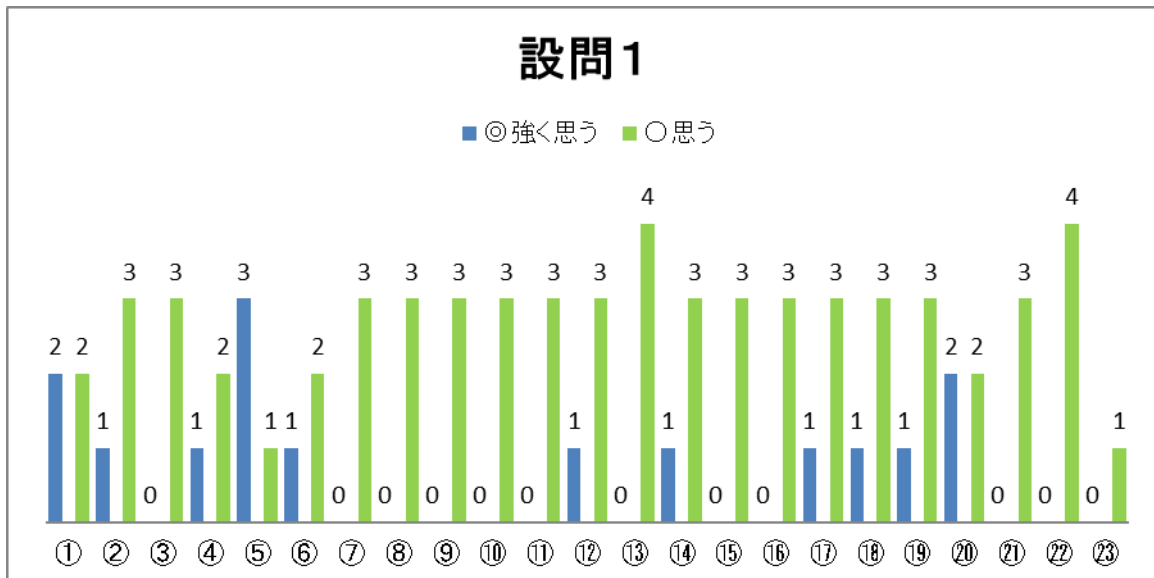
以上

就職先対象：保健福祉学科

福岡医療短期大学 保健福祉学科 卒業生に関するアンケート

保健福祉学科 18期卒業生就職先施設（4/8件）対象 2020/2/12 郵送

設問1：短期大学（本学を含む）で充実すべき教育内容（専門教育）であると思われる項目について、◎=強く思う、○=思う の記号をつけてください。



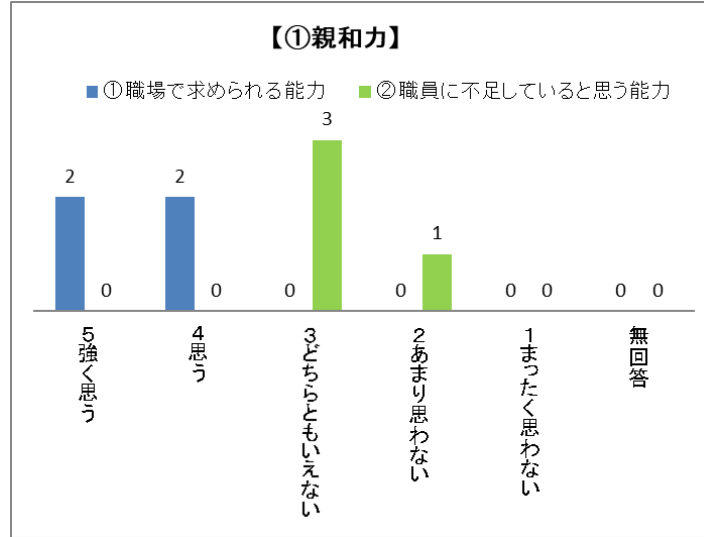
- ①人間の尊厳と自立（「人間」の多面的理解や人権尊重など）
- ②人間関係とコミュニケーション（対人関係や受容・共感・傾聴など）
- ③社会の理解（介護保険制度や障害者総合支援法など）
- ④介護の基本（介護福祉士の役割や介護を必要とする人の理解など）
- ⑤コミュニケーション技術①（介護現場における利用者・家族とのコミュニケーション）
- ⑥コミュニケーション技術②（介護におけるチームのコミュニケーションや多職種連携）
- ⑦コミュニケーション技術③（上司・同僚とのコミュニケーションや業務のコーディネート技術）
- ⑧生活支援技術①（自立に向けた居住環境の整備など）
- ⑨生活支援技術②（自立に向けた形態別介護技術）
- ⑩生活支援技術③（自立に向けた家事など）
- ⑪生活支援技術④（終末期の介護やグリーフケアなど）
- ⑫介護過程①（介護過程の意義や展開など）
- ⑬介護過程②（介護過程とチームアプローチなど）
- ⑭介護総合演習（事例検討・演習の充実など）
- ⑮介護実習（介護福祉施設実習や居宅介護実習など）
- ⑯発達と老化の理解（老化に伴うこころとからだの変化や生活上の留意点）
- ⑰認知症の理解（認知症に伴うこころとからだの変化や家族への支援など）
- ⑱障害の理解（医学的側面の基礎的知識やチームアプローチなど）
- ⑲こころとからだのしくみ①（人体の構造・機能や介護サービス提供時の留意点など）
- ⑲こころとからだのしくみ②（心理的側面への配慮についてなど）
- ㉑口腔ケアの基礎知識
- ㉒医療的ケアの基礎知識（たんの吸引や胃瘻の管理など）
- ㉓その他

→具体的に（回答なし）

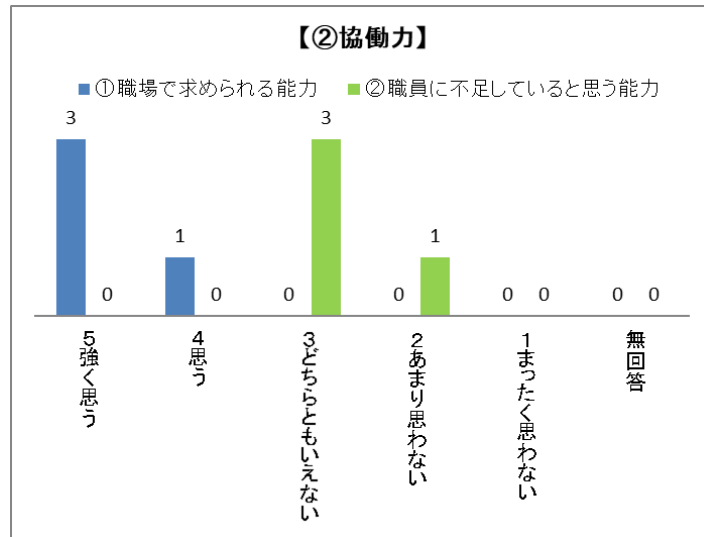
設問 2 : 社会人としての能力について、お聞かせください。

- ① 貴施設での職務において求められる重要な能力 と
 - ② 短期大学（本学を含む）を卒業した職員に不足していると思う能力 について
- 5段階の選択肢の中から、それぞれ○をつけてください。

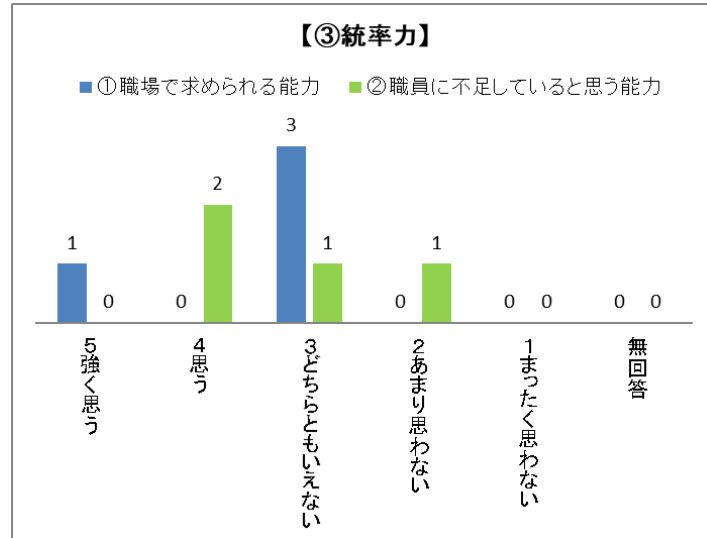
(1) 円満な人間関係を築く力〔親和力：対人基礎力1〕



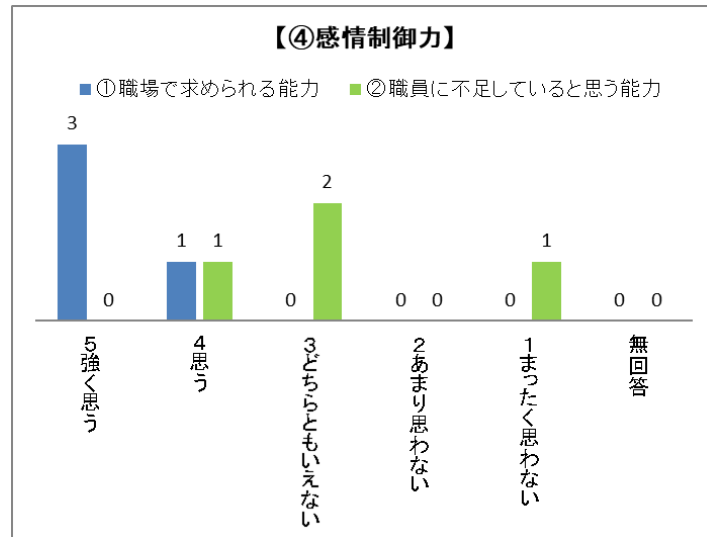
(2) 人と協力しながら物事に取り組む力〔協働力：対人基礎力2〕



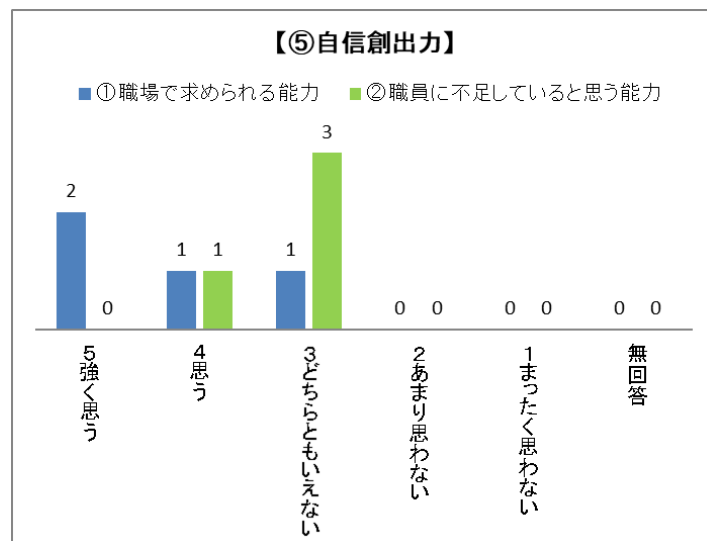
(3) 目標に向かって人や集団をひっぱる力〔統率力：対人基礎力3〕



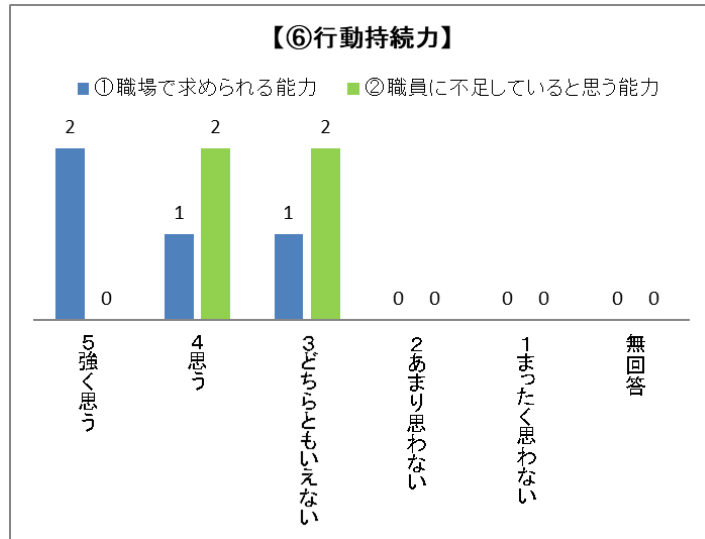
(4) 自分の感情をコントロールする力〔感情制御力：対自己基礎力1〕



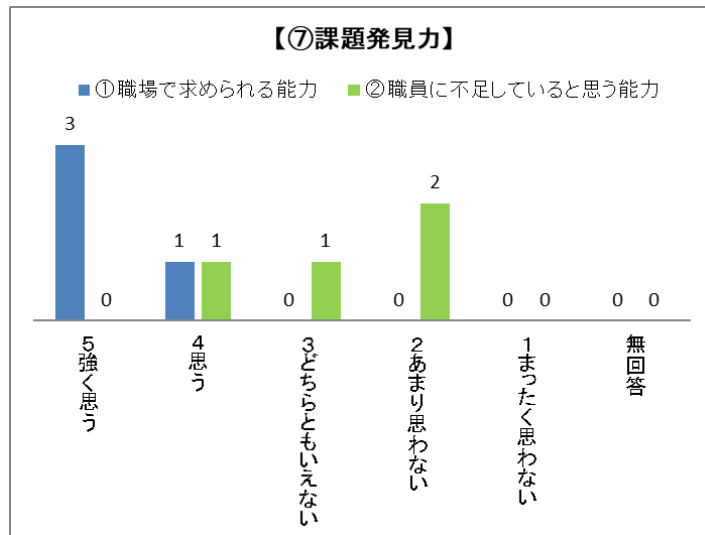
(5) やる気を維持する力〔自信創出力：対自己基礎力2〕



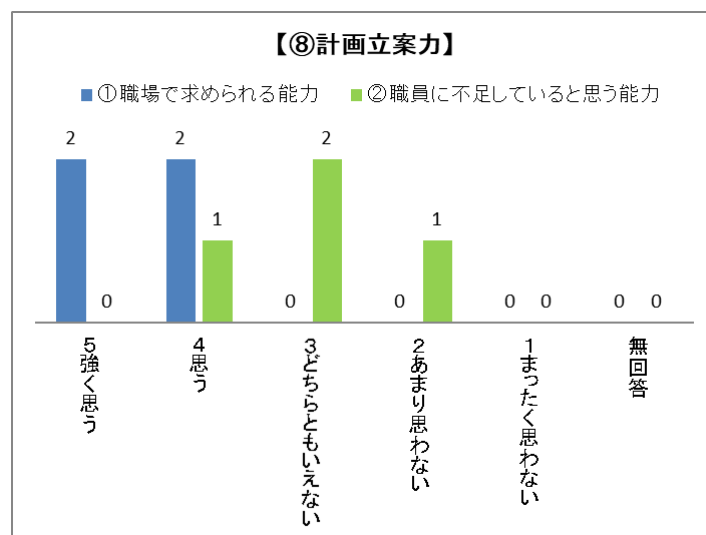
(6) 良い行動を習慣として続けられる力〔行動持続力：對自己基礎力3〕



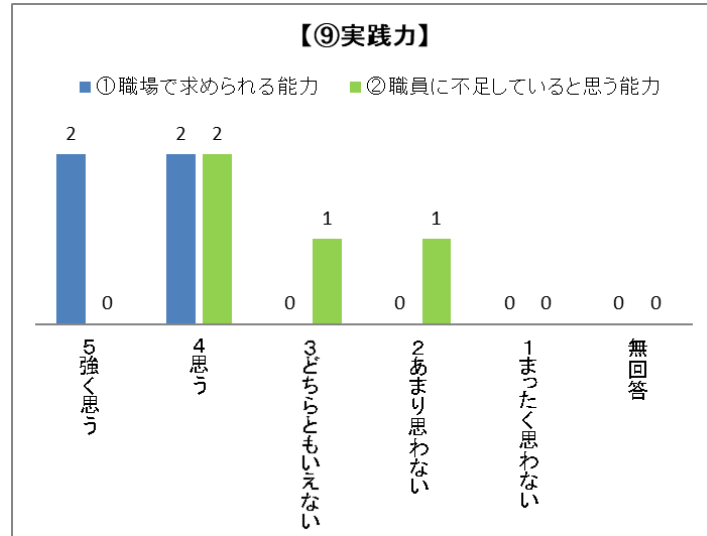
(7) 情報を収集・分析して、課題を発見する力〔課題発見力：対課題基礎力1〕



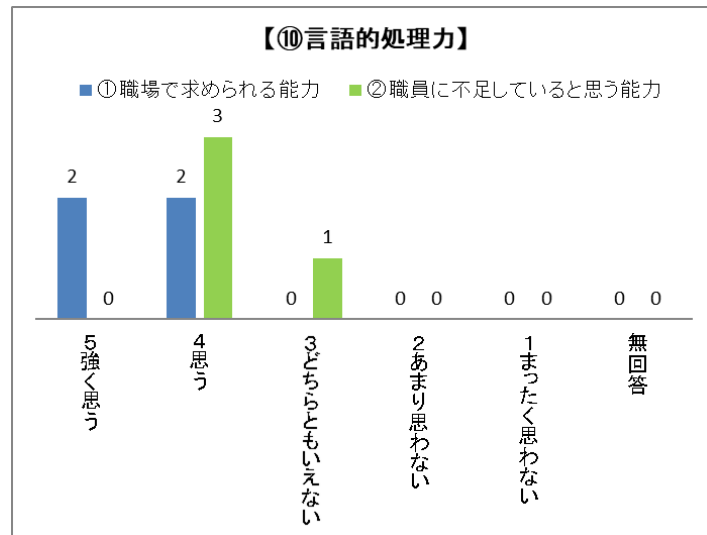
(8) 課題解決のための計画を立案する力〔計画立案力：対課題基礎力2〕



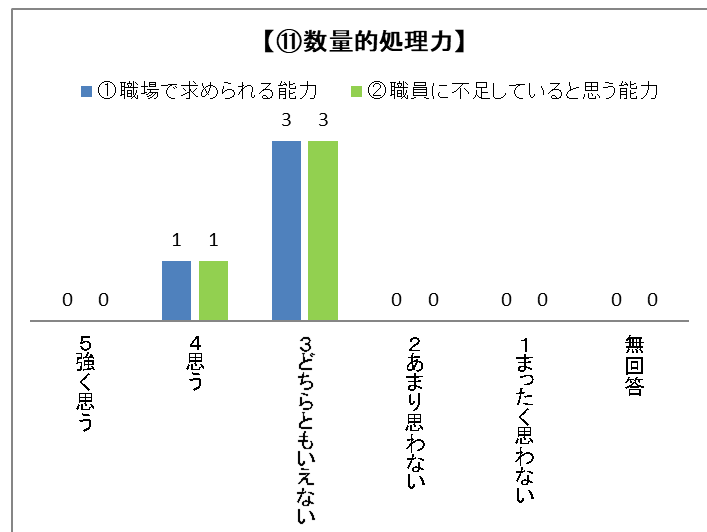
(9) 行動を起こし、最後までやりきる力〔実践力：対課題基礎力3〕



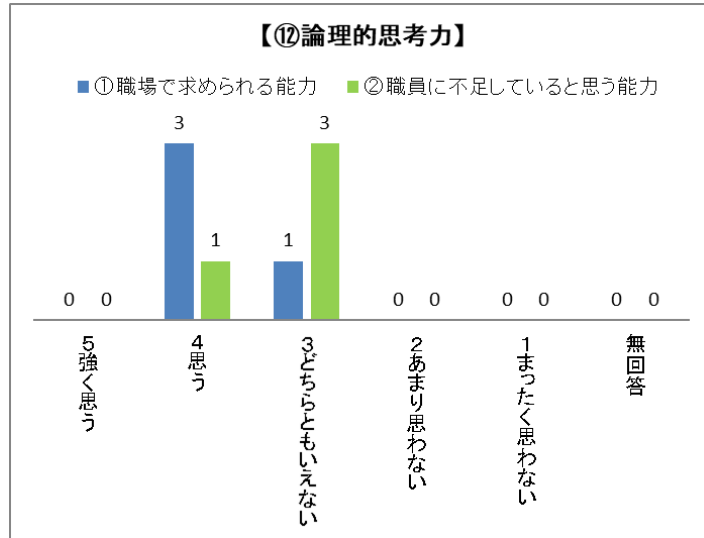
(10) 文章の構成や要旨を的確に理解する力〔言語的処理力：処理力1〕



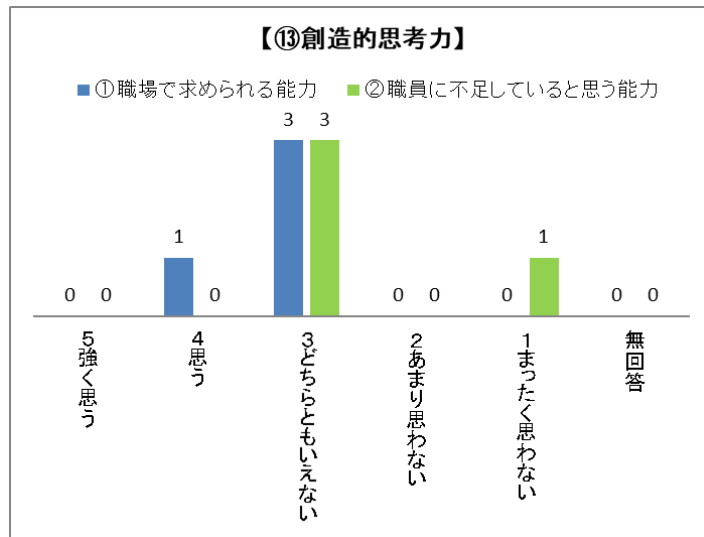
(11) データや数字をすばやく読み取る力〔数量的処理力：処理力2〕



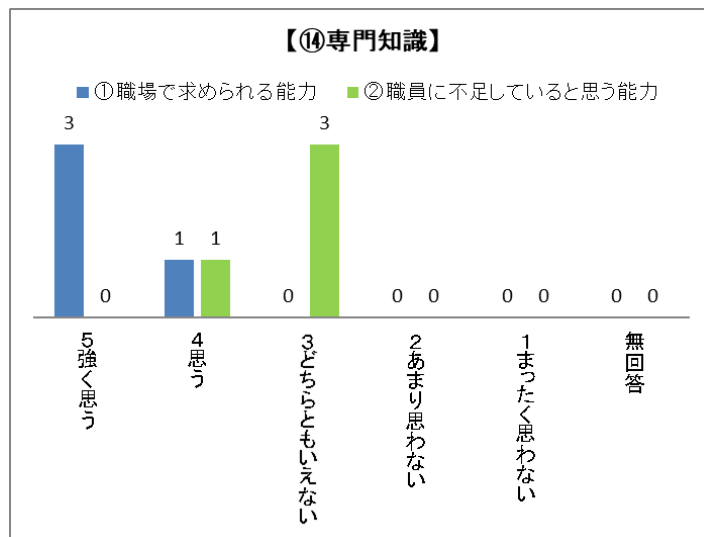
(12) 論理的に物事を分析・構築する力〔論理的思考力：思考力1〕



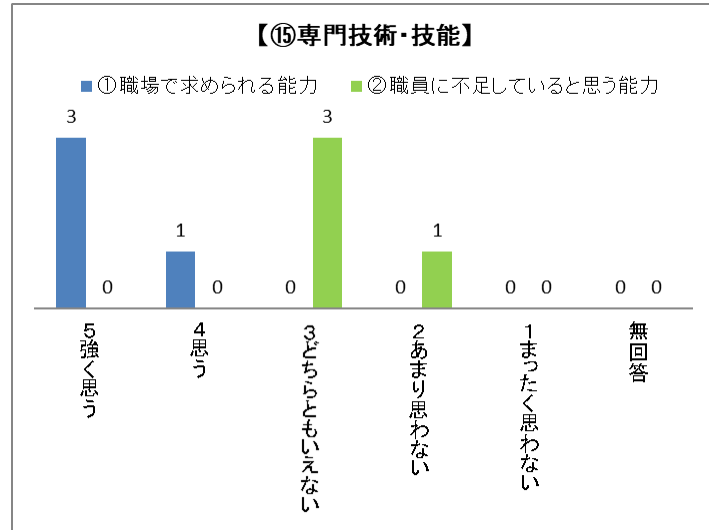
(13) 独自のものの見方や考え方をする力〔創造的思考力：思考力2〕



(14) 現在の仕事に関する専門的な知識〔専門知識：専門力1〕

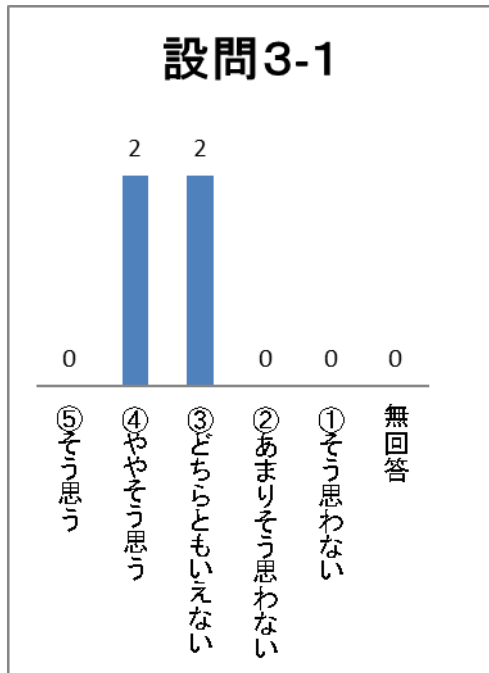


(15) 現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ〔専門技術・技能：専門力2〕

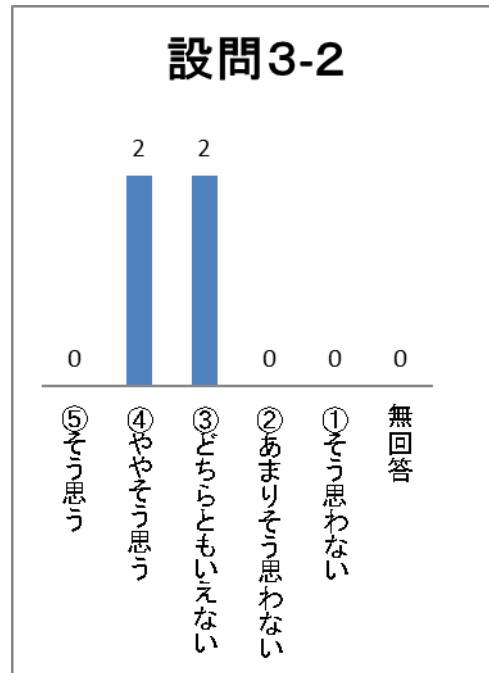


設問3：本学での教育全般について該当する口に ○を入れて下さい

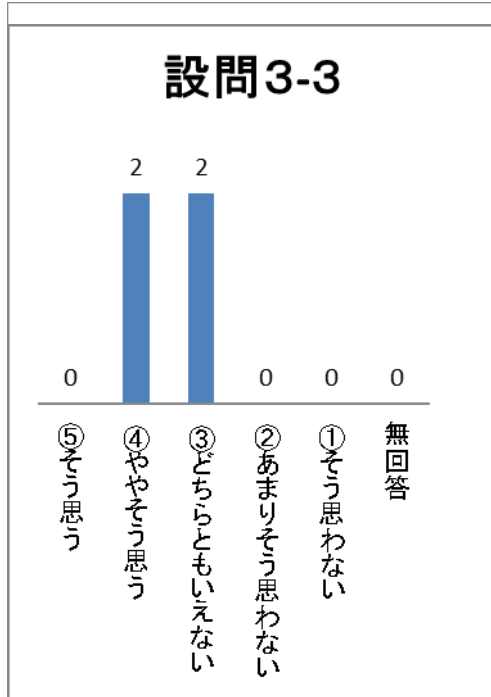
(1) 専門領域における**知識面**での教育は適切である。



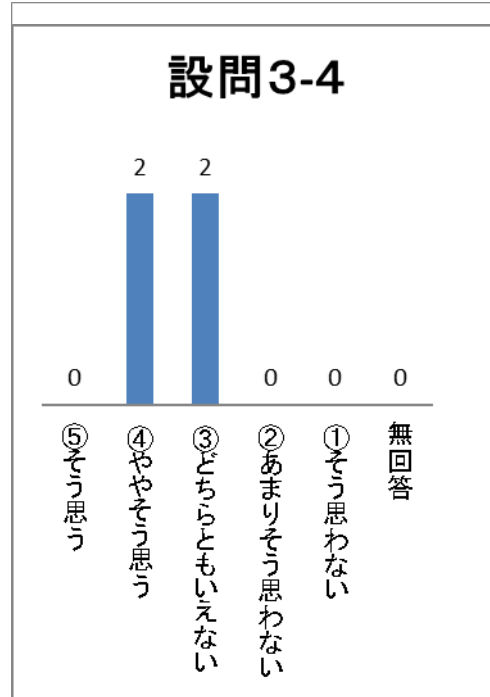
(2) 専門領域における**技術面**での教育は適切である。



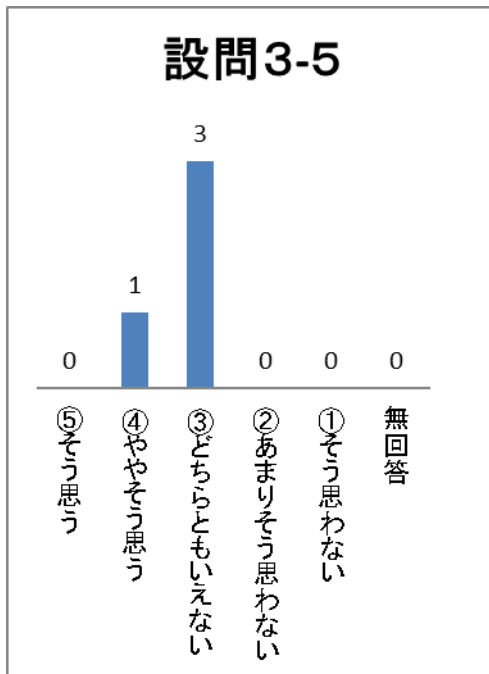
(3) 一般常識や教養が身についている。



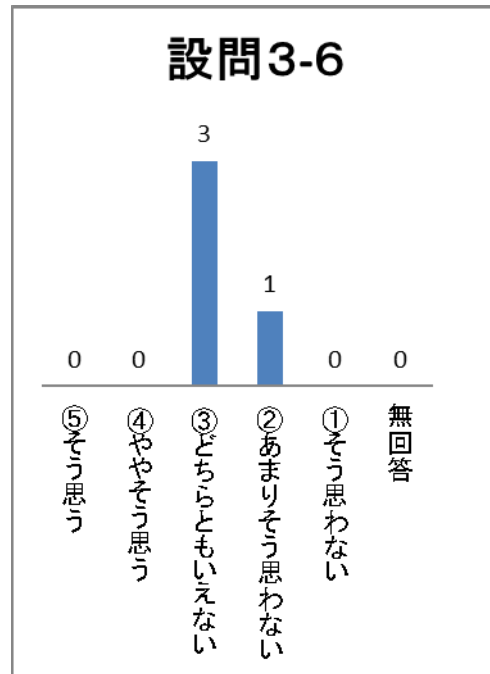
(4) 人間性の面で適切な教育がなされている。



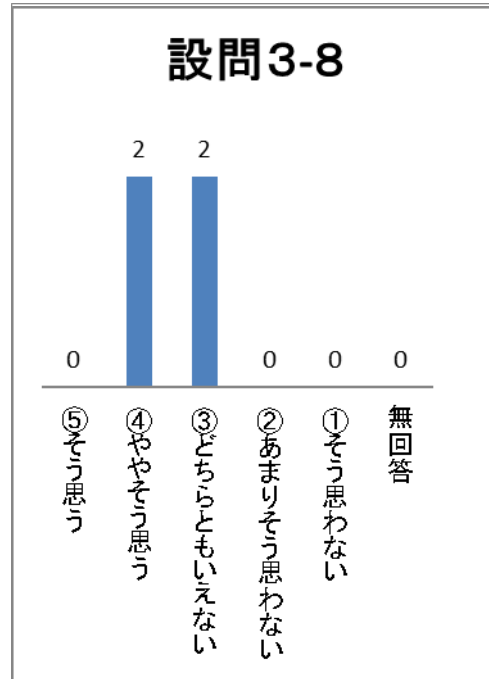
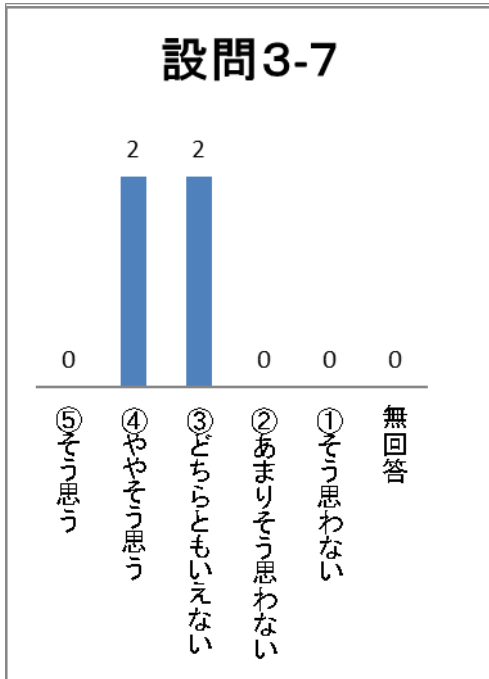
(5) 自己(健康・体調)管理についての教育が適切になされている。



(6) コミュニケーション教育が適切になされている。

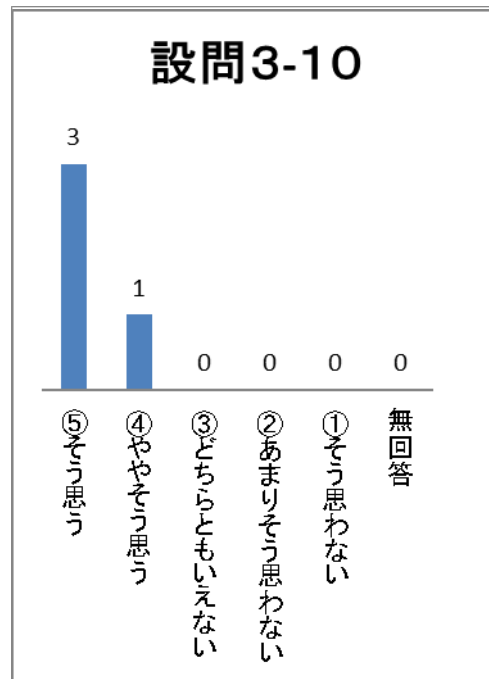
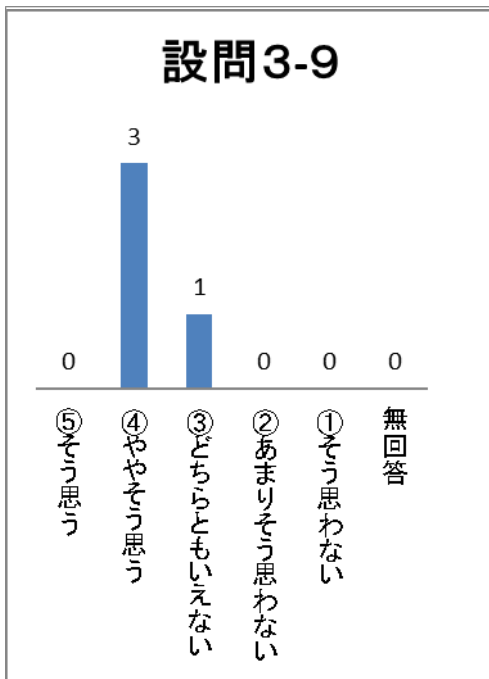


- (7) 笑顔・挨拶を含めた接遇が身についている。 (8) 短大で身につけた能力を発揮している。



- (9) 短期大学での教育は、総合的に満足である。

- (10) 今後も本学(短期大学)の卒業生を採用したいと思う。



設問 4：本学卒業生を採用する理由 や 採用選考のポイント について、お聞かせください。

- ・新卒採用を今後積極的に行う方針であり、理由として今後変化して行く風土に対し、自法人がもつめる理念、方針を自然体として吸収し、今後の事業を支える人材へと育成を行うことが、特定のカラールや風土に染まっていない社会人として採用できる(定着性を含め)可能性を高く感じている。
- ・専門的な教育、礼儀正しさはあるか。
- ・ご家族、ご入居者に適切な対応はできるのか。
- ・介護福祉士の資格をもっており、技術面で安定している。
- ・言葉遣い、表情等(人と関わる仕事なので)。
- ・当院で働くことで、学びたいことや目指したい目標などがあれば良いと思う。
- ・チームとして働ける。

設問 5：学生に求める大切な資質・能力 についてお聞かせください。

また、その理由や育成のためのアイデアなどがあれば、お聞かせください。

- ・表現力やセルフコントロール、最新の知識と技術を学んで頂き、就職の際に新しい風を吹き込んで頂きたい。育成とは異なりますが、インターンシップを導入し、就職後のミスマッチ等がないように受入れを行う所存。
- ・積極性、自らすすんで質問したり、知識を集めようとしたりする姿勢。
- ・コミュニケーション能力、接遇マナー。
- ・介護を必要となれる方(利用者)の課題を分析し、その方にとってベストな介助、介護を提供出来ることが介護福祉士(専門職)だと思います。過介助にならない様な関わり方ができる様コミュニケーションの引き出しは多い方が良い。

設問 6：短期大学在学中に実施してほしい教育内容・教授方法 についてお聞かせください。

また、その理由や取組のアイデアなどがあれば、お聞かせください。

- ・当施設は2020年度よりノーリフトケアを推進しているため、カリキュラムに導入いただけると受入れがより円滑になる。
- ・医療的な知識や吸引の研修など。
- ・コミュニケーション能力、接遇マナー、障がいに対する理解。
- ・危険予知、予測の大切さを学生のうちから理解して行動できるようになると事業所にとっても利用者にとっても良いスタッフになれると思う。

設問 7：その他、本学へのご要望、メッセージ等がございましたら、お聞かせください。

- ・インターンシップ等があればお願いしたい。
- ・障がいの分野に興味がある方がいましたら、見学に来られて下さい。
- ・当事業所は、デイケアですが、実習生の受け入れも行っているため、実習先として検討して欲しい。

以上